京城日報

朝刊　朝夕刊合せて十頁

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月前金一圓　三ヶ月前金　半ヶ年前金　一ヶ年前金
廣告料金　五號十六字詰一行　二號八字詰　一號十字詰
發行兼編輯人　尾谷良次郎
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社　振替京城三〇〇番

時間表

[illegible]

廿一箇條要求交渉の解剖（四）
南滿洲に於ける土地の商租權に就いて

早大教授　青柳篤恒

一旅順、大連租借期限及び南滿洲鐵道安奉鐵道經營期限の問題を除いての南滿洲に於ける殘餘の利權として、今猶日本の手に殘つて在るのは先づ土地商租權である。その條約正文はかうだ……

「第二條日本國民は南滿洲に於て各種商工業上の建物を建設する爲め又は農業を經營する爲め必要なる土地を商租することを得」

此第二條は最初日本政府の提案には「日本國民は南滿洲及東部內蒙古に於て各種商工業の建物の建設又は耕作の爲め必要なる土地の賃借權又は其所有權を取得することを得」とあつた

然るに二月十二日の支那政府對案なるものを見るに「支那國政府は現在卅三省に於て開放したる商埠の外更に地點を酌定し自から開埠通商を行ひ場界を劃定し日本及各國商民の任意に居住貿易し並に商工業等の各種の業務に從事することを許し且日本及各國商民が商工業に必要なる建物を建設する爲め各持主に對し公平に借地料を酌定し土地の借入を爲すことを許す但し一律に各種の税捐を完納すべし」（譯文）とあり、日本政府提案第三條の居住貿易の件まで此の一節に一括し、內地雜居及び土地所有の問題に對しては商埠增設を以て之に應ぜんとし而して中心の主要條件たる南滿洲東部內蒙古の問題資格論に對しては絕對に之れを拒否し其の優越權を承認せず日本國民を以て他の各國商民と同等の地位に置き總て『日本及各國商民』との文字を用ゐた。支那政府發表の『中日交涉始末』に『第二節に至りては日本公使南滿洲は須らく東部內蒙古と同樣の條件を贊せんことを堅持し且つ日本が該處に在つて優越の地位を享有するを承認せんことを要求す、我政府は以爲らく優越の地位は我が內政に妨碍ありと堅く承認せず』（譯文）とあり、又『第二號第二條第三條の南滿東部內地雜居及び土地所有權の問題は啻に節約と相牴觸するのみならず且つ我領土の完全と行政の主權とに於て均しく關係あり我政府最初の修正案に於ては南滿洲に於て商埠を增設し且つ日本人が支那人と共に農業拓殖會社を合辦することを許可せんとしたりしも日本政府は絕對に之を承認せず』（譯文）とある卽ち是である。又土地の所有權に就ては支那では由來其本國人にすら、法律上土地所有權を許して居ないので、日本の要求を承認せず、只『各持主に對し公平に借地料を商議して土地の借入を爲すことを許す』と修正して來た。そこで日本政府は支那政府の主張を參酌して二箇條の讓步をした。東部內蒙古を南滿洲と切離したのが一ツ今一ツは土地所有の文字を避けたことである。

指紋の話（二）

警務局鑑識係長　岩藤章

ベルチロンの人身測定は人の骨格は筋肉と異り、丁年に達すると同時に其の發育を停め、爾後終生不變の狀態にて推移して、決して變化を見ないと云ふ事實と、骨格の長短大小の比例は人夫々異つて萬人同じからずといふ前提の下に其の長短大小の組合せを造り、夫によりて一種の分類番號を附けたものである。此の測定法は其測定に熟練と時間を要し、分類も稍複雜な嫌ひのあるを免れず、一時歐米諸國の間に賞用されたにも拘らず、現今の處一般に簡易確實なる識別法に壓され然し此事實を見ても之が價値を云爲する人もあるが、刑事人類學の見地からでも尊重すべき價値を持つて居る此の法を私は一概に排したくはない。指紋の分類に依る個人識別法も其の技術に云はすれば、相當に面倒な理屈がある。併し原則として何人にも容易に了解され、利用の出來るのが飽迄指紋法の長所であらねばならぬ。一度刑罰に處せられた人の指紋を採つて置けば後日其者が再び罪を犯した時如何に僞名をしても、それが受刑者の一人であつたか否かは、單に其指紋を保存してある指紋を對照するの一事で直に分る。

斯うした簡單な方法で個人識別が出來るのみか、指の紋樣が先に述べた如く、分類に都合よく出來て居る。個人識別の爲めに採取する指紋は一枚の原紙に左右十指の指紋を迴轉式に押捺したもので、上段に右手下段に左手を各拇指、示指、中指、環指、小指の順序に、左より右に並列し之に夫々一定の分類價を附けるのである。

分類價の標準は先づ波狀紋を一として蹄狀紋を甲乙二種に分け押捺の順序に從ひ縱上下に書き分くれば五指の分類式を形造つて一個の記號が出來上る。指紋の分類番號と稱するのは是である。五指の分類式の數字を種々に置き換へれば、百億通りの變化がある。從つて指紋原紙には一々分類番號を附け番號順に排列整理をさるゝから五十萬百萬千萬の原紙も一瞬間に混亂する事なく所定の箱の所定の部に收まるのである。

萬人不同の原則は唯一指に就ても厳然たる事實である。況んや甲種蹄狀紋を二とし、乙種蹄狀紋を更に四種に分け、三、四、五、六とし、渦狀紋及混合紋は分れて三種となし、七、八、九を配し、更に蹄線の一部に缺損があるか、又は他の事情で特種上の種別に入れ難いものを一種として十の價を與へる事になつてゐる。如何なる紋樣でも此の十種の何れかに屬し隨つて一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、の內何れかの價が無いものはない。原紙に押捺された十指は此の方法で夫々相當の價が附けられ、其處に左右各五個の數が出現し、之れを十指に相等しい指紋があるべきではないが、指紋の組合せで得た指紋番號には時に同一のものが數枚ないとも限らぬ。換言すれば指紋は各人各異なるも指紋番號は必ずしも然らずである。とはいふもの夫れは理論上の話で實際は殆んど同一の指紋番號に出あふ場合はない。此の意味に於て個人の指紋番號は其人特有の番號であつて、生れ代るか指を切斷するかしない限りは、終身變へる事が出來ない一種の符牒である。顏貌は年と共に變化し、氏名は實子のものでない限り同名が少くない。前者には變裝が施され、後者には僞名が行はれるが要り指紋番號は其人と離るべからざるものである。指紋法が迅速容易に而も極めて確實に個人の異同を識別し得る所以のものは斯くの如き組織になつてゐるに基く。

此處まで述べれば識別方法に就て最早多くをいふ必要はない。若し全國民の指紋原紙が戶籍原簿の代りに、纏め準備してあれば戰つてゐても其の戶籍なり身許なりが直に分明すると云つた點で、非常な便利に感ずるであらう（完）

スケッチ……滿洲にて……柴田紫門筆

屑屋の籠
名女優サラ、ベルナール（上）

銀汀生

○三月二十四日巴里發の電報は、端なくも余が前に現存せる世界的老俳優の一人に數へた名優で、佛國劇壇の女皇と呼ばるゝサラ、ベルナールが、其病の益々惡くなつて、終に危篤に陷つたことを傳へ、次いで二十六日の電報にて、到頭其逝去を報ずるに至つた。眞に惜むべきの極みである。彼女は一八四五年の十月二十二日に巴里に生れた。父は佛人で母は蘭人で、其血統の素性は猶太系であつたけれど、彼女は十二歳の時に洗禮を受けて、尼寺にて教育された。十三歳の時に、女優たらんと志して巴里コンサヴアトワールに入學して一八六一年には悲劇にて、翌年には喜劇にて、各二等賞を得た。一八六二年コメデイ、フランセーで、ラシーヌのイフイゲニエを演じたのが初舞臺である。然れども其成績は餘り好くなかつた。さうして此處では、彼女の立役を演ずる女優の一人を、彼女の妹が侮辱したとのことから、平手で打つたので、劇に出世を妨げられ已むを得ず、一年ばかりの間は、二三の小劇場にて滑稽化た役を演じて居たが、急に西班牙に赴くこととなつた。然れど彼女は其金を使ひ果して歸國してから、一八六七年にオデオン劇團の俳優となつた。彼女がコペーの『ル、パッサン』に於ける『ザネット』や、『ルイ、ブラ』の女皇を演じて、始めて其天才を認められたのは此時である。一八七一年普佛戰爭にて、巴里籠城の日には、彼女は自ら發起して、劇場をば野戰病院となし、自ら其衛生隊を組織して、甲斐々々しく多くの傷病兵を看護した。やがて兩國の講和成りて後、彼女はオデオン座を去つて、コメデイ、フランセイに來たが其れが爲めに莫大の金を要つた。今度此座に於ける初舞臺は、一八七二年の十一月で、ドウ、ベル、イスルのガブリエルを演じた。是より名聲は益々揚がり、彼女に逆らふ多くの批評の出でたるにも拘らず。彼女は一步々々と着々嶮しい坂道を登つて遂に一代の名優とまで成り上がつた。彼女は『フエドラ』や『フルーフル』や『テオドラ』や、『ラ、トスカ』などの如き、多く氣を張り詰めて情緒の昂まつて驚の發けるやうな役割に於て有名であつた。其苦痛的所作の驚くべき力と、其死狀の眞に迫れる寫實とは、余も活動寫眞では見て感心した。それに彼女の德をあるが、彼女の靜肅やクレオパトラを演ずる人物、其の鈴を振るにも似たる美い聲、又恐れる猛虎の吼ゆるかと思へば、纏綿に媚びる鳩の啼くにも比ぶべき聲音、是等の長所が相集まりて、彼女を世界的一大人物に造り成し、世の人をして、彼女が折に溺れての我儘や奢侈を寬容するに至らしめた。（三月二十七日の夜、京城日報の夕刊を讀みて、匆々筆を執つた。あとは明晩）

京城自動車學校

運轉手收入多大明ノ技手需要每月一日十六日開始何人も直に開轉せしめ警察署の運轉免許證を取る設備あり　京城府黃金町三丁目
公認　生徒募集　入學無試驗　學科教授及校外生有
姉妹校　東京市　東京自動車學校　福岡市中島町　福岡自動車學校　大阪西區市岡町　大阪自動車學校
卒業生は鮮內は勿論內地にも就職大成を指導す

獸人
ゾラ原作　三上於菟吉譯　定價三圓　四六判上製　送料十九錢
戀妻の十年前の情人をさへ生かして置けぬ嫉妬狂。彼女を見れば肥切つた白い肌にわが齒を立てゝムズリと嚙み裂かずにはゐられぬ傷害狂。異性の持物を拔いたハンケチや汚れた手袋を寶物のやうに崇める愛物狂。盜み食されはしまいかと强迫觀念に夜の目も合はされぬ陰謀狂。戀の叶はぬ恨から列車を衝突させて自殺する怖ろしい狂人。女といふ女を一目にしてたらしてしまふ凄い色魔。而も是等の人達を裏づけて大ゾラの深甚な人道觀念はまるで潮のやうに凄しく漲るのである。この作者の三十に餘る長篇の中で一ばん人間的な魅力を持つたのは何といつてもこの「獸人」だ。

卅版　賀川豐彥著　定價二圓三十錢　四六判上製　送料十七錢
諷刺小說　空中征服
世界のユトピア文學に新しき一つを加へたと稱せらるゝ本書、大正十一年度の一ばん面白い小說であると谷本博士をして叫ばしめた本書、そして『死線』以上に文學的價値を認められた本書は改造運動には必要であり、そして諧謔はまた中間の人生の樂しい一つの隙を補足し得るか、本書は我々人間の平淡な生活に向つてその缺陷の一つを補足し、一つの趣味を與ふるものだ。

廿版　賀川豐彥著　定價二圓八十錢　四六判上製　送料十九錢
死線中卷　太陽を射るもの
來る四月印度、歐洲を歷訪せんとする賀川氏がいかに敬虔なる熱誠を以て釋迦、基督の聖蹟の前に立つか、我々はその刹那こそ賀川氏の全人的の熱誠が現はれるのだらうと今から待ちあぐんでゐるのです。

百八十五版　賀川豐彥著　死線を越えて（二八四版）　定價二圓　送料十九錢
賀川豐彥著　星より星への通路（四八版）　定價二圓　送料十七錢
賀川豐彥著　生存競爭の哲學（十二版）　定價二圓　送料十七錢
發行所　東京芝區愛宕下町　振替東京八四〇二　改造社

短期公債募集
名稱　五分利國庫債券（す號）
發行價格　額面百圓ニ付　現金拂込九十二圓　代用拂込九十一圓五十錢　代用佛貨國庫債券五百法一枚ニ付百九十八圓
券面種類　二十五圓　五十圓　百圓　五百圓　千圓　五千圓　壹萬圓
利子支拂期　三月一日　六月一日　九月一日　十二月一日
利率　年五分（利廻　現金拂込六分七厘餘　代用拂込六分九厘餘）
償還期　大正十八年十二月一日迄
保證金　額面百圓ニ付五圓（申込ト共ニ代用證券ヲ提出スルトキハ保證金不要）
拂込金　第一期　五圓（四月十二日限）　第二期　八十七圓（四月二十日限）
取扱店　日本銀行本支店代理店郵便局所
申込期間　四月四日ヨリ同六日迄
日本銀行京城代理店　朝鮮銀行

日本庭園株式會社支店開設
今般左記に支店開設仕候間御用命被下度候
日本庭園　茶室　設計　築造　請負
京城府黃金町四ノ一七三　京城支店　電話本局二四三〇番
大小工事ニ不拘御用命願上候

ゼブラペン
年々歲々花相似たり　歲々年々思潮は移る　この間に依稀として百事向上に資する者は　ゼブラペンの大文字あるのみ　燦爛文化の象徵は　啻にこの一點
品目
1 金Gペン先
2 鐵Gペン先
3 金銀行ペン先（一號）
4 鐵銀行ペン先（一號）
5 金銀行ペン先（二號）
6 鐵銀行ペン先（二號）
7 金二重ペン先
8 丸ペン先六五九號（製圖用）
9 スクールペン先（五號）
10 金一七五號ペン先
11 鐵一七五號ペン先
12 金一八三號ペン先
13 ニューム點（一二〇號）ペン先
14 鐵點（一二〇號）ペン先
東京牛込　石川ペン先製作所
（三錢郵便切手五枚御送附次第サンプル無代進呈）

蛇頂石
毒虫の妙藥
是れ一つあれば　のみ、蚊、南京虫、サテハ毒蛇に咬はれても大丈夫　されば必ず御一人一ツは　おもち下さい
價ハ一個參拾錢（說明書御報次第呈送）
京都寺町　振替大阪六三八　鳩居堂

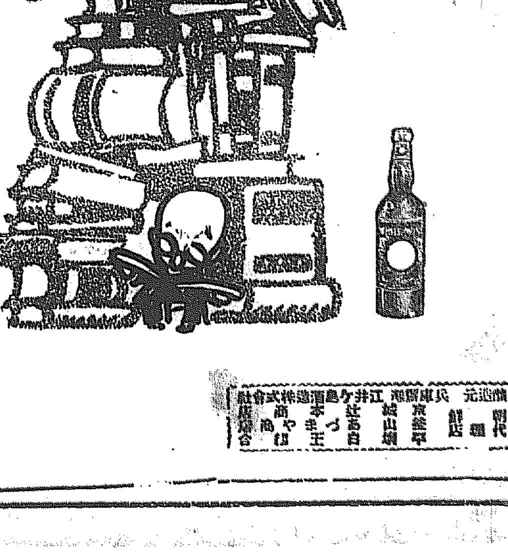
移轉廣告
今般業務擴張に依り前記の場所に移轉仕候付此段廣告候也
京城府南大門通二丁目（殖產銀行横）　嵐一心堂

朝鮮總代理店　京城太平通り　合資會社　京日代理部　振替京城三〇〇番　電話[illegible]
附屬品一切品揃　其他タイプライター用原紙及びインキ類各種
あらゆる點に於て卓越せる本機の御使用により好成績を擧げられんことを（御希望次第カタログ送呈）

國際式謄寫機
あらゆる謄寫機に卓越せる
特徵　謄式の如く直接原紙の上をルーラーでころがして印刷する不便を除き、原紙を損することなく尤も輕快に印刷明、其上に手指を汚することなく、機の洗滌もせず其まゝ色刷もされ、殊に草、毛筆兼用の印刷自由にして、謄寫特殊の考案のもとに製作されたるを以て謄式機の數倍の印刷能力を有する最新式謄寫機
總督府、道廳、郡廳、各銀行會社納品　京日特撰最新式の謄寫機

書籍目錄　無代進呈
御希望の方はハガキにて申込あれ直に送呈す　大阪西區京町堀通三　岩崎博文堂

頭腦を良くし　根氣を增す!!
白葡萄酒の一杯は心身を元氣に愉快ならしめ健康を增進すると共に根氣を增す作用あり、故に激務にある人、頭腦を過激使用する人、勉強する人は缺さず召して能率の增進を計れば二倍の生活が出來る
純良唯一の白葡萄酒
白王ホワイトワイン
絕對に着色せず



販賣元　江井ヶ島酒造株式會社　[illegible]

石井ランシング協約廢棄と之れに代るべき諒解が必要

目下日米間に交渉中—纏り次第發表

【東京電報】石井ランシング協約廢棄となり之に代るべき諒解の必要あり此點に付き目下日米間に交渉繼續中であるが交渉纏り次第近く日米兩政府より更に交換公文の內容を發表する筈であると

別報【華盛頓電報】米國政府當局の說明に依れば日本は九ケ國華盛頓條約は石井ランシング條約を無効ならしむるものであると云ふ米國政府の見解を容認する事に同意した右に付ては新協約を起草する必要なき事情にあるを以て之を爲さず又石井ランシング協約の廢棄は近く正式に發表せらるべしと說明してゐる

日米言明を避く

【華盛頓電報】石井ランシング協約廢棄され新協約案提出されたと云ふ風說不明の報道に付ては日米大使館も國務省も之に關する說明を避けてゐる

廢棄明白か

確かなる筋よりの談話

【華盛頓電報】國務省は正式に說明する事を避けてゐるけれども確なる筋よりの合同通信に聞れる處によると石井ランシング協約の廢棄せられたるは明白なる事實であると

獨、佛の撤兵を俟たず講和締結を希望

【華盛頓電報】獨逸は英米兩國に對し佛國が其の軍隊を撤退するを待たずルール地方に於ける講和締結の交渉を行ひ度しとの意思を示したりと傳へらる

露副僧正處刑發表

大僧正の處刑を中止し

【莫斯科電報】露國執行委員會は大僧正ゼブリアックの禁錮十年の刑を中止し副僧正ブドケウイッチ等を處刑する事に決せる旨を發表した

米國船舶院損失防止策

【セントオーガスチン三十日發電】當地にて探知したる處によれば大統領ハーデング氏が華盛頓に歸來次第米國政府は直に船舶院の損失防止策を講ずる筈であると

二十一ケ條に對する第二回照會文

懇談的の文字を使用

【北京電報】二十一ケ條に關する第二回の照會文は此程起草を終りしが內容は

一、二十一ケ條廢棄は國會の決議であるから承認されたき事

二、旅順大連の回收に就ては改めて交渉に應ぜられたき事

の二ケ條に分け懇談的の文字を使用したものであると

旅大回收貫徹の爲め

學生聯合會全國に通電

【北京電報】北京學生聯合會は大會の決議に基き通電を全國に發し各團體は一致して速かに日本の商業關係を斷絶し支那の原料品輸出を禁止すると共に日本よりの輸入を杜絶せしめ日本の反省を促し旅順大連回收の目的を貫徹すべく國民の奮起を希望した

支那造兵廠擔保借款

【北京電報】上海造兵廠を擔保とする借款は一時中止の姿なりしが最近に於て既に確實に日本某方面より二百四十萬圓を支出せり同廠は諸兵器なるも實は擔保とするものであると支那紙は傳へてゐる

レーニン

漸次衰弱

【莫斯科電報】露國官報發表に依ればレーニン氏は漸次衰弱し脈搏百二十體温三十七であると

加藤首相釋明平易

攝政宮に伏奏せん

【東京電報】三十一日樞密院に於ける加藤首相の釋明は『上奏問題の如

鴨綠江に墜落

辛うじて救助さる

……して江中に墜落大騷ぎとなつたが守備隊員や警察員が馳付け見て直に舟を出し救助し五分の後に……

海軍異動

四月一日發表

【東京電報】海軍側限の結果と行政整理の實施とに依る大異動は四月一日付を以て左の如く發表さるべし

海軍教育本部長海軍大將　野間口兼雄

補軍事參議官　海軍中將　小栗孝三郎

海軍兵學校長海軍中將

補將官會議員　千坂智次郎

將官會議員海軍中將

補將官會議員　齋藤半六

海軍砲兵學校長海軍中將

補舞鶴要港部司令官　吉岡範策

將官會議員海軍中將

補將官會議員　谷口尚眞

(補任官文不明)

軍令部出仕海軍少將　古川心三郎

補教育局長

海軍水雷學校長少將　梁島省三

補横須賀防備隊司令官

海軍少將　山内四郎

補艦政本部第二部長

海軍少將　吉川安平

補艦政本部第三部長

艦政本部出仕海軍少將　井口第二郎

待命仰付

横須賀防備隊司令官海軍少將　桝山可也

補砲術學校長

海軍少將　山口傳一

待軍令部仰付

軍令部出仕仰付

海軍機關少將　池田岩三郎

補舞鶴要港部工作部長

海軍少將　正木義太

艦政本部員機關少將　稻川與一

海軍技術研究所出仕仰付

海軍造兵少將工學博士　野田鶴雄

補海軍技術研究所長

補須賀海軍工廠造兵部長

造兵少將工學博士　吉田太郎

兼補機械水雷實驗部長

海軍々令部出仕造兵少將　郎　敦二郎

補教育局第一課長　海軍少將　寵崎國介

待命仰付

鎭海要港部機關長

機關大佐　松原彦七

鎭海要港部工作部長(以下略)

淘汰人員と賜金

【東京電報】內務省及地方廳を通じ行政整理により三十一日迄に淘汰せられたる淘汰人員は高等官二百六十九名判任官六百七名にして之れが退職賜金は三十三萬圓此の外三十一日にも多少淘汰ある筈

中央金庫設立委員任命期

【東京電報】農商務省は今期議會を通過せる產業組合中央金庫設立委員として貴衆兩院議員農務局長銀行局長の外全國二百有餘の產業組合聯合會より任命する筈で六月一杯には發表さるゝならんと

地方銀行合併

【東京電報】地方銀行の合併は日銀支店長の斡旋並に事務整理の進捗に伴ひて漸次順調に行はれ岐阜に於ける大垣共立銀行(資本金三百萬圓)は愛知縣の農產銀行(資本金五十萬圓)と合併し又神奈川縣に於ては松田銀行と櫻井共立銀行の合併を見るに至つた

航空局長官決定

【東京電報】四月一日より遞信省に移管さるゝ航空局長官は若宮遞信次官の親任、次長は同省管船局長波多野二氏就任の事に決定したるが右は官制發表と同時に任命の筈

加藤大將

外四百餘名豫備役

【東京電報】海軍にては軍縮の結果豫て待命中の加藤寛治大將以下四百五十名に對し三十一日附を以て豫備役仰付けられた

き重大なる事件を惹き起し手續上に相違を來したる事は不得策の爲めにも依るべけれど何れにしても御手數をかけて申譯なし」と極平易であつたといふ斯かる次第にて上奏問題も茲に全く落着したので清浦子加藤二氏は來る二日攝政殿下に參内拜謁を奏し御諒を言上する筈であると

現代思潮の回轉期に際して(上)

高島平三郎氏講演梗概

三十日夜公會堂に於ける

既報の如く三十日夜公會堂に於いて開かれたる皇民會講演會にて高島平三郎氏の述べられたる『現代思潮の回轉期に際して』の講演梗概左の如し

人間の思想と言ふものは撥揚或る一人の人の思想が次から次へと波の樣に傳つて行つて一の流れを生ずるものである、之が所謂思潮である、現代の思潮が如何な經路を辿つて來たかと云ふことをお話ししたいのであるが茲に具體的實例を舉げてお話するとにしよう。

關西の或る大都會の實業家に一人の息子の某があつた幼い時から金錢萬能拜金主義の雰圍氣中に育つた某は能た拜金主義の教育はなかつたが更に擴大した教育はなかつた、某は拜金主義でセッセと働いた、時は恰も歐洲戰爭時代でトントン拍子に儲かつた、大分成金になつた所が世間では節約と云ふことはよく教へるが金の正しい使ひ方に就ては殆ど教へない、それで此の青年は金のあるに任せて酒に溺る色を漁る、得意になつて自暴自棄な生活をした、或る時或る友人から『大事な金を湯水のやうに濫費せずに今少し公共の爲に使つたら何うか』と忠告された事もあつたが、某は金の威力を鼻にかけ『自分で儲けた金は自分で勝手に使つて好い』と馬耳東風少しも耳を傾けなかつた夜は紅燈の下に美妓を擁し歸りは十二時頃でなければ家に歸らぬと云ふ放埓さ、彼は別に考へる事とてはないが只彼の考へる事は株の高下とか、金儲けのことばかりであつた。彼に限つた事でもあるまいが、彼は金さへあれば世の中は如何にでもなる、法律も道德も自由だと考へて居た、成程金があれば或は法律は誤魔化されるかも知れぬ、道德も誤魔化されるだらう、併し幾ら金があつても誤魔化されぬものがある、それは何であるか、曰く自然の法則である、彼も遂に此の自然の法則には打勝つ事が出來ず、に惡質の病氣に罹つた最初は大した事でもないと思つて居たから附近の醫者に診て貰つたが併し一向効目がない、後には醫士を招び博士を招んだ、そして彼は金で治療が自由になるものだと考へた、遂に購上げ×××で八萬圓も費したけれども癒らない。何故に人間は病氣するのであらうか……と茲で考へて見ねばならぬのは、何故ふ事である、之は人間に反省を與ふる神の攝理である、最初は金で何でも自由になるものだと思つて居た彼も半箇年も病氣で寢て居た間には色々な問題を考へて見ざるを得なかつた。そして最初の期待がすつかり裏切られて金ばかりで世の中が自由になるものでないと言ふことに氣が付いた、段々心細さを感じた彼は宗教家を呼んで話を聞いたが、それは既に遲かつた、精神的安心も得ない中に死んで仕舞つた、何たる悲劇であらう斯の種の悲劇は世間に幾らもある事實である

電氣測定令發布

四月二日付總督府令第十號を以て朝鮮電氣測定令を發布さるべきが右は全文八條より成り施行期日は總督之れを定むと

す號國債取扱

京城郵便局にては四月四日より六日迄の間に於いて『す號』五分利附國庫債券募集取扱ひを爲す由(何千圓以下は郵便局に限り證券代用は取扱はず)高額面百圓に付九十二圓(六月一日迄)六十錢(保證金五圓拂込)第一期四月十日(保證金振替)第二期四月二十日八十七圓利息込六分七厘餘に當ると

朝鮮生命成績

朝鮮生命保險會社は設立當時開始後三ケ年以內に償却する豫定なりしが第二年度なる大正十一年の成績は意外によく損失一萬圓を豫期せしに僅に千五百圓に止まり新契約高も殆ど二百萬圓を突破したるを以て第三年度には無配無償却の成績を舉げ得る見込なりと

瓦斯協會總會

內地よりの出席者七十名

來る五月四日大連に於て開催さるゝ第十二回瓦斯協會總會に內地より出席する人員は約七十名にして四月二十七日釜山上陸同日午後京城着一泊の後二十八日朝奉天へ向け出發の由

最近京畿工業概況(二)

財界不況が工業に齎した打擊と關稅撤廢後の工業に及ぼす影響

大正八九年の財界好況時代には京城附近の多額の生產を見たが財界は急に戰後不況の大風に襲はれ多大の打擊を受け事業短縮又は休業するに至り色々の紛糾を生じて居るもので機業は內地に比して原料を移入して居るので現に內地の製品を輸入して持續することは中々困難の狀態であることはほんの一例で

あるが更に角本道工業の振作上能率の向上を圖ることは動力原料の問題に次いでの急務と考へて居る目下朝鮮に於ては新興工業は緞通の製織期であつて例へば陶器は陶器の又は紡織業に白衣は有色衣に漸次交代しつゝあるのであるこれは經濟生活の向上と趣味嗜好の然らしむる所で一般工業家の着目すべき點であると考へる

副業的工業

本道に於ける地方的工業特產物としては有名なる江華の花紋席を筆頭に長湍抱川地

教會と戰なき世界(一)

ギューリック博士談

國際基督教聯盟主事

國際キリスト教聯盟主事シドニー・ギューリック博士は三十一日夜入城したるが博士は途中迄出迎へたる記者に對し左の如く語る

『我等が戰ひを絶滅しなければ戰ひが我等を絶滅する』此語は故ジエームス・ブライス卿が臨終に語つたものである。大戰の大規模なる慘害は我等が現在有する破壞力の如何に恐るべきものなるかを示した。

單に五十年の將來と言はず二十年又は十年の後に於て、其破壞力が如何に進步すべきかは誰も豫測し得ないであらう。

思慮ある人は當然しく世界の現狀を眞面目に考へなければならない。由來戰爭は基督教の信仰の理想と精神とを根本から損ふものではないか?基督教を奉ずる諸國と、戰爭なる基督者とが戰ふのは何が原因なのか、戰時に於て教會と基督教の指導者とは戰爭と基督教に就いて何を說いて居たのであるか、そして戰爭が我等を絶滅する前に我等が戰爭を絶滅する希望が何處にあるのであるか

以上の問題は重要であるが余は以上の問題に關して極近來國の基督教徒の爲しつゝあることを申述べたいと思ふ。茲に注意すべきことは教會即ち基督教が戰爭を全滅するが爲めに當に爲すべきことのあることに氣付いたのは極近頃に起つたことだといふことである。是迄は戰爭は洪水、飢饉又は火災の如くに、不可抗力であつて、人間に責任がないと考へられて居た。且救拯と神の國とは個人的に解釋されて居つた。それが爲めに國際政策を濫職するとか或は決定するとか言ふことは、全然皆の念頭に浮ばなかつたことであつたけれども

我等は今日

では救拯は個人的であると同時に社會的であり、また國際的であることを了解し始めた。即ち神の國は凡ての人間關係が兄弟主義と友愛の精神によつて支配せらるゝ時にのみ、完全に實現せらるゝと言ふことである。戰爭を絶無ならしめんとする教會の義務觀念は最近に擡頭し來つた新思想であるしかも此事に氣付いて居るものは教會員の一少部分に過ぎない、而して此責任を果す爲めに何事を爲すべきかを考へて居るものに至つては、更に寥々たるものである。障害は案外に大きい、怨恨、猜疑、野心、それに各國家と民族の必要なども其中に含まつて居る、各國、各民族の複雜なる利權を如何にして調和させたらばよいか。最近數十年又は數世紀間の不正不義を如何にして挽回すべきであるか。戰爭を絶無ならしむるには是等の凡てを考へなければならない。

共謀して數千圓詐取

【新義州】……東秀(三六)の二人は詐欺有價證券僞造文書僞造行使事件で京城地方法院未決監判事係りで取調中であつたが三十一日有罪と決定公判に廻された……とし金濟熙の名義を利用して土地建物の賃借名義の下に金員を詐取せん事を企て先づその準備として昨冬上旬日支新町……金濟熙、氏名及び……印章を使用し……鐵路二ノ五印刷彫刻業徐應斗に依頼して金濟熙の印章を僞造せしめたる……方にて該僞造の二通の手形を同時に同人に行使して借金方を申込みて百七十五圓を騙取し、其他數度に亘り……て數千圓を詐取したものであるが

京城學校組合會議

—本會議開催—

京城府學校組合會議は二十六、七、八の三日間に於て第一讀會を終了し二十九、三十日の兩日委員會を開き三十一日午後三時十五分本會議開催總會議頭曾我議長起つて經過報告をなす其要領次の通り

第十號議案(商業學校新築費起債の件)は委員會審議の結果原案に賛成し第十一號議案(總豫算)は理事者に於いて原案を修正され第八款學校衞生費に七百圓を增加し從つて豫備費七百圓の減少を見るに至つたのです、而して視學の制度は其の必要を充分に認むるも歲入の途がないので遺憾ながら延期することに一決しました、尙ほ又教員の待遇も向上させ度いと色々に苦慮も致しました、斯う云ふ次第で審議の結果委員會は原案を適當と認めて全部賛成する事になりました

と報告した、第十、十一號を合せ別に質問もなく第二讀會に入る櫛本議員は視學制度は目下の急である如何にかして之を設置したい、理科教室の必要も認めるが此の設備は稍々公平を缺く憾みがあるから寧ろ延期して同時に設備せよ而して、此の經費を視學設置に廻せよと叫んだ、田中議員も視學設置の必要は同感である、深く考へた結果專門家の視學を國家が置いて呉れねばならぬ筈である議員等は團結して當局に陳情建議すべければ府尹からも御盡力あり度しと要望した、次いで谷議長御說は御尤である、多くの學校を有する所に於いて監督機關の必要は痛切に感じて居るから當局に向つて要望しよう

と答へ讀會省略して可決確定し第十七號議案(組合費戶別割賦課額改正の件)に入り谷議長說明す其要點は從來組合費賦課額等を一等から五十六等までとして居たが年所得十一萬四千五百圓迄及び之と同等の資產を有し又は生計を營む者を特等とし年所得五百五十圓未滿の者は免除することにして一等乃至五十五等と定め五十六の等級を設くる事にした、之等は所得額の調査を精密にし課稅の公平を期する爲め斯る結果を得たので愼重に審議されたしといふ

管外生に對する授業料の問題は至極大切である之に關聯して田中議員は管外父兄に一部負擔の方法を講ぜられたく且つ區域擴張の要を述べた

澤村郡外之に對して組合の財源問題は至極大切であるが管外生の事に關しては今少し研究して見たいと答ふ

高山議員も管外の擴張を叫んで稍脫線しかけしが、谷議長折を見計らつて委員附託を諮るや賛成の聲起つて全員委員と決定した、次いで高山議員は選擧區擴張に對する理事者の答辯を求め澤村郡外『總督府で認可され相でないので』と答ふるや田中議員『總督府當局者は選擧區の擴張と普選を厭き遁へて居らぬか』と捲くし立つる、再び高山議員『當局は之を建議するの意思なしと認めてよろしきや』と詰問く。谷議長は穩かに受けて『まだ深く研究して居ないので今少し時日を假して貰ひたい』で納まる、委員會は四日午後一時より開會することとし委員長に大垣議員を舉げ四時二十五分散會

東拓支店農事講習

東拓沙里院支店にては黃海其他地方官廳の後援の下に三月二十五日より三十一日迄一週間移民並に內地語を解する鮮人百五十名に對し左記科目の講習會を同地公立小學校に於て開催せりと

一、科目　稻作及產米改良、稻作

國際親和會開催

京城國際親和會にては來る四月三日朝鮮ホテルに於て各國領事館及各官衙を招待し懇親會を開催すべしと

全南內地視察團

全羅南道主催の實業家及び面職員內地視察團一行二十七名は四月十六日光州發釜山、大阪、京都、東京、日光各地を視察し五月十四日歸署の由

廣告行展準備成る

既報京城商業會議所主催の廣告資料展覽會開催に就ては其後極力準備を急ぎたる結果今や資料は大半蒐集されたる設備の設計も大體に於て成れるを以て愈々來る四月二十一日より五日間公會堂にて開催一般の觀覽に供する事となつた

ギュリック博士

三十一日夜入城

國際基督教聯盟米國主事ギュリック博士は豫定の如く三十一日夜入城朝鮮ホテルに入れるが博士は大邱、京城、平壤、新義州等にて本國より託されたる用務を果し四月十九日京城を發し天津に赴き約一ケ月間支那各地を見物したる後再び日本に渡り五月下旬歸米の豫定なりと

大阪下旬貿易

【大阪電報】大阪に於ける三月下旬貿易左の如し

輸出　九百七十五萬二千六百三十二圓

輸入　四百七十五萬六千三百五十五圓

差引出超　四百九十九萬六千二百九十七圓

一月以降の累計左の如し

輸出　七千六百十三萬六千九百三十七圓

輸入　三千九百五萬八千九百九十四圓

差引出超　三千七百七萬七千九百四十三圓

振威郡內地視察團

京畿道振威郡主催の面職員內地視察團一行十四名は四月五日平澤を出發し東京大阪京都奈良各地を視察し四月十九日歸署の由

增收の原理、肥料實驗大意、病蟲害大意、米穀檢査法、內鮮農況、米穀取引事情

農村視察團歸城

朝鮮農會主催の內地農村研究會の視察團第二班一行は三十一日午前十時歸城せり

辭令

三十日左の通り辭令ありたり

總督府道警部　松永房七

任朝鮮總督府道警視(七等)　總督府道警視　植松重明

補木浦警察署長　大石虎太郎

同　忠清北道在勤を命す　鈴木紋太郎

同　補河南浦警察署長　菅井晉兵衞

同　補會寧警察署長　松永房七

同　咸鏡南道在勤を命す　飯島才助

同　補咸興警察署長　藤原八十八

同　慶尙南道在勤を命す　細谷定

同　全羅南道在勤を命す　田邊秀雄

同　補濟州警察署長　岩村顯吉

同　黃海道在勤を命す　小松寬美

同　咸鏡北道在勤を命す　石川倉吉

同　全羅北道在勤を命す　嚴鎭內

同　京畿道在勤を命す　金昌林

同　咸鏡北道在勤を命す　野上代三郎

同　補群山警察署長　神宮與太郎

總督府道警視　補新義州警察署長　岡本亥之助

同　補平壤警察署長　齋藤安三

同　補大田警察署長　長谷川照治

同　補統營警察署長　樋上佐吉

同　補元山警察署長

總督府郡守　金顯信　尹成英

文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命す

(名通)　總督府屬　春日林八

任朝鮮總督府道理事官(七等)　總督府道理事官　春日林八

平安北道を在勤を命す

補平安北道視學官　阿部明治太郎

總督府道理事官

全羅南道在勤を命す　總督府理事官　古庄逸夫

內務局在勤を命す　總督府道技師　岡邦之助

全羅南道在勤を命す　總督府判事　金命洙

補海州地方法院判事　總督府道技師　元村甫

大正十二年三月二十五日發令

忠淸南道在勤を命す

同年三月三十一日發令

總督府道慈惠醫院醫官　茂泉文三郎

江原道在勤を命す

同　全羅北道在勤を命す　岡田高通

小店員入用

東京市下谷區竹町一

乾電池材料製作販賣業　吉勝商店

旭町一丁目小飲食店居抜の儘貸度都合に依り讓渡致します(社內武田)

出發の際は態々御見送り被下御芳情難有御禮申上候

四月一日

渡邊豊日子

黑木吉郎

寫字買

文化的事業

利益を得んと欲する人は先づ其の實例を研究せよ本社は男女何人にても自宅にて僅に仕事を得せしめ確實に收入を得る事業の規則を無料にて呈す

大阪市西區北堀江町高砂橋西詰

松影社

電話西二〇四五番　振替大阪五〇九〇七

現代建築界之權威

文化的　耐水　耐火　耐久　セメント鐵筋入張瓦

京城漢江通六番地

特許セメント瓦

製造株式會社

電話龍山二四四番

開業御披露

春氣相催シ候處益々御多祥奉大賀候陳者弊館昨年來京城驛前舊御成座跡ニ新築中ノ處愈竣工落成仕開業致候間御出京ノ際ハ是非共新裝セシ心地ヨキ純日本式三層樓ヘ御試宿被下度御願申上候

京城驛前

鐵道指定新築旅館　大東館

電話本局一八二二番

(兒童保健相談所)

イケタ小兒內科病院

京城三越吳服店前へ入る南山町一丁目

院長　池田季

pompeian beauty specialties

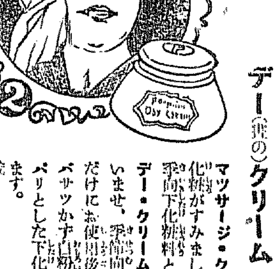
春の女性美を發揮する

ポンピアン化粧法

①基礎化粧料 マッサージ・クリーム

先づお化粧の最初に、基礎化粧料として內外に好評せらるゝ、マッサージ・クリームで美顏術をなさいませ、皮膚に浸み込んでゐる埃や垢は摩擦作用によつて綺麗に吸收され血色の好い潑溂とした素顏の美が得られます。

そればかりでなく、このクリームの使用に依つて、これからの季節に一般婦人方が惱まされるニキビ、ソバカスはキレイに除去せられ、完全に豫防されます。



②夏季向下化粧料ともなる 淡化粧料 デー(晝の)クリーム

マッサージ・クリームで基礎化粧がすみましたら、特に夏季向下化粧料として作られたデー・クリームをお用ゐなさいませ、季節向きのクリームだけにお使用後が油浸みずにベタつかず白粉附の好いサッパリとした下化粧が出來上ります。

單にクリームだけでも淡い上品なお化粧が整はれます。

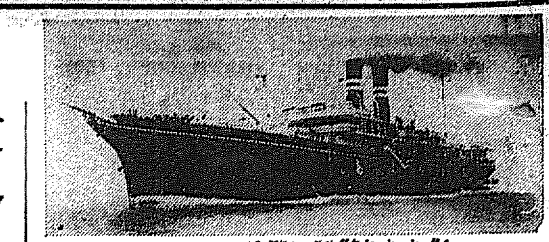
③雀斑が自然にとれる ビューテー。パウダー(粉白粉)

以上の二品で完全した美しい下化粧が出來ましたら匂ひの好いそしてポンピアン製品の中でも特に品質で好評のあるツキもノビも模範的なこの白粉で仕上をなさいませ。

スガ〳〵しい春の女性美はこの三品によつて遺憾なく發揮せられます。

米國ポンピアン會社東洋總代理店
東京銀座　佐々木商店

……府内櫻町一丁目五十六番河本述之助(三八)公平洞百十八番地高男金宇植(二九)を誘ひ出したのを奇貨として……



良子女王御乘船
亞米利加丸(六千噸)に内定

久邇宮良子女王殿下一行は愈々宮家より發表された通り五月十八日神戸より瀬戸内海を航路門司に向はせられ十九日門司御上陸汽車路より九州各地に向はせらるゝ筈であるが右御海路の御乘船は大阪商船亞米利加丸に内定せる模様である同船は二十九日萩港から門司に入港神戸に向つたが船長は語る

『未だ正式の通知には接しませんが各方面からの報告に依れば本船が御乘船たるの光榮に浴し相です本船は大正九年久邇父宮殿下の御便乘の光榮に浴した事有り近く父母宮良子兩女王殿下の御乘船に決しさうで本船としては無上の光榮に浴する譯で幸國總督府の賀來總務長官も本船が宮殿下御一行の御乘船に内定しさうだからとの注意を與へられました決定の上は一等船室半數を御一行の御使用に當つる爲め諸般の設備を爲し御旅情を慰め奉る決心です』(門司)

國母陛下還啓
四日再び葉山へ

葉山御用邸に在らせらるゝ皇后陛下には四月二日女子學習院行啓に次で國支那艦隊司令長官レヴソン夫妻等に謁見仰付らる爲に三十一日午後三時還啓あらせられた、來る四日又も葉山へ行啓あらせらるゝ由(東京電報)

京都の家庭博

京都市岡崎公園に開催中の第二回家庭博覽會は去る二十日開館以來非常に盛會を極め各方面の好評を博して居るが來る五月廿日までにて閉會する筈因に同館には朝鮮の出品もある

日本移民
を米國で特に排斥するやうに考へるのは間違ひだ

アンチジヤパニースと云ふ語を『排日』と譯するのは不當である。あれは寧ろ『反日』とすべきだ、即ち今米國に居る日本人を排斥し放逐するのではなく今後あまり入れたくないと云ふ事である。どうも共和國たる米國としては此の地方民の態度を無視し難い状態にあるので米人一般が日本人に反感を有するのではない、此點は御方に了解したいものである。偕移民法によつて大數を制限しつゝある

歐洲人に
も同樣に制限

のは決して東洋人ばかりではない。を行つて一昨年からスリーパーセントと云ふ法律を作つた、即ち在米各國民の三歩以上は一年に入米させぬと云ふのであるが今後は之を二パーセントに仕度いと云ふ運動もある、だから決して日本人のみを嫌ふのではない。

君がお尋ねになるから色々の事を話したが僕の使命は教會のグッドウイル(好意)を傳へる爲で朝鮮へ來たのも決して總督政治の視察と云ふやうな意味はない、之れも誤解をさける爲に特に御斷りして置く。

組合會に二つの問題
視學設置、管外兒童、選擧權擴張　それ〳〵に議論の花が咲いた
理事者は何んな肚か

三十一日の學校組合會議では視學設置問題と管外兒童問題及び選擧權擴張問題に花が咲いた今其内容を簡單に摘記すれば

制度の不備を補ふ爲に
視學設置問題

視學設置問題を極力提唱したのは田中八郎と橋本十三郎である、橋本議員の言ふ所は斯うだ

京城の教育界の現状から見て視學を設くるの必要は今更言ふまでもない事であるから、單に經費がないから之を延期すると云ふのは甚だ遺憾である、何かの費目からでも捻出し是非來年度から設置したいものである、委員會に於いて既に專科教室の設備を設くることになつたが未だ學校の中等を要する所があるに拘はらず同費の都合上設備することは稍不公平である、されば寧ろ一ケ年位延期して同時に全部實施することにし其の經費を以て視學を設くることが急である

又田中議員の言ふ所に依れば管理者には小學校令に依る教育に關して監督の權能があるが如何か官吏たる府尹には監督權があらうが管理者にはない筈である、管理者と府尹とは職權が違ふ、府に於いては官吏たる府尹が管理者であるから都合が好い樣なもの丶人間萬能でないから矢張り専門の視學を置かねば向上は困難である、而して之は當然國家が置いて呉れねばならぬ筈であるから極力結束を固うして當局者に陳情建議して目的を貫徹しようと力んで居るのだが府尹も尤もだと賛成し當局に向つて要望しようと說明して居た

一人當り卅圓の犧牲
管外兒童問題

管外兒童に對する處置としては現在小學校に約七百名中等學校に約二百五十名位の管外生が居るが小學校は國民教育である以上管外生であるからと云ふので入れぬ譯には行かぬ、然るに兒童一人當り經費一ケ年四十餘圓を要する當組合に於ては管外兒童から一ケ年授業料を僅か十一圓徴收する丈けであるので差引一人に付三十餘圓の犧牲を拂つて居る譯である、國庫補助の方法が何とか改正されれば知らぬこと今日に至るも千遍一律の補助法であり且つ交通機關の

達は近隣が廣くなり管外兒童は漸次増加して行くので組合の犧牲は益々大になつて行く一方である、組合負擔もあり本府へも申請してはあるが其の儘になつて居る、往々にして弊害を認むるのは府内に土地財産を有して居ても府外に居住するものは組合費を負擔せず僅かな授業料だけの負擔で子女の教育が出來ると云ふ事になるので甚だ不公平である、何とか方法を講じて負擔を平等にせしめねばならぬ云々

昨年全員一致で建議した
選擧權の問題

組合規約第四條に規定してある組合議員の選擧權を擴張せねばならぬと云ふことは昨年の會議で全員一致を以て當局者に建議したのであるが今日の會議に議題とならなかつた、理事者の云ふ所に依れば本件は認可の必要ある問題で内々當局とも折衝したが、府協議會や學校評議會員等の選擧資格も將來改正する譯には行かぬらしい、それであるから組合の方だけを改正する譯には行かぬらしいと云ふのであるが議員側では府協議會員と組合とは組織の上から異なつて居る、從つて選擧の性質も異ふ公共團體の選擧を行使する資格擴張を普選などと騒ぎ立てゝは時代錯誤も甚だしいと云ふ意見である、谷府尹は『今少し時日を假して呉れ深く研究して見るから』と言つて居たが果して本問題は如何になつて行くことやら。

重荷を卸して
ホット一息の谷さん
議長振も鮮かだが應接も甘い

著任匆々第一回の府協議會も先づ無難にさしたる問題も起らずに圓滿に濟ました翌日即ち卅一日の午後、谷府尹を訪へば今しも訪問の客と對座した谷さんは『先づ一と安心』と云つた樣な長閑な面持で椅子に深く腰を掛け、背の窓から流れ込んで來る温かな春の陽を浴びながら如何にも氣持よささうに客と何事か話して居た、『無事に濟みましたね』と挨拶すれば『ホアお掛けなさい』と椅子を進めながら

『先づ大した問題もなく豫定通り進行したことを喜びます』

『御感想は如何です?』

『府協議會は初めてだから克く判りませぬ、以前と比べて如何です?あなた達の方が委しいでせう』

『いや、公開されたのは今年が初めてですから……』

『あゝ左樣だつた〳〵。して見ると府協議會の内容に就いては諸君も俺と同じでしたね』

『道の評議會と比較して如何?』

『さうですね、道の方は議論が緻いので會議でも多くは地方的の色彩が濃厚ですよ』

『府協議會にはそんな嫌はありませんね?』

『別に大した事もありませんよ、何しろ京城は都ですから議員諸君も皆立派なものです、質問も旨いし答辯も旨いものです、更に府尹の私としては未だ京城の事情が克く分かつて居ないので何れを聞いても非常に好い勉を得ました』と議長振りも旨かつたが應接振りも鄕々しいものであつた

片山潛氏北京に現る

【奉天三十日發電】片山潛氏は二月十六日莫斯科を發しトルキスタンを經て三月十七日上海に到着し二十八日更に北京に向つたが四月九日北京經莫斯科に歸る筈である

更迭した署長さんの感想やら抱負やら

警務課長か何か判らぬ
と舊本町署長

今回京畿道在勤を命ぜられた今野本町署長は『警務課か道在勤を命ぜられて道になるのかもわからないよ』と冒頭し牢ら左の如く語つた『私が前の保安課長時代の十年十月十日物故した吉村氏が病氣の爲入院して居たので留守中事務取扱として本町署長代理をして居たが正式に赴任したのは十年十二月です、マア入婿の關係ですね、果して警務課長の椅子に坐ることが出來るかどうか疑問である』警務課と云へば新聞記者とは比較的關係が薄く樽子扱ひにされて居る

古巣へ歸るのも亦一興
と新龍山署長

道の警務課長から出て龍山署長の任に就いた大森さんはニコ〳〵顏で語る『私は朝鮮に渡る前は警察署の下北部の署長をしてゐましたが恰度大正九年十二月に龍山警察署長に任命されましたそれから三ケ月經つた十年三月に警務課長に任命されて現在に及んだのです、だから此度龍山に行くのは謂はゞ古巣に歸つて行くやうなものです、そう花も直ぐ咲からと云ふ時古巣に歸るのも又一興かも知れませんハツハヽヽ龍山には軍隊及び大會社のある關係上隨分知名の士や人格の高い人達が多いので隨分やり惡いかも知れぬが幸ひにして此等の人々の同情ある理解があるならば充分なる効果を納め得るだらうと信じます』

から其時はお手柔かに願ひます、道の警務課は道全體の官紀問題で大變忙しいだらうが萬事警察部長の指揮の下に犬馬の勞を厭はない積りです

朝鮮語が解るから便利
と新鐘路署長

新鐘路署長森警視は警察官中の最古參者の一人であるが朝鮮語に堪能なる諸官界でも重寶がられて居る譯ら顏の氏は『マサカ榮轉でもあるまい』と云ひながら『所感と云つても別にないが私の信念とする處は内鮮融和に努めることである……』非公式に語つた

本町と西大門の新署長
どちらも京城に縁故が深い

新任本田西大門署長は警務部警務課文書係警部として京城に在勤し其後北部警察部に轉じ警視に昇進して成鏡北道警察部警務課長となり元山署長を經て西大門署長に榮轉したのである、又新任本町署長は元警務總監部時代保安課司法係警部を勤め其後慶尚南道蔚山署長に榮轉後警視となり慶州署長を命ぜられ今日に及んだ者であるが元の南部署である本町署に勤務したともある

知はあつたが若し鍾路署に轉任するとせば私の責任は重過ぎる程である御承知の通り西大門署は各團體や銀行が所在する區域から署長殺しの地名とされて居るが前三年二ケ月の在職中大過なかつたのは偏に皆さん方のお蔭で感謝して居る次第です、私は無學な人間であるが使命警察界を退いても朝鮮を此士に埋る決心である故に私は多少朝鮮語がわかるので各方面に知己が多く何彼につけて便利な點もあり全鮮の中心である鍾路署で出來るだけ働く積りです』と語つた

視察ぬきの渡鮮
とギユリツク博士
十年振りに見た日本人や排日問題に就て語る

三十一日夜基督教聯盟米國主事ギユリツク博士は、京城青年會總務丹羽清次郎氏、東京杉並教會牧師眞鍋賴一氏と共に入城したが博士は出迎への記者に語る

私は以前二十五ケ年間日本に居つたが歸米して今度は十年振りで再び東洋に來たのである。日本各地で目につくのは此年たると青少年たるとを問はず

讀書熱が

盛んになつた事で殊に東京などでは電車や汽車の中は勿論歩きながら讀書してるものが多いには驚いた。それは試驗勉強で仕方なしにする事だつて?否、さうぢやない、勿論教科書を見る人もあつたが多くは雜誌や小說類だからね私の云ふ所は當らない、それから各大都市では道路改善に力を注いで居

◇昨夜入城した　ギユリツク博士◇

競馬大會はけふから
興味を唆る勝馬投票
行樂の春を魁ける此の催し
行け漢江々畔へ

多數の府民が待ちに待つた其の日は遂に來た朝鮮競馬俱樂部主催の春季大會は愈けふから三日間漢江々畔に於て擧行される春風に勇む數十頭トラックを囲む觀衆熱狂歡呼の聲は湧と湧いて行樂の春に血は沸き肉は躍る行け漢江々畔へ競馬大會へ競技番組三日間を通じて約三十、假るから假りに一日十競馬ありとし々の勝負以外更に興味を唆るものは勝馬投票である此の勝馬投票とは二百圓で敗投額も二千圓に限られた勘定で而も鐵則關係者、馬主、騎手、厩舎などには絕對に賣らぬ事になつて居るので八百長はせぬ興味も少い譯である、そして勝券に對しては直接現金で配當金を引渡すのであるが勝馬投票は一票の金額も少く投票には制限はないが配當に對しては

ドンな物か又今度議會を

通過した馬券とドンな相違があるか從前の内地の競馬では馬券の金額及投票數とも無制限であつたので多少の弊害を醸す場合もあつたやうであるが今度の法案によるとそれに制限が設けられ金額は一枚五圓以上二十圓迄とし一競馬に對し一人一票で

景品券

居る無論希望者は夫々商店で現金に換へる人もあるが、ほんの餘興的である而も馬券は馬券のみ發賣するが勝馬投票券は入場券に添付する事になつて居る、配當の方法は兩者共ほゞ同樣である又一票の配當額が馬券に於いては十倍を越した場合勝馬投票に於いては二十倍を越した場合は其超過額は主催者の收入となる事になつて居る今度の法案によると外國の例に習ひ

政府も

馬券收入の幾一部を收得し馬匹改良の一端に充てる事になつたと記憶する更に競馬も諸外國や支那上海、香港あたりの樣に春秋二期の年中行事となり勝者中銀行、會社も役所も休業してかゝり一競馬に五萬弗や十萬弗位の馬券が

競技番組
第一日(四月一日)

當があると云ふ所迄行けば徹底した興味が湧いて來る云々

第一回	倶樂部所定		四分三哩
第二回	新馬競走		四分三哩
第三回	各國產馬競走		一哩
第四回	紳士騎乘競走		四分三哩
第五回	倶樂部指定馬	ハンデキヤツプ	一哩八分一
第六回	各國產馬	ハンデキヤツプ	一哩二分一
第七回	新馬競走	(一等賞金二百五十圓)	一哩
第八回	各國產馬	(ハンデキヤツプ)	一哩四分一
第九回	指定馬競走		一哩
第十回	紳士騎乘競走		一哩

活動寫眞の入場料
全國で一番高いのは神戸
京城の常設館は普通

道保安課では内地各都邑の活動寫眞館の入場料を調査中であつたが此程各地より回答があつた一番高い處が兵庫縣で特等二圓、一等一圓五十錢最低一圓四十錢、二等が一圓二十錢以下三十錢まで三等が八十錢以下二十錢迄である、其次が東京で一等最高が一圓五十錢、最低五十錢二等一圓から四十錢迄、三等が五十錢から三十錢まで京都は一等八十錢、二等七十錢、三等五十錢どすとの事、愛知縣は京都と同じで二等が十錢に足りない丈けナモだそうで、神奈川縣は一等六十錢、二等五十錢三等が三十錢である、そこで京城はどうかと云ふに階上が六十錢で階下四十錢であるから高いと云ふ方ではない朝鮮人側の朝鮮劇場の方は更に高率で特等一圓五十錢、一等一圓、二等七十錢で三等はなしである、優美館も朝鮮劇場より少し廉い丈けで大體に於いて同じ高率であると云ひ得るのである

朝鮮紹介の映畫
東京各學校で公開

内鮮融合の基本は相互に理解し合ふ事が最も必要な事であるとし今度總督府自ら莫大の經費を投じて朝鮮の山河風俗或は名所舊跡等を一萬五千呎の映畫に仕上げ之を後藤東京市長を會長とする東洋協會に送り來り小學兒童のみならず一般に無料公開する事となり三十一日午後五時神田錦華小學校を振出に市内各小學校で無料觀覽せしむる筈(東京電報)

一千萬圓の寄附金で
建る民立大學

朝鮮民立大學期成會では全鮮に亘り向ふ一ケ年間に一千萬圓を募集する

地震計動く
二回に亘つて

三十日午後九時二十七分有感地震あ りたる旨報告あり當所地震計に該地震に前後二回感じたが第一回は午前九時二十七分○秒に初動を感じ微震なる初期微動を繼續し九時二十八分頃全く靜止した、第二回は午後九時三十八分五十一秒に初動は第一回と同樣なる震動を記錄し九時四十分に至つて靜止した震源地は當所より震源地まで五十里を距て丶居る(仁川觀測所發)

重大犯人捕はる
京畿道警察部の手に
既に罪狀を自白

京畿道警察部では府内各署と聯絡を保ち三十日來極秘の裡に活動を開始したが同日午後十時半頃道警察部の一隊は有力なる端緒を得たものか某方面に主力を集注し探査の結果一名の怪鮮人を逮捕し目下嚴重に取調中である事件の内容は報道する自由を有せないが右の怪鮮人は某重大事件の首魁某で既に罪狀を自白に及んだと

肺病
全治御禮

私事久敷肺結核ニテ苦悶セシモ効ナク全ク病弱ヲ加ヘ醫薬更ニ府内永光町ナル病院ヲ訪問シ太宰核心ニ病ヲ治セシ處心ノ如何ニ病ヲ得テ殊ニヨリテ早速御處方ニ依リ目下ノ身体全ク全快ニ至リシハ偏ニ御醫者ノ御指導ヲ深ク感謝イタシ……全快仕候間茲ニ紙上ヲ以テ御禮申上候

鳥取市掛出町　由井豐藏

薄情な夫
溺死の新妻を捨てゝ逃出す

府内明治町一の三四番地印刷職工山本德松(二〇)は長橋町六〇番地須田久

文化
京城名物　まんぢう　あめ

京城本町二丁目　進物用並發送入御取扱御用は電話本局三○七七番　パイン會社製菓部

演藝大會
爪も立たぬ盛況
和光教園後援

府内觀水洞淨土宗開教院の經營に係る鮮人教化事業和光教園が經費不足のため事業遂行に行き悩みを生じたのに府内三新聞社後援の下に總督府社會課長京畿道京城各警察署長等の主宰する共生會が三十一日京劇に於て演藝大會を開催した、定刻七時には既に八分通りの入り、『都鳥』は陽堂みの字の唄に杵屋佐多枝の三弦にて拍手の裡に揚幕が下り、松井壽水氏は觀衆の湧く如な拍手を浴びて彼が得意の大薩摩『木能寺』に移る紅の響と彼が咽喉を突いて出づる聲は深い潤ひある肉聲とは一種の交響的のリズムをなして滿場酔醉となり次で鮮人にして勘て斯界に定評ある金與水君の『大西鄕』の城山に於ける悲壯なる最後の一曲を微じ終るゝ次いで佐藤大佐の尺八にて鞠宮一瀧氏の琴にて『楓の花』の獨奏あり、觀衆は八時頃既に場内に滿ち殆と立錐の餘地なき有樣である、プログラムの進行につれ三好藝妓の出演に係る長唄『花車』の目覺むる許りの絢爛な舞踊が開かれる菊千代、一若、吉奴、久松、桃蝶など絕艷の粧ひに極しいさす手引く手のにほやかな舞蝶師は觀衆を魅了し大喝采の裡に午後十時半閉會した、今晩も開演する筈

怪汽船釋放

二十九日門司に入港した米國汽船テルチツク號は我要塞地帶ノ在の嫌ひあり嚴重取調中なりしが遂に證據なきため釋放した(門司電報)

演藝案内

大正館
國活特約　毎日晝夜　三月廿八日より特別大提供

○喜劇　クリスチ・コメデー　ホテルの一夜　全一卷

市川莊十郎一座大車輪　木曾庄九郎　全九卷

永井淸夫　加賀の國白山の麓法力坊の爲めに父と武道の奥妙を極めた女が美ひ父を喪ひ浮世の波に漂ひ遂に本懷を遂げた…

△解決篇　百萬弗懸賞　全六卷

第十三篇死の影第十四篇運命の宿…

國活新派　鷲津村の娘

▲新派大悲劇…

中央館
松竹キネマ特約　三月廿九日より特撰大映畫

○喜劇　フオツクス映畫　ハムの水夫　全二卷

一人間續　快彈兒　第二篇

大活劇續篇　肉彈火花を散らし　全六卷

新派悲劇　孝女工よし子　全五卷

黄金館
松竹キネマ直營　毎日晝夜　三月二十九日より特別映畫封切

○喜劇　デブのイタヅラ　一卷

○パラマウント社特作映畫　猛獸と女神　全五卷

新派悲劇　丸橋忠彌　全六卷

大悲劇　破光　全五卷

喜樂館
日活直營　京城本町　毎日晝夜開館特別興行

呪の毒矢　全九卷

京屋の襟店　全九卷

京龍座
山三一○番　待兼ねの喜劇界の　曾る四月一日初日開演

浪花館
明星曾我の家五郎一行　男女優數十名の大一座　藝題毎日替り

京城劇場
三遊亭圓遊一行

木一町九七番　本町　和光教園後援演藝大會　三月三十一日(土曜日)　四月一日(日曜日)

旺盛なる精力!! 明快なる頭腦!!
充實せる文化生活の基礎
補血强壯劑の極致
ブルトーゼ

帝國大學病院　赤十字社病院　各府縣立病院　御採用
眞鍋博士　土田博士　河西博士
齋藤博士　増山博士　諏訪博士　實驗御推奬

賣價小瓶(約半月分)金貳圓　大瓶(約一月分)金參圓

三大特長
一　芳香美味にして我國民固有の嗜好に適し婦人子供も好愛し良藥にして口に快し。
二　絕對に胃腸を害せず食慾を增進す。
三　速かに消化吸收せられ血を增し肉を肥やし榮養を盛にし體力を强壯ならしむ。

結合製劑
本劑は別にアルゼン、ヨード、キナ、グアヤコール等の有効成分を結合せしめ各適應症に對し一層適切確實に醫治効力を達成せしむ。

故に貧血諸病、病後の衰弱、虛弱者、神經衰弱、姙娠、產後、乳母、身神過勞、虛弱兒童等に適し無病の者は榮養を增し精力を强くす。

●本劑は全國各地藥店にて販賣せり
●販賣者に注意　アルゼンブルトーゼに限り法規に依る買受證を徵せらるべし　萬一品切の節は直接本舖へ御注文を乞ふ

說明書進呈

發賣元　本舖　藤澤友吉商店
大阪市東區道修町二丁目(振替大阪一七四一番)
東京代理店　東京日本橋區本町(高井商店)
名古屋出張所　名古屋市西區本町二丁目
京城支店　京城府四小門町四二番地
大連代理店　大連市浪速町(日本藥業會社)
上海代理店　上海四川路三一號(眞豐洋行)

橋都醫院
院長　醫學士　正六位勳五等　橋都芳樹
平壤幸町　電話三五五番

好生堂醫院
內科　婦人科　小兒科　外科　梅毒　性病
平壤幸町　電話二四六番
院長　醫學士　金子政寛
醫學士　嶋田ゆわ

懸賞當選小説 半島の自然と人間 (68)

富士澤けい子作 鶴田吾郎畫

國境の空家から發した不思議な火事は、總督の合圖にやつたのだと云ふことが戰線都の目白によつて知れたが、居留民の不安はその爲に一層大きくなつた。

「何時また、あんなことがあるかも知れない。こんどこそやるのだつたら、ひどいことをやるだらう！」

と云ふ不安は誰の胸にもあつた。護路の内地人の誰もは全く仕事も手がつかなく、びく／＼として、一日も早く軍隊の駐屯することをのみねがつてゐた。

保子にとつて一番恐ろしいと想つたのは子供と一緒に風呂に入つてゐるときだつた。もしもそんな時に暴徒でもおしよせて來たら、どうしよう。逃げると云つても、子供にも着物を着せ、自分もきなくちやあならない、その間にどんな事をされるか知れない、さう思ふと保子は全くおちく／＼流してゐる氣にもなれなかつた。子供だけざつと洗つてやると、保子はどぶんと湯槽につかるだけですぐに上がつてしまふのだつた。そのわづかの間にも、たつた一枚入れてある、ガラスから目をはなさず、ちつと分隊から邑内の方へつゞいてゐる一本道を、ながめてゐるのだつた。もしもその道に四五人位の鮮人がかたまつてゐるものなら保子の目は、ハツト光りだすのだつた。さうなると保子は子供を洗つてやるのも何も忘れてしまつて、その人影が何物であるか、もしや暴徒ではないか、人が散り行くまで、瞳を凝結させて見てゐるのだつた。それほど保子の心は恐怖の爲に過敏になつてゐた。が、これは何も保子ばかしがさうではなかつた。皆んながさうであつた。

待ちに待つてゐた守備隊が、火事のあつてから四日目に、やう／＼一小隊あまり到着した。

『あゝ守備隊がきた、守備隊が』

と居留民は一齊に籠城の兵士が援軍を、はるかに眺めた時のやうな、歡呼の手を上げて守備隊を邑内のはづれに出て、迎へたのであつた。劍が春日をあびてキラ／＼光る。銃の先きにつけられた劍、勇ましい靴音の亂れてるやう軍歌！

『今こそ自分の生命が、完全に保護におかれたのだ。』

さう彼等は思ふとともに、身體の萎え行くやうな安堵と疲勞を一時に感じるのであつた。

守備隊はともかくも本隊を分隊の近くの旅館において、そこへ投宿した。

短歌 尾上柴舟選

課題『石』……(六)……

◇ 原田ふさを（京城）
事もなき道にしあればたまさかに小石を拾ひ田になげてみし

◇ 高木 朱鳥（旅順）
留さし石にもアデユーと習ひかけて十年住みにし町とわかれし

◇ 高島 都圓（元山）
鴨緑つと岸邊たどれば多川の早瀬の底に石蛋く見ゆ

◇ 武内 渦歌（間島）
磯邊より廻りし貝殼さゞれ石物経ふ母のそばに並ぶる

◇ 深秋銀河郎（京城）
大き波うねり激しく寄せ來ては碎くるを飽かず見てをり岩に

◇ 龜島 孤舟（龍山）
小夜更けて家居は沈き月夜路ほえかゝる犬に石なげにけり

俳句 本社俳句會選

題『立春』……三……

○ 龍山 凡子
大空を舞ひ下る鳶や春寒し

○ 滿州 耕人
春寒し今朝の睡床や汁の湯氣

○ 寧邊 一葉
餌に驚きご小鳥前出す春寒

○ 龍山 驪水
春寒や手内職する日向縁

○ 寧邊 孤屋
川の瀬に網打つ人や春寒し
山宿の春まだ寒き時風晶かな
殿かげの霜凍れる餘寒かな

○ 京城 南堂
繪馬堂に子守佇むや春寒し
病後の文字の顫へや春寒し

○ 熙川 此山
榔にのこる白髮光りて春寒し

○ 京城 虫兵衛
榔けぶる海金剛や春寒し

○ 平壤 蕉雨
股火する車夫のたまりや春寒し

○ 京城 一遊
亜子買うて戻る瞼や春寒し
春寒し從みがちなる谷の水

○ 龍山 柳村
春寒く淨鉛の窓開けやらず

○ 京城・丹山
枯芝に臥す神鹿や春寒し

○ 龍山 部堂
春寒に臓動の音冴えてあり

○ 長春 秀郷
春寒や水の切れざる洗ひ物
老妓灯に襟かき合す餘寒かな
夜動して風邪引かへす餘寒哉

友送る夜（鈴友會）

近く退鮮する奥塚朗氏のために龍山ひよこ會ひよんの實會の發起で去る二十四日の夜滿鐵社友會々場で盛んな送別句會を催した。披講や記念揮毫で春雨の一夜を更かした。左に掲ぐるのは當夜の收穫である

五點句
路摘むや指にさし觸れ土の冷え 夢丘
春風や陽光らせて船修理 千舟
砂にさす傘登の傘や春の風 靜友
春風の河に扉あけし旗亭哉 但人

四點句
茄で盜いよく／＼皆く洗ひ鳧 正城
春風に背ある松や濱節か 芳翠
路遠るや明るき傘を汚し鳧 夢丘
膝までの耕裟せけり春の風 靜友
客あれば來る船頭や春の風 栗村

三點句
江堤の露路なく摘れけり 千舟
路摘む道傍に泥かれ汚れ足袋 泉竹
拂當殼捨てしそこらの露哉 栗村
土の色動かし引きし露かな 但人
摘み去りし露の跡の土淋し 正城
丘の土の放牛田で摘む露哉 美暮朗
つみためし露の柔さ包み鳧 千舟
春風や垣緒ひながら弁を嫁く 昌山
春風や松の下なる芝小道 露草
春風や花坂を避けばある挨 夢丘
卓にある紅短冊や春の風 美暮朗
春風を背にして繰す揚り鳧 栗村
春風に刷物剝げたる門扉の繪 但人

其他
路摘まで露の上に座しに鳧 夢丘
直ぐそばに光る刃や露つむ 紅洋
馬宿の掛行燈や春の風 牡時
羽ばたきて鷄とび去る春の風 牛月
ショール更で出歩く女春の風 龍城

美暮朗氏に……
別れ路の若草分ち男の子哉 靜友
左程とも思はぬ身とはなる 芳晴
汽車待つ間握手に默す春の風 龍城
若人や代りて來たり夢めむ 栗村
春宵を別るる人の若さかな 夢丘
お別の遠山霞となりにけり 露草
君去るや入道の山河大霞 千舟

川柳 井上劍花坊選

題『芝居』……□……

○ 寧邊 無庭
鳴り物で花道をでる美しさ

○ 溫井 四方牛
芝居でも見れる身分になりたさ

○ 湖州 擔兵衛
黒の足釜山に上陸り幹事なり

○ 馬山 蠻化坊
曾根崎も仕様で新しい仕ぐさ

○ 大阪 馬行
下向いて桟敷で涙拭いてゐる

○ 佐世保 草衣
弾やめて阿古屋は馬の面に見え

○ 安東縣 雲六
乳母だけは芝居の筋を詠を居る

○ 平壤 醜春
芝居見て歸つた夜だけ貞婦なり

○ 金二浦 蔡斗
お芝居もヤハリ花より團子なり

○ 熙川 醜水
村芝居やりそこなつて幕をひき

○ 京城 拙二樓
おなさしに戻つて見れば芝居で

○ 南川 榮芳
村芝居セリフを見物から敎へ

川柳研究會…（龍山）

題『髮』 五 選

三 點
丸髷に結つて婿と冷かされ 默然坊
落ちかゝる髮を令嬢結つて來る 紅知册
妾宅のかで妾宅轄かきヽ 笛蛙
髮結の能辯で今日も千萬聞き 爽念佛
窓庭の始末をつけて髮を解き 寶六
下髮の羽根突くと赤い鈴が鳴り 同
勝名乘大きく冷ひて髮をなで 笛蛙
亂れ髮は現場の面に見え 海月庵
丸髷で歸つて來た長屋中 十の字

四 點
最う一度髮は出際を梳て 默然坊
生え際をほめて髮結櫛を入れ 寶六
結ひ立ての髮でしとやかに歸り 愛念佛
奥様の髮は師匠の方が結ひ 赤鳥
髮を刈らうがかたら將棊の手を敎へ 水陰
鋏の髮に鋏者は三味を止め 夜風

五 點
世帶崩れて無雜作な束ね髮 大納言

六 點
首を振つて嫌の根が緩み 野光郎

七 點
髮洗ひ勝の下から返事をし 大納言

鬼灯川柳集（三〇號二册）

安酒の醉
醉ざめて財布を獨り考へる 宵洗子
醉はぬ内だけは正座をしてゐる 同
ゆべの香を殺つて長湯醉ひ出る 秋牛
白酒に醉ふて眞赤な頰を被ひ 同
戸締りをすれば生醉起き上り 同
離れ行く醉は醉はぬ人と來る 同
安酒に醉ふて浮世を棄てて與 築平樂
酌の手が見事で女いけるロ 同
醉ふての鉾妓は酌の手を延し 同
下戸の辭半病人の烈なり 同
醉ふてる氣で醉ふてない火の車 同

新刊紹介

國民之日本史 江戸時代篇 元祿享保期の現勢（高須梅溪氏著）江戸類廢期の現象として寛永前後から慶應の末年までの十數年間に行はれた大動搖大波瀾は空前の偉觀である殊に大正維新の聲が高調されて世變の激甚ならんとする今日爲日本が新日本を生み出すに如何に努力したかと云ふことは現代の人々に大なる興味を與へるに違ひない本書は著者の公平な見地と超邁な學識と雄健な趣味多い筆とを以て江戸末期に於ける日本の國勢を正確に周到に描破したもので幕末史として完成し然も當時の新文化をも併叙して世界に於ける日本の地位を明かにしたところは著者の一見識である（第十一回分三月發行東京牛込區早稲田大學出版部）

認識と教育＝自然と教育（大西友太氏著）一、自然の感覺的印象一、自然の觀察と勞働の記念一、悟性的認識と教育の内容一、理性的認識と教育の目的一、意志の陶冶と教育の本領の五章に分ち著者の卓識なる意見を基礎的に明晰に記述されてゐる（三圓七十錢大阪南區三津寺）

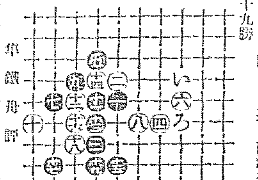
△凝古道鏡（傾繩義太郎氏著）環古塔佛訪記より探險遺難の實況其他甚古旅行の實驗を編まれたもので好參考となる良書である（二十錢東京本郷區湯島四日本佛教新聞社）

△文藝（創刊號）純粹の文藝雜誌として生れた本誌は新進女流作家等を網羅し大に將來を矚目するに足る（回元錢東京牛込區新小川町二文藝社）

△教材集錄（四月＝算術教授の實際的新主張號）五十錢東京神田區表猿樂町南光社△文學世界（四月）七十錢東京神田區同朋町共社△韻くほし（第一號）非賣品大田公立高等女學校校友會雜誌部△活人（三月）三十錢大阪市東區唐物町一共社△迷へる羊（第二號）二十錢東京麹町區富士見町二共社△中央法律新報（四月）十錢東京麹町區有樂町一共社△露西時報（三月）五十錢北滿洲哈爾賓商品陳列館△樂苑界（三月）十五錢愛知縣中島郡起町共社△園藝樹の友（四月）十錢門司國枠甕町永盛舍△朝鮮遞信協會雜誌（三月）五十錢京城光化門遞信局＝協會△朝鮮山林會（三月）十五錢京城黄金町二共會△朝鮮經濟雜誌（二月）京城商業會議所△東京商業會議所報（三月）東京麹町區有樂町東京商業會議所△朝鮮靑果會々報（三月）三十錢京城南米倉町共會△京城彙報（三月）十錢京城府廳△東拓月報（三月）東京麹町區東洋拓殖會社調査課

聯珠新戰局

鮮内通信聯の＝十二
先手 八谷 西海（京城）
後手 横井 誠一（平壤）



十九手 卑鐵 舟評
六は面白き後手策なるも八思しい又は「ろ」の邊に防ぐ可し此の後着の戰術次第と決勝點に入れり

凸凹ニキビ 嫁あざ雀斑

色黒赤顔は若い男女の敵です
其ニキビソバカス吹出物等は
如何なる方法手當法で治るか
何うしたら色白く美くなるか
五大博士大家の協力研究せる！
白色美身法書何人にも無代進呈

女は十三四歳から男は十五六歳頃からの生理的變化ツマリ男女共に成熟期に近づく頃の内臓的變化作用に依つて何人もニキビやソバカスが吹出して顔が黒くなつたり赤くなつたり人々の體質に依つて種々と相異はあるが顔に見惡く醜い顔になつて了ふものである。然るに從來は之等の皮膚障害を單に上皮だけの作用とのみ考へて居たため塗藥や化粧品を醜い所に上部から塗付けて居たのですが近頃醫學の進步が著しく發達した歐米の醫藥界では之等のニキビソバカス吹出物色黒等を特に研究した結果總て氣候風土や食物等の關係で體内に發生した惡血毒素が生理的變化作用に依つて外面殊に外氣刺戟の多い顔面其他へ吹き出すものであると云ふ事が判明し特殊の内服藥を以てドシ／＼治した爲め現今では殆ど醜い男女を解剖的に見掛けぬ迄になつてあります。

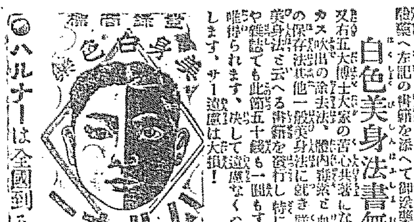
五大學者の研究

然し夫れ程效力的確な外國の内服藥でも氣候風土や食物の全然異つた我々東洋人種には少しも効目なく却つて變な毛を赤くしたり種々の危險があるので我國の醫藥界に於て有名なる醫學博士高田耕一先生越澤先生數非先生其他の五大博士家は共に協力研究したる結果遂に内服して體内の惡血を浄化し

毒素を排泄してニキビソバカスを治し且つ其原因を除きて色を白く美しくするハルナーと云ふ東洋人專門の藥劑を發見したのであります加ふるにハルナーの廣汎なる効能は毛髪に及ぼして之れなる夫に吹き肥胖症にも效きする血ぶとりを程よく治して身體を強壯にする等容姿容色共に好結果を得る服藥の文明的化粧藥で更に青年男女のみならず紳士淑女、貴婦人階級の可なりの年齡者が盛に愛用化粧さして服用し若やいで居られる位である尚又前記に極度の難症ニキビが全治したとか、ソバカスが段々薄くなつて治つたとか、色の黒いのが白くなつた赤顔が美しくなつたとか云ふ樣な御禮状が澤山來て居ります續々と試しい人なら一個分か二個分買い入ても三個分か五個分位で大低治つて了ひ御喜びの御禮を受けます此際金五十錢だけ切手で御送金あるか又は爲替か二錢切手を郵便で申込あれば特に無代贈呈へ左記の衛生新報を添へて御送致します

白色美身法書無代で進呈

又右五大博士大家の苦心共著になつた、ニキビの原因と治法、ソバカス吹出の除去法、體内藥劑と血液の作用、色を白くする法、毛髪の保存法其他一般美身法に就き詳しく書いてある非常に貴重な白色美身法と云へる書籍を發行し特にタダで差上げます、ツマラヌ繪や雜誌でも此節五十錢も一圓もするのに此有益な本がハガキ一枚で得られます、決して遠慮なくハガキで直にお申込あれ喜んで進呈します、サー遠慮は大損！



東京市京橋區築地一の四
製藥本舗 合資會社 濟生堂藥房
（電話京橋 一二七○番 振替東京 一二○九番）

ハルナーは全國到る處の藥店にて販賣す

高級防水コスモス靴クリーム
クリーム・ハコスモス底革は青象皮
販賣元 東京 新藤商店
朝鮮代理店 大田皮革株式會社（大田孝連里）
京城武橋町 同京城出張所

內科 眼科 小兒科
本田病院
京城黄金町三丁目永樂町通り
院長 本田建義

痔疾專門 入院隨意
京城久枝肛門病院
京城明治町二ノ三一 電話本局二二○一番呼出

（入院隨意）京城肛門病痔疾療院
電話二四四三番 振替京城三三八番

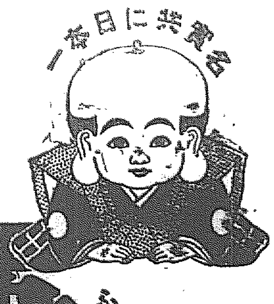
産科婦人科 外科花柳病
鶴田醫院
仁川濱町角（電話七三四番）

赤玉白葡萄酒
白葡萄酒として 世界の市場に最も其優良を賜せらるゝムスカトワイン！ 即ち赤玉白葡萄酒なり

醸造元仁川港 日本醤油株式會社

315

名實共に日本一



廉價宣傳

『德用！』福助に寄する人氣の聲

良い恰好で、丈夫で、穿心地のよい福助足袋は、他の足袋より三倍も四倍も保ちますから、非常な安値につきます。『福助は德用だ』といふ事を常にお含みを願ひます。

◆定價表◆
一木綿裏一

△福助白眞岡足袋	金六拾錢
△福助白キャラコ足袋	金六拾五錢
△福助紺メク足袋	金六拾八錢
△福助紺キャラコ足袋	金七拾貳錢
△福助白朱子足袋	金七拾八錢
△福助紺朱子足袋	金八拾五錢
△福助黒朱子足袋	金九拾錢

◆郡外定價拾錢上り◆

お氣に召す足袋を作る
福助足袋株式會社

流車 [illegible]

京城日報 刊
大正十二年四月一日（日曜日） THE KEIJO NIPPO （明治三十八年十月十日第三種郵便物認可） 第五千五百十二號

定價 一部金五錢▲一ヶ月郵稅共前金壹圓十五錢▲三ヶ月同三圓卅錢▲六ヶ月同六圓五十錢▲郵稅代用一割增
廣告料 五號十六字詰一行金壹圓三十錢 五號同特別二圓六十錢 二號八字詰同二圓六十錢
發行兼編輯人 泥谷良次郞 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長二番 一、長二番 二番 振替京城三〇〇番

（浦項）[illegible]迎日灣組合の鰊漁[illegible]は昨年十二月に始まり翌年三月の交を以て終了するを例とし其盛漁期に入れば數百隻の漁船輻輳し來り[illegible]ぎる漁期に於ては豫想外の不漁にて其影響を受け發動機船、漁船、傭船の水揚高は約七十萬圓に過ぎず例年に比して三分の一乃至の漁獲に比し十九作共損失七百三十圓、網の流失[illegible]も漁業者多きを以て鰊の水揚を日常の[illegible]銀行其他金融業者より資金の融通を受け居る[illegible]ありの鮮魚者を出すべしと觀測せられつ[illegible]

百武司令官一行

[illegible]に到着直に鐵道ホテルに入り少憩の後[illegible]府以外各官廳を訪問し午後四時過ぎ[illegible]日朝[illegible]島方面を巡視し二日[illegible]艦に向ひたるが三十一日には午[illegible]艦に歸還の筈である（釜山）

ギ博士の講演

[illegible]雨天なれば八日に延期すると（京城）の米國[illegible]ギユリツク博士は三十日大邱[illegible]たり（大邱）

皇民會計劃

[illegible]の巡回[illegible]日下部內務部長[illegible]る皇民會の理事[illegible]

石井ランシング條約廢棄說

明かに疑ひなき筋より出た報道に依れは石井ランシング條約は廢棄された

【華盛頓三十日發電】

謎の支那關稅會議
五ヶ國共同管理實現か
各國の意見一致＝多分鐵道より

【東京電報】曩に華盛頓會議で決定した支那關稅會議は七月北京に開催に決した支那は關稅會議であるが其實支那の共同管理を如何なる形式に依つて實現するやにあつて日英米佛伊の五ヶ國共同管理は之に依つて實現せらるべく目下の處各國共に異議なく意見一致して居る先日外交團が支那政府に裁兵の注告をなせるも此の點と共に畫策せられ多分鐵道の共同管理より始まるべく極めて注目に値するものである

海關制度改正計畫

【上海三十日發電】北京政府は海關制度を改正するの意志を有し各地海關監督に命じて其の意見を更に各國に委員の任命を求めて委員會を設け詳細に亘つて調査せしめんと計畫してゐると傳へらる

支那滿洲里方面に增兵

【長春三十日發電】最近齊々哈爾から支那在滿洲里方面の警備に派遣され近く又同方面に增派すると云ふが之は最近ダツリヤ、マチエフスカヤ等の滿洲里附近の露國兵營に赤軍の新部隊到着せると莫斯科方面より二十數名の支那人共產黨員同地方に入込み來り赤化運動に着手し馬賊と連絡せんとする形勢あるが爲め警戒を嚴重にしたものであると

首相樞府側に釋明
全然非公式の下に

【東京電報】卅一日の樞府本會議開會に先立ち加藤首相は樞府上奏問題に關する政府としての立場に所信を釋明する所があつたが右釋明は正式に之を爲すべき性質のものに非ず昨日樞府會議開會に先立ち淸浦、濱尾正副議長各顧問官全部の參列を求め全然非公式の下に釋明を爲したが一方攝政殿下より賜はれる優諚に對する加藤首相の立場は別個の問題として保留されあるものなれば首相は殿下の執行機關に伺候し仔細に伏奏する筈である

外相一人の責任に非ず
某閣僚談

【東京電報】樞府對政府問題につき內田外相一名を犧牲とする如き說あるも全く事實無根の宣傳で若し內田外相に外交上の失敗ありとせばそは外相一名のみの責めにあらず內閣全體が之を負ふべきは勿論で政黨內閣たると超然內閣たるとを問はず斯かる場合一蓮托生主義は當然採る可き途である

十三年度から地租移讓は到底實行困難
市來藏相談

【東京電報】我國の稅制整理改正の必要あり大藏省は之が調査を開始することとなつたが政友會の希望する如く十三年度より地租を地方に移讓し得るや否やは疑問で今回の稅制改正に伴ひ明年度より三千萬圓の

農商務省異動

【東京電報】四月一日より實施さるゝ農商務省官制改正に關連し農商務省局長級に左の異動を行ふに決定し發表さる

食糧局長 湯島千八
生絲檢査所次長（二等） 宮內國太郞
任食糧局長（二等） 特許局次長 松村眞一郞
任農商務局長（一等） 法制局參事官 三浦實生
任特許局次長（二等） 農商務書記官
大阪鑛務署長 淺野儉助

地方移讓問題及び選擧權に及ぼす影響關係で何れも重大問題のみなれば如何に調査を急ぐも十三年度より之を實施するは困難である調査方法は更に官民合同の調査機關を設置して調査することとなる可く金融機關の改善も考慮し目下之が準備中である

官報印刷所變更
朝鮮書籍印刷會社に引繼ぐ
發賣及廣告規程改正

三月三十一日附告示を以て朝鮮總督府官報の發賣並に廣告掲載に關する件左の通り改正し大正十二年四月一日より之を施行する旨公示さる

第一條 朝鮮總督府官報は朝鮮書籍印刷株式會社として印刷並發賣せしむ

第二條 官報の定價左の如し 一、一箇月分（月の初より末日迄發送費共）金五十五錢 二、一部（發送費共）金三錢

第三條 官報を購求せむとする者は官廳を除くの外其の定價を朝鮮書籍印刷株式會社に前納すべし

第四條 各官廳又は公衆の廣告は朝鮮總督府官報に掲載することを得

第五條 銀行會社等の報告類にして法令又は其の定款に依り廣告を要するものは朝鮮總督府官報に掲載することを請ふことを得學術技藝又は發明特許、實用新案若は商標意匠に關する事項にして支障なしと認めたるもの亦同じ

第六條 官報廣告料は左の如し

四號活字一行	一回	四十五錢	
五號活字一行	一回	四十錢	
六號活字一行	一回	三十錢	
登記に關する公告			
五號活字一行	一回	三十錢	
六號活字一行	一回	二十錢	

前項に據り難きものは掲載面に應じ六號活字の割合を以て行數に見積り計算す各官廳の廣告は登記に關する公告を除くの外廣告料を要せず

第七條 官報廣告の掲載は原稿を添へ朝鮮總督府官房庶務部文書課に請求すべし

廣告の體裁、活字の種類等は朝鮮總督府官房庶務部文書課に於て之を定む

第八條 官報廣告料は朝鮮書籍印刷株式會社之を徵收す

一般廣告を官報に登載
倉橋文書課長談

總督府印刷所は大正十一年度限り廢止せられた關係上官報の印刷發賣は今回新設の朝鮮書籍印刷株式會社に依託することゝなり之に伴ひ官報規定を改正されたのであるが此機會に於て認められた新規事項は官報に掲載する廣告の範圍を擴張して從來は官廳公署の廣告とか銀行會社の報告類等法令で規定せられたものに限つて掲載したに過ぎなかつたのを內地官報に於けると同樣に學術、技藝、發明特許、實用新案、商標意匠に關するものを掲載し得る途を開いたことであるさりながら右等事項であつても誇大な廣告とか風致上如何はしきもの又は射倖心を挑發する恐れあるものなどは官報の性質上から見て之が掲載を御斷りする考へである尙廣告原稿は總督府文書課に送付して戴くことになつて居る

新設する道慈惠醫院
完成期は來る十七年度
關水警務局衛生課長談

其後十三ヶ所增設のことになつた道慈惠醫院は當初は十四年度で全部竣成の豫定であつたが豫算の關係上三ヶ年の延長をして十七年度を以て完成を期することになつたのであるが

本年度は 昨年から工事に着手してゐる江界、惠山鎭等の外には新設醫院の起工を見合すること丶なつた十三ヶ所中豫定着手のが八ヶ所殘つてゐる譯である新營醫院の他に既設醫院の改築擴張等があるが新營工事をやるとすれば一時に多くの經費を要するから既設病院の改築擴張が出來ぬこと丶なるので非常に苦心を要する次第である衛生部の豫算は緊縮豫算の關係上約三十萬圓を本年度は削減するの止むを得ぬに至つたのであるが

繼續事業 たる新設道慈惠醫院の建築工事費に於て削減箇所はない

學歷手腕 に對比すると物價騰貴の影響を受けて如何にしても各醫院の經費を補充することが出來ぬ爲に醫院の不足を訴ふるに至る定となつてゐるので最善を盡して居る慈惠醫院に約二十名の醫師の缺員がある然し一部で傳へられた如く內地人の古手のみを採用することゝなつたのでは全然ないのである然し繼續の醫官は學歷手腕ある適任者があるに於ては採用する從つてどの方面からでも適任者があれば採用するので決して一部局に局限してゐる譯ではない

種痘令 公布

四月二日付制令第九號を以て種痘令第四十四年法律第卅號第一條及第二條に依り勅裁を得て公布さる

第一條 種痘は左の定期に於て之を行ふ但し痘瘡を經過したる者に付ては此の限りに在らず

一、第一期 出生より一年內
二、第二期 數へ歲六才
三、第三期 數へ歲十二才

前項の種痘は各定期に於て一回之を行ふ但し不善感なるときは其の種痘を行ひたる時より一年內に更に一回其の定期の種痘として之を行ふ

第二期又は第三期の定期前二年內に善感したる種痘は當該定期の種痘と看做す

第二條 定期の種痘を受けず又は種痘を受けたる證跡不明なる者に對しては其年齡に拘らず種痘を行ふ前項の規定に依り行ふ種痘は前條第三項の場合を除くの外其の年齡に從ひ之を其の經過したる定期の種痘と看做す

第三條 種痘に關しては本令に規定するものゝ外種痘法に依る但し同法第一條及第十條の規定は此の限に在らず

種痘法中醫師とは醫師及醫生とす

附則

本令施行の期日は朝鮮總督之を定む

種痘規則は之を廢止す

本令施行前種痘を受けたる者は本令に準じ之を定期の種痘を受けたる者と看做す

面制第四條ノ三の規定に依り朝鮮總督の指定したる面以外の面に在りては當分の內所轄警察署種痘に關する面長の職務は其の警察署長之を行ふ但し費用の負擔に關しては朝鮮總督之を定む

地方長官必要と認むる時は醫師及醫生の外當分の內朝鮮總督の定むる講習を受けたる者の中より種痘施術生を命じ種痘を施さしむることを得

從前の規定に依り種痘醫の認可を受けたる者は之を前項の種痘施術生と看做す

種痘令實施期

朝鮮種痘令は愈々公布されたるが同三日中に右種痘令施行規則發布さるべきも愈々施行するとすれば實施上準備を要するものがあるから多分本年秋季種痘から施行さるゝであらうとのことである

商議聯合會開期

第六回朝鮮商業會議所聯合會開催日取りは目下協議中であるが多分五月十五、十六の二日と決定する模樣であるが、商議議案は愈々提出せざる事に決定したと。

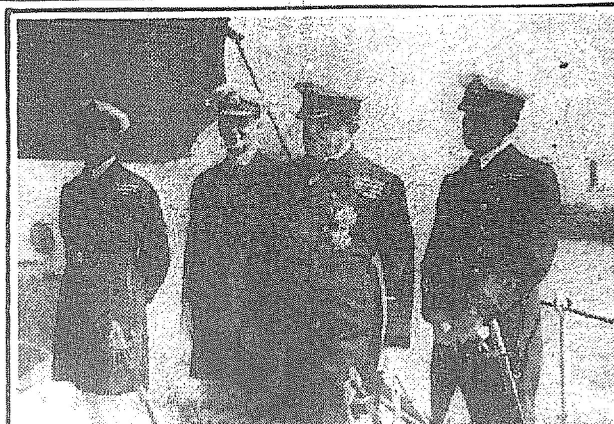
電話規則中改正

三十一日附告示を以て大正九年朝鮮總督府告示第九十五號中大正十二年四月一日より左の通り改正さる

「話規定第九條第二項の規定に依る電話架設料の部中『龍山』『〃州』『會寧』を削り『及羅南』を『羅南光州及會寧』に『及尙州』を『尙州洪城、江陵、井邑、金堤、順天、安東、江界、江陵、鐵原及雄基』に改む

大正八年朝鮮總督府告示第二百六十四號中大正十二年四月一日より左の通改正す

電話規則第一條の加入區域及第六十五條第一項第一號乃至第三號第五號の土地の區別の部中井邑、金堤、順天、安東、江陵、鐵原及雄基の項『指定地』を『丁地』に光州及會寧の項『丁地』を『內地』に改む電話規則第二條の指定地の部中『井邑、金堤、順天、安東江陵鐵原及雄基』を削る



英國東洋艦隊來る 昨春御來遊あつた英國皇太子ウエールス親王殿下が御滯在中に於ける我國民上下の歡待を感謝し爲め英國東洋艦隊司令長官アーサーレブソン大將引率の下に旗艦ホーキンス號以下ダーバン、デオメードの二艦は二十八日午前九時横濱に入港した寫眞は右よりホーキンス號艦長イリングイン大佐、司令長官レブソン大將、ダーバン號艦長ワシントン大佐、デオメード號艦長ホツプウード大佐（ホーキンス號艦上に於て）

海軍條約を搖がす
主力艦備砲の仰角問題
條文なしと日本は增加を明答

米國電報は華府海軍條約が主力艦備砲の仰角問題に關して動搖して居ることを報じて居る、事の茲に至つた經緯を聞くに、米國海軍當局は主力艦砲の經費を要求し內六百五十萬弗は主砲仰角の改裝費として計上された、米國議會に三千萬弗の改裝費を要求の理由として『英國は既に主砲の仰角を增大しつゝあり日本も恐らく同樣であらうから米國も此際之を增加せねば比率が低下する、實際今日では英米日の當初の比率五五三は

六五四と なつて居る』と說明して居る、此說明が新聞紙上に現れるや英國は直に之を否認した英國は華府會議に於て『レナウン』の如き早くも將來を見越して仰角の增大を計りつゝあつたけれども會議後は之を再びせず、『レナウン』さへも仰角增加に伴ふ威力の增加がないのであつて我海軍が之を取止むるは

米國の『陸奧』『長門』米の『メリーランド』のそれに較ぶれば問題にならぬ程小なるものであるから、英國の否認には充分の理由がある、併し米國の輿論は海軍當局の

國民欺瞞 を唱へて容易に承知せず、遂に華府會議の大立物であつた國務卿ヒューズ氏の意見を求むるに至つた、之に對しヒューズ氏は『主力艦備砲の仰角を增す如きは條約の精神に反するものと認む』と回答したので、同國海軍も此上は日英兩國に照會して改裝上の詳細の說明を求むることになつた、米國の此照會は未だ我海軍當局には到達しないが若し照會に接するとも日本は『條約上明文なし』との理由で

仰角增加 の意志あることを表明する筈である、既に『山城』以下の戰艦は此改裝を實施しつゝあるものと觀測して誤りなからう（東京特信）

困難であらう、元來此種の問題は華府會議當時既に專門家の間に兼知され、ヒューズ案が噸數丈けを制限の基礎とし其他の戰鬪力素を比較の考慮中に入れぬは不完全だと論ぜられた所であつた、若し噸數のみを比率決定の基準とすれば更に他の要素で戰鬪力を增さんとすること自然の勢ひであるに、今に至つて米國が斯る問題を起すのは

自家撞著 の甚だしきものと言はねばならぬ、此論法を以てすれば將來更に砲彈や魚雷の能力にまでも問題の續出する無きを保し難く到底協定を得られぬことになる、或は今後米國が英國と共に主力艦の仰角を增さぬことの提議を起しはせぬかとも思はれるが、日本としては既に主力艦の比率に於て讓歩して居るのだから其他の戰鬪力素に制限を受くるは益々不利を甚だしくするもので、當局は勿論斷乎として拒絕するであらうと思はれる何にせよ華府海軍條約は十年の後に至つて新主力艦の建造を見る事であるからそれ迄には尙未解決の問題が今後とも續出するものと觀測して誤りなからう（東京特信）

理事官郡守大異動
三十日附發令さる

咸鏡北道 總督府道理事官 多田純二
忠淸南道 同 黃德純
全羅北道 同 戶田正
京畿道 同 中村勘吉
平安北道 同 村澤保太郎
江原道 同 川崎勇
平安南道 同 大谷市太郎
鬱陵島 島司 眞野景象
全羅北道錦山郡 總督府郡守 金正基
京畿道開城郡 同 山內忠市
慶尙北道金泉郡 同 大山松造
慶尙南道晉州郡 同 山下正道
全羅北道益山郡 同 佐野照馬
京畿道始興郡 同 神尾修
慶尙南道統營郡 同 鑄前龍八
同 鶴崎拔行

京畿道水原郡 同 小川爲三郎
江原道春川郡 同 市野澤酉之助
忠淸南道燕岐郡 同 三上新
咸鏡北道鏡城郡 同 高田隆
忠淸南道公州郡 同 馬場是一郎
咸鏡南道咸興郡 同 李完鎬
全羅北道鎭安郡 同 朱英煥
京畿道抱川郡 同 金玉鉉
忠淸北道陰城郡 同 金在健
忠淸北道沃川郡 同 金振聲
忠淸南道唐津郡 同 李萬用
忠淸南道舒川郡 同 金宇鎭
忠淸南道靑陽郡 同 洪祐燮
忠淸南道牙山郡 同 金榮濟
全羅南道光陽郡 同 南廷興
全羅南道長城郡

全羅南道康津郡 同 金永近
全羅南道求禮郡 同 金東坤
平安北道慈城郡 同 崔鳳基
江原道平昌郡 同 蔡[illegible]
咸鏡南道利原郡 同 李璉鎬
咸鏡南道三水郡 同 朴永根
咸鏡北道鍾城郡 同 金萬契
慶尙北道靑松郡 同 宋文憲
京畿道坡州郡 同 洪淳垻
京畿道長湍郡 同 黃潤東
京畿道廣州郡 同 全興文
慶尙南道山淸郡 同 任洪淳
慶尙南道宜寧郡 總督府郡守 崔斗淵
江原道淮陽郡 同 鄭東一
江原道伊川郡 同 李炳千
江原道蔚珍郡 同 李大容
咸鏡南道豐山郡 同 兪[illegible]
京畿道楊州郡 同 朱榮煥
京畿道驪州郡 同 申鉉泰
京畿道龍仁郡 同 徐廷爲
京畿道振威郡 同 崔益夏
京畿道富川郡 同 康元達
忠淸北道鎭川郡 同 金鴻圭
忠淸北道永同郡 同 崔志煥
忠淸北道槐山郡 同 金鎔濟
忠淸北道忠州郡 同 李敬植
忠淸南道保寧郡 同 姜大喆
忠淸南道洪城郡 同 李敏寧
忠淸南道瑞山郡 同 元殷常
忠淸南道天安郡 同 尹寬求
全羅北道金堤郡 同 金基泓
全羅北道南原郡 同 李東瑛
全羅北道任實郡 同 李基枋
全羅南道麗水郡 同 張基昌
全羅南道海南郡 同 權賢燮
全羅南道羅州郡 同 安鍾哲
同 朴勝源

全羅南道長興郡 同 成讃洙
全羅南道珍島郡 同 曹正煥
慶尙北道慶山郡 同 金翰楨
慶尙南道東萊郡 同 元勳常
慶尙南道泗川郡 同 李鳳和
慶尙南道咸陽郡 同 閔丙鎬
慶尙南道密陽郡 同 李炳洌
平安北道鐵山郡 同 石明瑄
江原道橫城郡 同 李起瀗
江原道楊口郡 同 李敬鎔
咸鏡南道新興郡 同 河泰瑞
咸鏡南道端川郡 同 鄭燮
咸鏡南道洪原郡 總督府郡守 尹南喆
咸鏡南道定平郡 同 李興斌
咸鏡北道富寧郡 同 金正奎
咸鏡北道穩城郡 同 金振汝
咸鏡北道慶源郡
在勤ヲ命ズ（各通）
補鬱陵島警察署長 總督府道警視 眞野景象

經濟問題講演
三博士近く入城

朝鮮協會主催の經濟問題大學講座は豫定の通り愈々四月五日午後六時半から開講の筈であるが同講座各科講師の演題は左の如く決定した

一、金融界と金融機關 堀江歸一博士
一、今後の商業觀 河津暹博士
一、經濟危機と經濟恢復 福田德三博士

因に聽講希望者は市內大和町一の三九朝鮮協會事務所へ至急申込まれたしと（聽講料四日間三圓五十錢）

陸軍無電遞信局の所管に移る

龍山の陸軍無線電信所は今回遞信局の所管に移つたのでいよいよ四月一日から當分の內は郵便局分室として左の通り事務を取扱ふ事になつたが同分室長は遞信書記立石文伍氏が任命され分室の局員は九名である

一、船舶に發受する和文及歐文無線電報の受付、交付、中繼共交信區域は主に南鮮沿岸航路の船舶及關釜間連絡の船舶である
二、私設及官廳用無線電信裝置船舶發受和文歐文電報の無線電信に依り託送
三、京城金澤南無線通絡に依り京城大阪線有線電信の補助通信
四、京城角島南無線通絡に依り京城下關線有線電信の補助通信（四月十六日頃より）
五、大連無線電信局との交信

尙有線電信系統に關する一般和歐文の受付交付をも取扱ふが右第一項の船舶發受の無線電報料金は一般料金の外左の海岸局所料金及これと同額の船舶局所料金を要するのであるが海岸局料金は和文通常料金十五字以內二十五錢五字以內を增す每に五錢同文料金十五錢、歐文通常料金五語以內二十五錢一語を增す每に五錢同文料金十五錢

金忠南知事入城

忠淸南道知事金寬鉉氏は西澤道學務課長を帶同して三十一日朝入城直に總督府に大塚內務局長半井學務課長石黑地方課長を歷訪した

人事消息

▲渡邊豐日子氏（總督府農務課長）洋行の爲一日朝十時京城驛發
▲黑木吉郎氏（同鑛務課長）同上
▲尹甲丙氏（江原道知事）卅一日入城
▲就機識氏（開島私立東興中學校長）同上
▲松本誠氏（全北內務部長）三十一日夕入城不知火旅館へ
▲佐藤信氏（陸軍運輸本部附少將）卅日夜釜山通過內地へ
▲松田義雄氏（鮮銀神戸支店長）二日朝出發赴任
▲山田幸七氏（朝鮮天然氷取締役）福岡全天堂病院に入院中の處去二十四日逝去葬儀は三十一日午後四時旭町護國寺にて執行

茶話

東拓はこんど米國で四千萬圓の外債を起したのだが▲この中一千萬圓位はどうしても朝鮮に廻して貰ひたいものだ▲尤も東拓は以前とは違つて東京に本店を移して朝鮮には支店しか無いんだが然し夫れにしても七萬町歩の大地主であり朝鮮は目下水利事業資金の如き資金難に困つてゐるのだから▲是非とも一つこんどこそは補にせぬやうお願ひする▲だが越中褌と何とかは外方から外れると云ふから餘りあてにせぬがよいとは某實業家の語▲明治四十四年から朝鮮では神武天皇祭日を記念植樹日と定めて本年で第十一回になる▲總督府の記念植樹は通算して三萬六千五百本と云ふ數に達し八間の活需歩合を示してゐると▲また全道での記念植樹總數は二千八百五十五町歩で一億八千八百萬本を植栽してるとのことだ

株式名義書換停止
本月一日ヨリ第二十二回定時株主總會終了迄株主名義書換停止致候
大正十二年四月一日
京城府南大門通二丁目一番地
朝鮮煙草興業株式會社

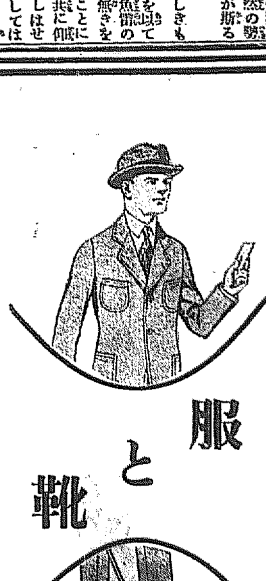
家庭副業
事業加工特許 男女近郊自由 製品出來買入 宅配永久受付 無代進呈
說明書 三圓送 時約取次 本店大募集
大阪九條中通四
振替大阪西二一七七
友榮商會

電話四〇九番
佐藤病院
院長 ドクトル メヂチネ 佐藤小五郎
入院應需

最新刊
井上貫道 禪 一、三〇
田中香涯 醫學と人生 一、八〇（?）
木原鼎 魂い花 一、九〇
栗山民法總則 三、〇〇
松波日本商法總則 六、〇〇
河瀨蘇北 財界秘話 二、二〇
國木田虎雄 鐘 （詩集）一、四〇
成城小學校 學藝會のために 三、三〇
前田三男 西洋音樂十二講 二、七〇
兒玉達童 カントの生涯性格 二、四〇
河津暹 經濟學 一、八〇
香原一勢 近代思想家の宗教觀 一、一〇
足立源一郎 大和 三、〇〇
振替京城二五七三
大阪屋號書店
電話本局 六八四、二六八〇

四月一日 二日 三日 於新龍山電車終點
春季競馬大會
主催 朝鮮競馬俱樂部
後援 朝鮮新聞社 京城日日新聞社 京城日報社

定評ある丁子屋の服と靴



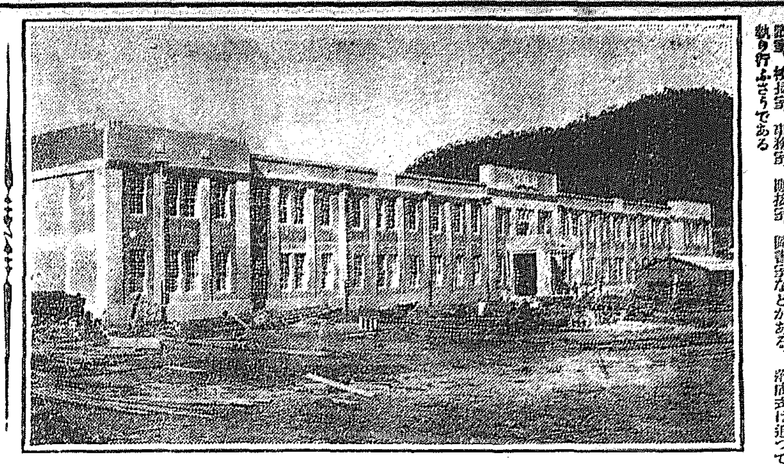
京城南大門通 丁子屋高級既成品部 電話本局 二二三三 六九〇 番

一日ヨリ五日マデ ▲草花と染帶 草花と御召 陳列
一日ヨリ ▲格安反物賣出し
第六回 成田大古謡伯 自作展觀 一日ヨリ八日マデ
一日ヨリ八日マデ ▲乾物市場
五日ヨリ ▲新製洋傘陳列
三越吳服店

行政講習所講習生募集
本年度入所セシムヘキ內地人講習生補充トシテ約十名ヲ募集ス志願者ハ四月三日迄ニ履歷書及醫師ノ身體檢查書添付同所ニ願出ヘシ試驗ハ四月四日及五日京城大和町行政講習所ニ於テ施行ス
大正十二年三月
朝鮮總督府

新裝の第二高女校舍

從て新築中であつた三坂通りの公立第二高等女學校は此の程全部の工事が竣工したので南山町の假校舍から全部移轉し四月二日から開校するが敷地は三千七百五十六坪で建物坪數は七百十六坪總工費十九萬三千六百圓で建築様式は鐵筋コンクリート二階建で内部は普通教室十數室の外に博物、理科、家事、圖畫、裁縫の特殊教室があり外に標本室、會議室、校長室、事務室、應接室、圖書室などがある。落成式は追つて執り行ふさうである



元山松田灣の避難民病院全燒

原因不明…死傷者なし

三十日夜半松田灣避難民收容所附屬病院（避難民代の下士教室）より發火同病院を全燒して鎭火したが幸ひにして死傷者は一人もなかつた原因は目下取調中なるも之が調査の爲め救護事務所[illegible]は三十一日朝現場に急行した（元山特電）

馬鹿にならぬ護謨靴

京城の年產額三十餘萬圓 近く組合を作つて移入品に對抗

京城府内にはゴム靴の製造所が十一ヶ所あつて大正十一年中の製造額は三十一萬五千圓に達し正に京城重要物產の中に數へるべきであるゴム靴は耐水耐久力に富み比較的價格が低廉で朝鮮在來の靴に比し需要も多いので益々需要は增加して行く傾向であつた然るに神戸、大阪地方の同業者の[illegible]過多を生じ其爲め移入品がドシ／＼移入され價格の[illegible]に伴ひ今後一層移入增加の見込みで之れでは京城のゴム靴業者に及ぼす[illegible]は[illegible]に莫大なものである、何とかして之れが對策を講ぜねばならぬ、それには同業組合を組織して製品の向上を圖り移入防遏の方法を講ずるより他に途はないのであるが組合を組織するには總督府から重要物產の認定を受けねばならぬので府内同業者は此の際是非認定を受けたいと云ふ意嚮なので府に於ても之れに贊同し近く總督府に認定の申請をなす筈である、

町洞總代に五圓の報酬金

いくら名譽職でもロハでは働けぬと 府議懇談會で決定

府協議會の五日目に都市計畫の說明後懇談會を開き[illegible]十四番から『當局は一體町洞總代を何と思つてゐる、何かと言へば直ぐ命令だの、通達だのと頼みながら何等町洞總代に酬ゆることをしてゐない』と叱られ安藤七番から『府則何條に町洞總代制度を規定して置きながら豫算の何處にも金額の計上がないのであつてなきに等しく町洞總代は[illegible]府の用務支辨のため[illegible]一錢だつて請求した事はない』と一本參られ、府協議員の中には町總代が多く殊に鮮人側では從來此府の布令や示達などをするのは町内の極く身分の賤しいものが町内からの醵金で生活してゐるものがやつてゐたので府政が敷れてから町内の名望家[illegible]から賤しい仕事と云ふ先入觀念を懷いて指名したので永い間の習慣があり多くの町洞總代は布令も示達類も府から受取つたまゝ溜めて置いてゐる實況であるが斯くては折角利用如何で隨分府政の施行の手足となる町洞總代も何の役にも立たぬことになる、何かこれに權限を與へるとか何か公共的催しなどの時には招待するとかして少しく顏を立てゝ頂き度いと云ふ要望が出て大和二番などは『町洞總代は何處までも名譽職にして置きたい、之に報酬など物質で酬ゆるとは面白くない』と云ふ說もあつて非常に議論の花が咲いたが結局其の翌晚の府協議員の懇談會で[illegible]事項として府協議後の日の[illegible]に全十四議員から月額五圓年額六十圓を町洞總代に支給する樣にとの希望が出され此十三議員が賛成で[illegible]、府當局でも既に此の事は[illegible]豫算の都合ではあり困つたらしいが結局三十分間の休憩となり政府委員は別室に退き協議の結果、再開後[illegible]府尹から『町洞總代に報酬額を支給することは皆さんの要望の樣に[illegible]支給することに致し度いと思ひます』で[illegible]の五千圓と……とを總代へて支給することになつた、之が財源は[illegible]市場移轉費[illegible]と云ふ[illegible]な[illegible]で月額五圓づゝのお手當が出ることになつた

借金の手段に僞强盜

仁川署一杯喰さる

[illegible]の手配りをなしたが一方申告した被害者に就て取調を嚴査すると[illegible]は[illegible]の男は口實を設けた[illegible]本人は[illegible]の二名の鮮人が飛出し矢庭に短刀を突付け[illegible]取つて五圓餘を强奪されたと云ふの[illegible]

日本は仇敵

[illegible]へに通る手段として[illegible]くの通り現れ突然演說をやり出し最後に日本は我等の仇敵であると大言壯語したので群衆は承知せず毆り殺せと許り[illegible]（仁川）

大進丸坐礁

旅順双島灣に

[illegible]へ向け航行中二十六日午後十一時[illegible]二名に加[illegible]中なるが目下犯人[illegible]搜索中[illegible]である（東京電報）

旅順双島灣[illegible]八町の海上に於て坐礁し機關部に浸水し[illegible]は五度の傾斜を呈し若し風[illegible]

大田の庭球戰

各學校の休暇期とし四月八日第二日曜日に大田鐵道[illegible]四百圓位を出して[illegible]庭球試合を大田[illegible]にて行ふ筈（大田）

北尾奉り余[illegible]

[illegible]二番地林相調方に[illegible]し實或は[illegible]酒食に[illegible]つて居たこと[illegible]四百圓位を[illegible]し鐵路を目白に及び今日迄[illegible]した被害額は三千圓に達して居ると[illegible]

天氣豫報（卅一日）

床下に隱してゐた綿火藥が爆發して九戸を燒く

妻と隣家の幼女は絶命し數名重傷を負ふ 門司常盤町の椿事

門司常盤町一丁目人夫[illegible]方から卅日午後四時卅分頃出火[illegible]爆發と共に[illegible]に燃え[illegible]全燒五戸半燒四戸を出し同五時鎭火したが[illegible]は[illegible]床下に隱して置いた綿火藥[illegible]が爆發したもので[illegible]は[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]し[illegible]した[illegible]は[illegible]重傷を負ひ[illegible]の[illegible]は[illegible]したものであると[illegible]

滿鐵紀念日

祝賀會

四月一日は滿鐵紀念日に相當するので大連本社を始め[illegible]十六ケ年の紀念日に相當するので大連本社を始め[illegible]ふ由で同局では[illegible]前九時より盛大な式を擧行すると

大好評の『朝鮮の夕』

本社東京支局が朝野の名士及び家族を招待して開催

朝鮮事情宣傳の爲め京城日報及每日申報東京支局主催にて三十日午後六時より九段の内鮮融和協會樓上にて『朝鮮の夕』を催した朝鮮關係の[illegible]、朝野名士、實業家、新聞記者等に案内を出したので定刻より家族[illegible]連にて參會者多く一同は[illegible]撮影の朝鮮活動寫眞七卷にさながら朝鮮を旅行せるかの氣分を味ひ[illegible]湯を喫して午後九時散會した[illegible]午後六時より同所にて『朝鮮の夕』第二夜を催す筈（東京支局特電）

女優の葬儀

行列五哩 見物人七十萬

【巴里三十日發電】世界的名女優サラ、ベルナールの葬儀は行列約五哩に渡り之れを觀送るもの七十五萬人に達した

夫への面當に

若妻自殺を圖る

京城府[illegible]洞二〇[illegible]番地方家の[illegible]妻（二〇）は去る二十九日午後九時頃夫婦喧嘩の揚句夫へ面當てに苛性曹達を多量に嚥下し自殺を圖つたが死に切れず苦悶する所を家人に發見醫手當の結果生命には別條なかつた

六頭で千圓

お拂箱の軍馬

朝鮮憲兵隊司令部では三十一日軍馬六頭を構内の馬場にて競賣に附した[illegible]の結果最高價が二百四十五圓最低百五圓總額一千百八十圓の賣れ行きであつた

虫のいゝ陳情書

[illegible]から政務總監へ容易[illegible]になつた今日此頃府内にも大分[illegible]が現れて來たが[illegible]府[illegible]二〇[illegible]番地[illegible]は[illegible]が困難であるからどうか救濟して貰ひたいと云ふ虫のいゝ陳情書を政務總監に[illegible]したが[illegible]大門署で取調[illegible]

宿屋荒しの賊

泊つては盜む

[illegible]の一警察[illegible]の手に收められ[illegible]は此の[illegible]しく[illegible]へた[illegible]は[illegible]當分に[illegible]し[illegible]犯罪[illegible]を[illegible]してゐた[illegible]

慶北[illegible]物品[illegible]に[illegible]名目の[illegible]を[illegible]した[illegible]府[illegible]に[illegible]

根こぎの木を買ふな

警察へ召喚される

此[illegible]府内には何處よりかヤットコ[illegible]した許りの樹木を根こぎにした[illegible]り歩く鮮人が夥しいので本町署で[illegible]した（大田）

悲慘の一家へ

醫療費を贈る

本紙廿九日夕刊掲載の『五人の娘を抱へて糊口に窮する悲慘の一家』と題する記事は非常なる讀者の同情を惹いたが大和本町二丁目出島政治氏は三十日醫療費として金五圓を寄贈し[illegible]

來れ聯珠大會へ

いよく明一日開催

我社が四月一日市内明治町一丁目明治俱樂部で第三回全鮮聯珠大會を[illegible]した時、聯珠（五目ならべ）に趣味をもつ人々の胸をどんなに躍らせたことであらう？

千[illegible]萬馬來往して[illegible]職ふそれにも[illegible]すべく興趣を感じ[illegible]は[illegible]に近つた[illegible]一[illegible]の[illegible]に[illegible]た[illegible]全鮮の聯士が一堂に集まつて技を競ふ[illegible]は[illegible]よく[illegible]

府内各署長の異動

總督府[illegible]の異動が發表された

補京城龍山警察署長 森六治

同 京城鍾路警察署長 今野專吉

京城道在勤を命す 信田芳

補京城西大門警察署長 鈴木兵作

[illegible]京城本町警察署長[illegible]

九百圓詐取

二人で内地人を欺き

當時住所不定無職[illegible]（二四）は去る三十日午後六時頃[illegible]門通り三の五一番地[illegible]が本町署に逮捕取調べた結果[illegible]れ[illegible]の上昨年九月[illegible]府[illegible]方より現金九百圓を詐取したことを自白したが目下[illegible]

鬚知事

も苗木を植える 記念植樹

京畿道では[illegible]の[illegible]午前十一時から[illegible]外[illegible]植林[illegible]

卷煙草で情死

念入りに剃刀で頭部を斬つたが 死切れず苦悶中を發見さる

三十一日午後九時頃龍山[illegible]鮮人男女の[illegible]が[illegible]娼妓と[illegible]客との情死未遂があつた

男 原籍 新潟縣[illegible]郡[illegible] 現住 京城山口銀行[illegible] 石川[illegible]（二九）

女 原籍 福岡縣[illegible]郡[illegible] 現住 彌生町菊水樓抱娼妓 命時事 福田[illegible]（二四）

二人の仲は久しい以前から[illegible]く馴染んでゐた女は[illegible]の爲め[illegible]入院中で男は女の病毒に感染してゐたので男は三月二十四日から毎夜の樣に[illegible]してゐた爲め[illegible]に[illegible]しまれる樣になつた三十日午後九時頃[illegible]に[illegible]して男は三四合女は二合を飮み[illegible]女は男の頸動脈を[illegible]めに剃刀で頭部の[illegible]右を[illegible]り頭部に長さ一寸の皮下に達する傷を負はし二人は苦悶してゐたが[illegible]い[illegible]に[illegible]の[illegible]てゐるのに[illegible]の[illegible]に[illegible]を[illegible]し[illegible]女は[illegible]なく女は彌生病院に收容し男は生命には[illegible]ない模樣[illegible]まず手當を受けた後悄然として歩いて歸つた

鐵道學校修業式

朝鮮鐵道學校の修業式は三十一日午前十時から同校講堂で擧行せられた來賓としては總督代理[illegible]

諸威代理領事

女教師を凌辱した フユーズは一時の間に合せもの ミチエール公使の話

[illegible]二に於て女教師[illegible]に公使館[illegible]事件に關し[illegible]に去る二十一日[illegible]したミチエール氏は三十一日朝當地に着[illegible]記者に對し左の如く語る

自分は元來北京と東京の公使を兼務してゐるので毎年一回は必ず東京に行くことになつてゐる、今度も約三ケ月あまり日本に居つた間に何等の[illegible]を踏んだまで、凌辱事件には何等の關係を持つてゐないが自分は名譽領事に過ぎないので公人として彼の行爲を[illegible]に[illegible]むる[illegible]に行かない然し若くも[illegible]の一人として斯る行爲を犯したと云ふことは[illegible]國威の上から見ても殘念に堪へないことであるが公人たる自分として[illegible]に[illegible]して[illegible]に[illegible]は此の上この事件に觸れることを[illegible]けて[illegible]語らなかった（奉天特電）

水に流した七十萬圓

鴨綠江の解氷で流失した船舶を 泣顏で搜す支那細民

今年の鴨綠江解氷が餘りに急激であつた爲め[illegible]く木材の流失は頗る多數であつた事は既記の如くであるが[illegible]は九聯城對岸支那側に多く其內手の[illegible]な安東縣方面の船舶流失は八十餘が持船を探し廻つてゐると（新義州）

其損害は七十萬圓[illegible]に達し被害者の大部分は細民であるから彼等は[illegible]い思ひ切れず此の[illegible]下流の大東溝新島から持船を[illegible]

春季競馬會

團見や總見の申込殺到

朝鮮競馬俱樂部主催[illegible]第三回春季競馬大會は愈々二日から三日間開催する[illegible]方面の[illegible]は[illegible]しいもので白熱化してゐるが[illegible]當日は午前八時から九時までの間にトラックで三囘を[illegible]打ち揚げ競馬開始になつてゐる、競馬場の位置に就いて[illegible]つてゐる人があるらしいが競馬場は[illegible]道路を渡り終ると直ぐ右側のトラックがそれである、第一日は午前十一時に開會第七競馬迄行ひ第二日、第三日は第十競馬迄[illegible]各國籍馬競走をやり[illegible]總競賣に[illegible]第三日目の[illegible]に[illegible]の[illegible]競爭を行ひ[illegible]に於ける[illegible]

洋畫展覽會

ソウル洋畫會[illegible]では來る二日[illegible]二丁目[illegible]で洋畫展覽會を開[illegible]ゐるが出品總數約四十點にて日本洋畫壇の[illegible]氏の『ガード[illegible]』『[illegible]』、[illegible]氏の『[illegible]』[illegible]服部[illegible]氏の『[illegible]』高木[illegible]氏の[illegible]他同人十三名の作品を陳列一般同好者の來觀を歡迎すると

女子軍と警官

二時間の戰鬪

【ブレスロウ卅日發電】[illegible]將校若干ウ[illegible]

木の芽のさつけ物

春！と云ふ言葉を聞いてさへ心が何となく浮き／＼させられる木の芽の[illegible]と成りましたが、神經[illegible]科學の[illegible]に依れば今が一番神經[illegible]の[illegible]を[illegible]に[illegible]して[illegible]を[illegible]と[illegible]する[illegible]

人參湯

[illegible]京城府[illegible]の神職[illegible]内には[illegible]だ何だか[illegible]がある[illegible]だが、この[illegible]りある[illegible]で神に[illegible]はることは許[illegible]太久の[illegible]を犯すやうな[illegible]だ▲稚戸の[illegible]の天の[illegible]を吹き[illegible]つことの如く[illegible]風[illegible]溶けあつて[illegible]ふことは[illegible]來ぬ物か知らぬ▲[illegible]も我を通さず[illegible]の人も[illegible]を忘れて[illegible]つて[illegible]の[illegible]で[illegible]かに[illegible]したら[illegible]うか[illegible]する時に使ふと何だか不調和な感がする、[illegible]た『アイゴー』なんて云へば何だか間のぬけた[illegible]である『參つた[illegible]』と云へば[illegible]がよい、[illegible]のたはあるが一切[illegible]されがよいやうだ、と▲[illegible]は『私には秘密など云ふ者は持合せて居りません何でも[illegible]ですよ』と[illegible]よく突つてゐるが『[illegible]は[illegible]で[illegible]別ですからなあ』は逃げ方が巧妙だ

全鮮聯珠大會

定規

場所 市内明治町一丁目明治俱樂部

會費 金二圓也（但し晝餐を呈す）

賞品 ▲一等 美術置時計一個聯珠新報社金メダル一個▲二等 丸形眼鏡時計一個及び京日金メダル一個▲三等 赤銅置時計一個及京城聯珠同好會金メダル一個▲四等 反物一反▲五等 茶器一組▲六等 卷煙草入一個▲七等 朱塗菓子器一組▲八等 茶盆一個▲九等 メリヤスシヤツ一枚▲十等 九谷燒湯呑一個▲以下十五等まで景品

愈本日午前十時開始

副賞 各有志家よりの寄贈品多數

注意 本社又は市内明治町一丁目聯珠同好會に宛て成べく來卅日迄に申込まるゝ事

主催 京城日報社

花見衣裳大賣出し

眼も綾な華やかなる花見衣裳が色とり／＼に美しさを競つて居ります何卒此催しに是非御光來の程を

京染友仙モスも大特價で願ます

四月一日より三日まで

京城 丸一吳服店

春衣大賣出し

四月一日より五日まで

袷地見切賣出し

友仙モス 帶地 ―― 新柄特價

セール 綿セル 英ネル 紺絣

自信ある新値に付兎も角御一覽を願ひますれば必ず御滿足の上御用命賜はる事と確信致します

本町三丁目

橋詰吳服店

電話本一八一〇

特價大賣出し

四月一日ヨリ三日迄

見切品 澤山

京城本町二丁目

丸紅吳服店

電話本局二五四七番

春の大賣出し

四月一日より三日迄

半ゑり 小間物

二割引 賣出中は全部定價より一割引

半額 半ゑり。てがら。其他見切品は時價の半額以下。お早いがち。

京城本町二丁目

松菊屋小間物店

電話本局二四六三番

上城酒造場

仁川

育ち盛りの子供

[illegible]

各道評議員會 ―最終日―

全北道

【全州】全北道評議會は廿日議案を議了せ廿七日を以て全部原案通り可決を告げたが當日約二時間に亘つて懇談會を開いた問題は十二年度から施政官吏優待者を内鮮人二名とし内地人を月額二百三十圓鮮人に百二十圓を支給すると云ふことに就て（寄附金）茂武（金堤）李東翰の兩議員は交々立て内鮮手當を内鮮に區別をつけず同額にしたいと力說し井邑宋議員の同意を求めて修正を迫つたが當局の贊成も交々理由を述べたが議長は三名の同意者あるを以て其儘にも出來ず然らば其の殘額金を如何にすべきやといふに答へて道當局では古群山に收容の救濟會へ補助したしといふ、又郡外諸團は救濟會は社會事業であつて一般篤志家の義心に訴へ寄附等に俟つべきもので未だ補助する丈けの何等の價値を認められて居らんので多額の補助を許さずと論じ二百圓の補助は計上しあるので之以上の必要を認めず其本事項は地方有志者の同情に俟つて當局も相當力を盡すべてある」云々といふ（井邑宋議員）も當局の說明に贊成して罰を取消したので遂に無効となつて原案通り可決し午後七時第三讀會も全部可決終結を告げ茲に第三回の評議會も無事閉會した因に當日左記事項の建議案が提出された

建議案

南朝鮮鐵道株式會社に對し全北線連成せられんことの努力を望む

理由

全州南原間鐵道の連成を計ることは全南線の連成と共に本道の運輸交通並に產業開發上最も重要なる事項なりとす然るに南朝鮮鐵道株式會社は過きに之が敷設權を得たるも之れが建設實現に徴するに其の全力全羅南道麗水間の地内の敷設に注がれ本線の計畫は單に大正十七年と言ふのみにして何時起工せらるゝや疑はるゝ次第にして此儘荏苒經過する時は本道南原地方の物資は近距離なる全州裡里に出ることを得ずして光州を迂回し湖南線松汀里驛を經由し搬出せらるゝこととなるべく果して然らば南道の約三分の一は全く光州の勢力範圍と化し他日之を挽回せんとするも不可能の狀態となり其の不幸甚大なるものあるべし而して尚全郎線の速成問題も大に進捗しつゝある今日南原地方の物資の集散を全州方面に依らしむることは獨り道政策上よりも亦當然にして之が經營も決して困難なるものに非ざるべくと信ぜらる然るに帝國議會に提出されたる第一期豫定線に洩れたるは遺憾とするに付此の際是非白後の第一期計畫に追加し之れが速成を計られんことの督勵を切望す

右建議す

大正十二年三月二十七日 提出者 志賀 日俊 贊成者 一同（姓名略）

舌風一過の跡

石本地方課長談

【晉州】本年始めて石本課長が道評議員會に部外として參與した感想を語る

無暗に所感を述べて叱れると困るが各評議員一致して市場稅は營業稅である故削除すべしと納得せるは稅を現在の徴收方法より見るも當然であるが永續的に計上された歲入なる故照稅である事は承知で計上せるが之れに變る財源に新稅を賦課するとしても如何に善良なる新稅でも種々と議論を惹起するので余程考慮を要する問題である過般の市日に知事と同道で親しく市場を視察して弊害のある事を徹底せる故明年は適當なる財源の方法を講じ市場稅を撤廢の外あるまい

評議員諸君の議論は實に利論に傾き「化より離千」主義が多い樣である直接產業の獎勵を要求する樣であるが施設の効果は一般の精神的の自覺を促し自覺ある產業に從事せしむるが急務である故農民にても現在は既に化學肥料使用時代にて從來の耕作方法の狹き境界より脱せねば駄目である諸般の施設は內地よりも極めて懇切に指導され產業に關する補助費の如きも多額に下附し斯道の獎勵を計り自覺を促すと共に社會改良を計り善良なる思想の向上と相俟ちつゝあるのであるが追々現在の施設を輕視し業者、速成的に走り過ぎた感が多いに感じた

悲慘なる九龍浦の築港 【下】

自然の破壞力克つか 人爲の創造力捷つか

【九龍浦】九龍浦は日本海に面して立つ一小漁村である、後は丘陵たる職地、其下に僅に間數を並ぶるは左る所路を挾みて人家が一列に臨ぎて居り、總て人口約四千を收容してあるに過ぎぬのであるから町としての設備は未だ不完全であるが一度鯖漁期の盛漁期になると內地各縣の鯖漁船を通じて千數百の發動機船や、帆船、漁船が、漁船等は茲を根據地として出入し漁獲するのであるから隣接地の數は十三戶を算し職業婦の數が四百十名に至算する事がある

此の盛漁期

は九龍浦の黄金時代であつて到る處に繁昌の聲、大漁の聲と相和して晝夜を分たぬ繁榮境と化するのであるが、一度大陸の颶風に遭ひ風浪の見舞ふ處となれば數千百の各漁船は恰も太洋の中に木の葉のもまるが如く碎けて突し帆檣手を摺ち忽ちにして木っ葉微塵と粉碎し去られるのを例とする斯くの如き不時の災害は一ヶ年を通じて一度乃至二回に過ぎず甚だしきに至る損害の程度は或は五萬十萬圓に達するが、是は如何とも不可抗力として忍ぶべしとするけれども、斯くの如き漁船が避難を許すならば再び內地の漁業者は

其の根據地

を他に變更する惧がある、九龍浦の死活問題は一に此の一點に懸る漁港の築港なる事を思ふ者は誰しも感ずるのであるが、夫れを見る者はまだ少ないものであるが此の設置に九龍浦又は浦項活問題である、此に九龍浦に於ては漁港期成同盟會を組織し去る大正八年中工費約五千圓を投じて一の防波堤を築造したけれども同年七月防波堤の竣工すると間もなく數回の大風雨の襲來する處となつて防波堤は一夜にして之を洗ひ去られたと云ふ慘い經驗を嘗めて來て居る、其後漁港期成同盟會は夙夜東西奔走して工費三十五萬圓を投じ昨大正十一年度より

三ケ年計畫

を以て完成を期する事となり國庫の補助と地方費の補助の外に莫大なる地元民の負擔によつて三十五萬圓の巨費を投じて安全なる避難港を造らんとしつゝあり、幾多の困難を排して工事は順調の如くである、而も何等の

住民の苦境

ら、九龍浦住民は今や漁業の前途に達して居る而も經營難に陷る其上に三年來不漁續きである爲に經濟的に逼迫して居る際に在るも何百何十戶の窮乏は今や到底負擔出來ぬ狀態である然しながら九龍浦の外にある、然しながら九龍浦に將來をして榮えあらしめんと欲せば今日多大の犧牲を拂つても漁港に依つて居るのであるねばならぬ或る人の理想であると云ふを聞くに救濟資金を支拂ふ際に全てを遣つたものが何人もあるといふ、所謂九龍浦の現況は人間の力が自然の力を抑さへて居ると云ふものの如く、九龍浦の築港は人間と人爲の努力で自然の暴威を征服せんと試みつゝあるものであるとも言へるのである九龍浦住民の競爭力と人力が克つか

悲慘の立場

にあるのは九龍浦住民の救金石である而しながら我が不撓不屈なる九龍浦住民は勇敢なる在鮮人の漁業者等は自然を征服して人間の威力の絕大なる事を誇らんとしつゝあるかの氣概が見える

仁川府歲計豫算

二十三萬五千圓で 七千餘圓の減

【仁川】仁川府大正十二年度歲入出豫算は漸く三十日臨時府協議會を開いて議了した計二十三萬五千九百四十五圓で前年度に比し七千八百四圓を減少先づ如何なる事項が省はるゝかを見るべく議出に就いて之れを見れば經常部事務費三萬八千餘圓で前年に比し四千九百餘圓の減增を來たせる數字に著しく注目を惹く而して其の主なる原因は府吏員給に於いて四千二百餘圓を增加せると吏員給一千九百の增加を去とし需用費の如きは却て五百九十四圓を減じ二千八百餘圓を計上せし土木費一萬三千餘圓で四千三百餘圓を增加せるは道路の改修とし工事に然るべきを期する傳染病豫防費二千二百餘圓で九百餘圓を增加せる諸費三千九百餘圓で百圓を減じ公園費二千五百圓で九百餘圓の新設勸業費一千五百圓の增加公會堂費一千四百餘圓で六百餘圓を增し經常部費二萬四千三百餘圓で

府豫算委員會

【釜山】大正十二年度釜山府の豫算は委員會にて議事中の處二十八日を以て議了した意見の相違なく委員會は最も慎重なる態度を持して鎭南浦府議會の議員と伊丹議員の懇篤なる努力が要せられ今後とも更に益々公共の爲に盡瘁すべしと述べ伊丹議員の謝辭ありて閉會した

鎭南浦評議員會

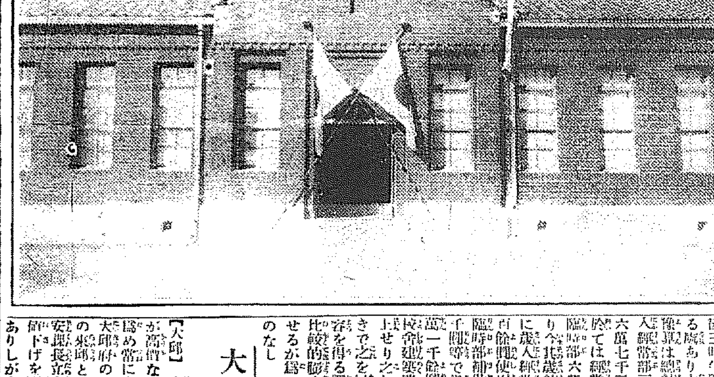
【鎭南浦】常設鎭南浦評議員會臨時評議員會は去る二十九日午後四時より同府會議室に於て開會された、當選期を前にして本議會を開くや川添府尹に於ても一同挨拶の後に議案の說明を爲さしむ第二號議案一號試案を於て議事規程の順序により議事を進め次いで水野府尹外に議諮問を告げた第一號第二號總ての歲出議案處分等を爲すより外なかる可く後の總理方法として民法の條項に基き執行處分を以て之を第一號議案を第一號議員に對する議員の決議あり議員會の決議ありて旨議成立す、第十三號の議事を附議す而して十三號並第三號の歲出議案に付て第十三號議案を議了議員諸處分を附議したり第五號議事を以て第四號議案の第三讀會を以て府協議會に付議規定の役に移りたるに第一號第五號議案は全部議了されたので議會も最も慎重なる態度を以て續々と進行し

歲入經常部　本年度　前年度
同臨時部
合計
歲出經常部
同臨時部
合計
を見るに至つた

鎭南浦議會の承議を終了直ちに本會議を開き左の通り可決確定したが委員會の修正は原案に對し一萬五千三百十圓を增額となりたるが前年度豫算に對しては二十萬四千九百五十六圓の減少を見るに至つた

八百九十餘圓の增加を來せるが臨時部に於ては土木費に山根町から松枝町への新道を外道路新設として六千圓を要し歲々二萬餘圓を計上し消防組へ附屬の消防建築費に三千餘圓を要し公會堂に附屬倉庫を建つる爲め三千圓と其他に共同墓地を新設し一ケ所の新設で七百一千百圓を計上せる外東濱殿下の御成婚に際し奉祝記念の經費として五百圓を豫定して居る外特記すべきものなし歲入經常部では府稅十六萬四千四百五十七圓で一萬三千三百八圓の減少を來し此の内容は市街地稅附加稅一萬二千餘圓で六百四十九圓を增加所得稅附加稅一萬一千餘圓で二千三百餘圓の減少となり戶別稅附加稅が二萬九千餘圓で之れが一萬六百餘圓の減增地方稅家屋稅附加で二萬三千餘圓で四千三百餘圓の增收を見て居るが營業稅では四萬六千餘圓で壹千五百餘圓戶別稅が一萬四千餘圓で十七百八十圓を各減少して居る使用料の

移廳式を學げた春川分監



歲出經常部に於て事務費六千八百圓前年度に比し僅に二百五十三圓を增加小學校費七萬八千餘圓前年に比し一千四百六十二圓を增加し其大部分は人件費で學級增加に伴ふ教員の增給も伴へり高等女學校費二萬千三百餘圓前年より百十圓を減じ經常部一萬を以て終始せり商業學校費四萬六百餘圓前年に比し一千七百五十圓を增加せるは一つに學級增加の結果と見るべし商業學校一千

歲出經常部九萬四千三百四十九圓
同臨時部二千三百四十一圓
計九萬六千六百九十圓

にして前年度より增す事五萬八百十三圓は從來獨立して存置しつゝあつた學校費を本年度に比し特に改革を來せる結果狀態組合の事務を本會より切離して新に學校組合を設けて獨立させた爲である

仁川校費豫算

歲計十萬四千餘圓

【仁川】仁川學校組合豫算は三十日午後三時學校評議會を開いて評議する所あり大正十二年に於ける歲入出豫算は總計十萬四千四百五十圓內經常部三萬七千百九十六圓臨時部六萬七千二百五十四圓にして歲出に於ては經常部三萬四千九百八十二圓臨時部六萬九千四百六十八圓を算せり今其歲計豫算の主なるものに就て見るに歲入經常部では賦課金二萬五千七百餘圓使用料手數料一萬一千餘圓臨時部補助金三萬圓學校債二萬五千圓等で歲出經常部は普通學校費三萬一千餘圓を主として臨時部に於いて校舍建築費として六萬二千餘圓を計上せり之れ即ち第二期工事と云ふべきで之を以て同校は二十四學級の收容を得る譯となるのである同豫算の比較的膨大なるは校舍新築費を計上せるが爲めで其他は殆ど見るべきものなし

大邱電氣値下

四月一日から

【大邱】大邱電氣株式會社の電燈料が高價なると會社當事者の誠意なき爲め常に府民の怨府となり來りたる大邱府の電燈料も漸く吉村電氣課長、大邱府の電燈係長、矢田府事務部長の斡旋となり富永課長、矢田府安課長立會の上小倉社長を召致して値下げを斷行せしむべく懇談する處ありしが小倉社長當時の盛言に基き

南浦狩獵大會

【鎭南浦】鎭南浦獵友會に於ては本年狩獵の納獵會を催す事となつたが會期は來る四月二日午後三時より翌三日午後七時までとし會員は友會事務所に就き規定の會費を納め三日午後出發すべく翌三日午後七時までに各自獲物を搬へ醉樂會館に集合する事となつて居る、又會費

御眞影御下賜

大邱鳳山町公立普通小學校に御下賜相成りたる今上陛下の御眞影は去る二十八日午

仁川學校組合豫算

歲計十八萬二千圓、組合費の戶別割は上に厚く下に薄し

【仁川】仁川學校組合大正十二年度歲入出豫算は脫稿と同時に卅一日之を組合會に附議した、歲入出合計十八萬二千七百八十四圓內譯歲入に於て經常部十三萬九千八百五十五圓歲出四萬二千九百二十九圓を算し歲出經常部十七萬七千二百十一圓臨時部五千五百七十三圓更に之を科目別にして其大要を記せば左の如くである

歲入經常部

戶別割八萬五千百九十七圓で前年よりも一千四百五十圓を增加して居るは實行的に豫算の減少にに盛りて當局の按分に就ては其の組合員の齋しく知らんと欲する處であるが組合費の膨脹に伴ひ增徵は已むを得ざるとして賦課方法は如何に顧らられたかと云ふに大體に於て上に厚く下に薄き方針に出でしたものであるが富豪は之に堪へ難き處も無い事はないとされるが如何なる負擔に

五百九十七圓で寧ろ十八圓を減じ雜收入で四千百餘圓で百廿五圓を減少其他雜費四千百餘圓を計上し基本財產造成費七千二百餘圓で三千二百餘圓の增加を來し財產管理費五千四百餘圓で八百圓の同額を計上し基本財產造成八百餘圓の增加となる臨時部に於ては小學校本館外廊の施設を必要とし或は避難等の新築で二千圓を計上しましたが之を計上せる

歲入經常部

戶別割八萬五千

高等女學校に衛生設備の爲に五百八十九圓を上げ商業學校備品新設七百圓組合債費一千六百二圓を新設其他著しきものを認めず大體に於て其他重要なる方面のものであり豫算に付ては最も平凡なりと云ふべく唯だ賦課の方法に付ても何時も年々議論の種となる事で今回も亦相當の議論あるべしと想像さる

を得ざると云ふ者もある。富豪に對しては更に對負擔とする負擔は之を更に増加すると云ふ意見も

平南耕地面積

【平壤】平安南道に於ける耕地面積は畓六萬四千四百十三町六反步田三十三萬百七十三町三反合計三十九萬四千五百八十四町九反であるが內自作面積は畓一萬三千三百十六町九反田一萬八千百六町步にして小作面積は畓四萬一千九十五町七反田十四萬九千百四十町三反と云ふ統計を示して居る、この耕地面積から考察すると自作の程度が著しく相違して小作の窮狀が窺はれる

木材昂騰氣配

【安東縣】去冬來內地の好調に伴はれ活況を呈し來れる當地木材界は內地及び鮮內地方面よりの注文殺到に各製材所共一齊に運轉を開始し頗る殷賑を極めつゝあるが、昨年來より原木高値の奧地伐採手控に伴ひ今春の流材を極めつゝある先高越しに於ける流材は全く減少を豫想せらるゝ事に相場の歩調を進め一層の高値を期待し居れりしき流材期を告げ居れると本年度に於て

鳳山郡繩叺品評 競技褒賞授與式

【沙里院】昨年夏季の水害で困憊な郡民は奮起して鳳山郡の繩叺品評會を催し一般の鼓舞振興を期し繩叺の製造を獎勵しつゝあつた處今回支那側各木商の買付を圖る事と

山紫水明の鳳溪探勝

金泉支局主催

四月三日の神武天皇祭を卜して

【金泉】金泉を去る東北約三里の山間に在る鳳溪の勝景は山紫水明の絕勝地であるが從來から三々五々之に杖を引いて探勝した者はあるが曾て團體的に遊覽を試みた事は無かつたので金泉支局は今回四月三日の神武天皇祭の佳日を卜し一日の清遊を試みる事となり其の後援を以て來る北鮮自動車株式會社の後援を以て京北線鐵道を利用し鳳溪探勝に遊覽を組織し一日の清遊を試みんと欲し久しく冬籠りに鬱し居た市民は熟々参加申込あり既に百餘名に達し當日迄には少くも百五十名以上に達するべき筈である目的地は野中農學士を始めとして常日迄には少くも百五十名以上に上る興味多き擧であらうと期待されてある。なほ當日は野中農學士を始めとして關係者に依て行く常地の鳳溪の便宜を計り將來の名勝地として世に紹介す可く努め一行の來る處あれば市當事者の努力にて團體交通の便を開き觀光客の誘致を計る計畫で居る金泉の名產花柳界も紅組總動員にて大趣の錦繡を添へ一行の趣向を凝して官公衙從業員有志も參加して居る興趣に富む事と期待されて居る外に北鮮自動車會社は特に自動車の集團の輸送を許し準備に怠りなく又金泉市民は特に期待されて居る處であると確信されてある

參加會費は一圓五十錢で探勝の結果は一等より二十等まで賞品を贈呈する由である

鎭海防備隊 春季大運動會

【鎭海】來る四月八日午前九時より防備隊に於ては春季大運動會を催すが當日は一般公衆の觀覽を許す由にて當日は各地より來鎭する觀覽者もあれば盛況を呈するであらう

連絡船と時間

四月一日から運航の

【釜山】關釜連絡船は既報の通り四月一日から愈々大型船昌慶丸、德壽丸、景福丸が臨時船として二、三等客並に貨物の輸送に決定したが其時間は

下關發	釜山著
一便 午前十一時	午後七時
二便 午後九時卅分	午前六時卅分
臨時便 午後八時卅分	午前九時卅分
釜山發	下關著
一便 前九時四十分	後五時四十分
二便 午後十時	午前七時
臨時便 午後七時卅分	午前八時卅分

で四月一日德壽丸は午前十一時下關を發し昌慶丸は午後九時半出港景福丸は午後十時釜山出港の事となつたが釜山丸は一日午前九時四十分德壽丸は午後十時釜山港の事となつたが釜山丸は一日午前九時四十分德壽丸は午後十時に到着して後三時間半を以て容荷の積卸を終へて直に引返すので從來特急は非常の困難を來すので從來特急及び午前釜山から發着する事となり客は全部本船から發する事となり客を繼荷は船客の待合所となし近く設備を完備させる筈である

仁川署地鎭祭

【仁川】仁川警察署新築敷地の地均工事は全く竣成し愈々其の建築に取り掛る事となり二十九日午前十一時地鎭祭を行つた、定刻敷地中央に假設殿を設けて祭壇を設け神饌を供して神式があり祝詞奉讀後拜禮が仁川署員並に關係有志多數の參列ありて最も嚴かに地鎭の祭典を行つた

春川分監移廳式

【春川】建築中の西大門監獄春川分監は此程竣工したので去る廿五日午後一時移廳式を擧行した定刻を告げるや官民有志多數の來賓著席あり土居典獄の式辭に始まり工事報告ありし後土居典獄の式辭に對し來賓の祝辭あり伊藤春川署長の祝辭あつて閉式した夫れより午後典獄、藤本分監長の案内にて一般來賓の構內縱覽あり記念の寫眞撮影し直に宴會に移り盛宴を張つた

撤退憲兵隊から 電話の寄附

在鄕軍人分會喜ぶ

【清州】清州憲兵分隊撤退に就き清州在鄕軍人會へ本部及分遣所の電話を無償讓渡した在鄕軍人會では基本金が出來るとて大に感謝しつゝあり

遊漁に 貯水池開放 大鯉が澤山居る

【清州】清州明岩堤水利組合では大正九年春期に鯉兒二萬尾を放養せしが其大なるものは二尺以上に達した其他鮒鰻等の魚族が少からず棲んで居るとの事だが附近の眺望もよいので往くくは清州の市外公園ともなる計畫もある、今度組合では遊漁に開放して四月より八月までの期間特に一圓五十錢で遊漁證を發行し遊船をも設備して一方に收入を計ると共に市民の行樂に資するとの事だが公署連は云はずもがな或は家族同伴で總勝たる鮮魚を釣つつ一日の行遊に定めて盛況を呈するであらう

仁川府協議會

仁川府は卅一日午後七時より府協議會を開き大正十二年度歲入出豫算を諮問（仁川）

仁川學校組合

仁川學校組合は三十一日午後一時三十分府會議室に組合會を開き大正十二年度歲入出豫算案を附議せり（仁川）

安東貿易商協議

安東貿易商組合にては三十日午後四時より商業會議所に於て總會を開き役員の改選其他に就き協議する由（安東）

在鄕軍人鎭海見學

【鎭海】昌原郡鎭北在鄕軍人會にては來る四月七日鎭海見學の爲め約二百名同日午前九時來鎭し海軍工廠を上陸後要港部防備隊其他各所を見學して同日午後四時右一行の歸鄕は馬山より歸途する由

大田消防組慰勞會

【大田】大田消防組では警察官合同で來る四月三日神武天皇祭の佳節を卜して慰勞會を催す由

大同江畔より

破魔弓

◆最近「大每」に連載の『鮮銀の幻滅』と題する社會記事は近來興味多き讀物である。人生の醜悪なる事實をまざく\と見せられるあれだけの材料を蒐集するには非常ぬ苦心を要する、筆者の努力を多としなければならない。殊に山科の平壤の天一坊事件に關聯しての平壤の人に取つては、一層興味が深からう。山科伯に擬がれた平壤の人士の感想如何

◆例之それが一部の人から提唱されたとは云へ、「大同銀行に府銀の事務を取扱はしむるは危險だから代理の機會に解除されたい」との聲は平壤人士に多大のインパルスを與へずには置かぬ。大同銀行の經營狀況が府協議會で暴露されたり果して事實であるか否かは知らないが、既に一部から疑惑の眼を以て見られると云ふ事だけでも、銀行としては考へなければならぬ重大な問題である。

◆土地銀行ではあり鮮銀以上に

地方集會

自動車一部休業 大田公州間乘合自動車は車體修理の爲め四月三日迄每日午後二時の定時運轉を休業する事となつた（大田）

◆彌生の開廷披露（平壤） 平壤樓町料亭彌生は過般來より客室增築中のところ此程竣成したので二十八日午後六時から在壤記者を招待して披露宴を催した

◆川添府尹招宴（鎭南浦） 鎭南浦商業會議所會頭川添種一郎氏は今回四月一日を以て任期滿了すべきを以て去る二十九日午後六時半より自宅に於て評議員共他關係官民有志を招き盛大なる散宴をなせり

◆南坂技師惜別宴（水原） 米の南坂技師惜別の宴は去る廿九日午后六時より城內富士亭樓上に開かれた同技師は明治三十九年勸業模範場技手として赴任本田博士の部下に於て朝鮮米の改良開發に獻身的努力せる事拾有八年稻作の改良品質の改善等に最も力を盡し米の南坂の稱ある所以なり今回病氣の爲め鄕里に歸臥さるゝを以て前記の送別宴を張つた列席せるもの五十有餘名主客別れを惜み又雅を盡して一大盛況裡に散會したるは午后十一時半であつた

◆面長更迭披露宴（安東縣） 當地鐵道附屬地方事務所長の更迭に就ては既報の通りなるが同事務所にては三十一日午後六時より當地官民代表者を料亭スミレに招待し新舊所長更迭の披露宴を張つた

地方人事

▲岩本秀雄氏（安東地方事務所長） 大田外二十六日安東へ赴き事務引繼を受け一旦歸廳五日頃家族同伴赴任の筈（大邱）

▲小浦道警察部保安課長 大田外二署の消防演習打合せの爲め來田三十一日歸廳の筈（大田）

▲野田實氏（平北道農務課長） 二十八日來新義州へ（新義州）

▲中川亮次氏（同技師） 同上

▲山本井師團主計正（同上）

▲村井定州憲兵分隊長（同上）

▲佐藤平壤高普教諭（同上）

▲島山鎭海憲兵分隊長 佐世保の海軍港視察出張中の處二十八日午後四時歸鎭（鎭海）

▲倫變南參與官 二十八日著任（晉州）

▲門田宥氏（新城本部釜山臨時派出所長陸軍工兵少佐）今回中佐に昇進して待命後任として本部々員工兵少佐牛尾勇氏の任命あり四日上旬頃赴任の由（釜山）

▲小川延吉氏（朝日主筆）廿八日夜北京方面へ（新義州）

▲安藤平北道警察部長 出城中の處廿九日夜歸任（大邱）

▲平澤安次郎氏（步兵第八十聯隊長）全州光州晉州へ出張中の處二十九日東村へ出張同日歸任（大邱）

▲高杉國藏氏（大邱警察署長）二十九日東村へ出張同日歸任（大邱）

▲朴光烈氏（慶州郡守）二十九日事務打合せの爲め二十九日來邱（大邱）

▲村山慶南警察部長 卅日奉天から來新同夜歸任（新義州）

▲藤原商高等課長（同上）

▲世界無錢旅行者 チェッコスロヴァ國人プール君（二一）は支那から卅日朝來新同夜行で京城へ（新義州）

▲野田忠南警察部長 卅日朝連絡船にて著府同夜十一時發北行歸任（釜山）

▲生田平北道知事 對本官房主事を隨へ管內鐵山崔線初度巡視の爲め卅日出發宣川へ（新義州）

▲和田慶南知事 事務引繼の爲め大邱に出張中の處二十八日歸任（晉州）

資本金 參千萬圓
株式會社 朝鮮殖產銀行
本店 京城府南大門通二丁目
電話長 二四五 二一六 二四〇九 三〇九〇
振替貯金口座 京城 一〇〇〇番
勸業資金貸出の外一般銀行業務並に信託業務を取扱ひ又は定期積立方法に依る預金を取扱申候
支店及派出所
京畿道 仁川、水原、開城
忠淸北道 清州、忠州
忠淸南道 大田、公州、論山、江景、鳥致院
全羅北道 全州、群山、井邑、裡里、南原
全羅南道 光州、木浦、麗水、順天、羅州
慶尙北道 大邱、金泉、尙州、安東、浦項
慶尙南道 釜山、晉州、馬山、統營
黃海道 海州、沙里院、黃州、載寧
平安南道 平壤、鎭南浦、安州
平安北道 新義州、定州、宣川、江界
江原道 春川、江陵、鐵原、元山
咸鏡南道 咸興、元山、北靑
咸鏡北道 清津、城津、羅南
右の外内地朝鮮支那各地に爲替取引先有之候
預金を括るには當行の『貯蓄積金』に御加入なさい。そして毎月怠りなく一年間御積付けになれば資金の御融通も致します

鞄―靴―洋服
大田監獄調製學生服販賣開始
學生靴 特價販賣す御入用の方は御一報次第市內は店員拜趨可致
學生鞄 方の御方には型錄送付可仕候
京釜線大田春日町一
製造販賣 朝鮮革具合資會社
長電話一七二番 振替京城九八〇七番

驚クベキ特効藥 酸素丸
腦神經學界ノ大家ローデンド氏ノ說ニ依レバ老人ノ疾病ヤ老人性疲勞ノ原因ハ血管硬化ニ在リト……
腎臟病、心臟病、神經衰弱、ヒステリー、子宮病、血の道、月經不調、糖尿病、卵巢の病、丸の病、慢性淋病、慢性消渴、尿道狹窄、月經時の疼痛、下腹部の硬塊、常習的頭痛、帶下、肩の凝り、眩暈又は便秘、產後の諸病、貧血、衰弱、腰痛、淫萎、不姙症、胃又は腸の病、セード氏病
其外種々ナル名稱ニ因テ諸所ニ顯ハルル病ハ先ヅ其ノ血管硬化ノ故障ヲ除クガ必要デアリマス
定價 十五日分一圓 卅日分四圓 送料共
酸素丸 本舖 南滿洲 本溪湖 中西亮
振替大連三四五三

醬油味噌釀造元
登錄商標 忠
振替口座京城二六九番
長電話五十八番
辻謹之助
朝鮮大田本町二丁目十四番地

小春日　京城同好會十五日例會二部一等　荒木謙吉氏作

婦人と子供

婦人講座

凌辱事件と婦人の覺悟
被害者にも缺陷がある

（中）　山田わか

かくの如く神經衰弱病にかゝつた性慾狂人が人間界を横行してゐるのですから實に危險此の上も無いことです。もし彼等が全くの野獸であるならば、私共は充分に警戒しますから被害も少いでせうが、併し、彼等は文明人の皮を被り、智力と云ふ武器を所持してゐますから、其の危險は一層甚大です。

クラフトエッピングが云ふ通り性慾の濫用は個人道德によつても抑へるし、又社會道德によつても抑へられます。性慾濫用の社會道德は文明國にも非文明國にも存在してゐますが我國の如きは遺憾ながら此點に關しては先づ最も劣等國に伍すると云はれても止むを得ないだらうと思ひます。

我國では幾人かの男子が集りさへすれば、公私の場合を問はず猥褻な話が出て恥しがるを知らず、むしろ、通を氣どつてゐると云ふ風があります。汽車の中でも、船の上でも、飲食店でも、路上でも平然として猥褻な言葉が弄されてゐます。もし醜氣があるならば、到底其の近邊にはゐられない程猥褻な會話が取り交はされます。そして、それが子供達の頭へしみ込んで行きます。大人に例を見せられた子供は大人同樣平氣で不謹愼な言葉を用ゆるやうになります。それが即ち社會道德です。外國にも隨分猥褻な出版物もありますけれども、日本のやうに大びらで平氣で不謹愼な會話をしてゐる國は何處にもありません。殊に我國では田舍地方へ行くと一層ひどい。又都會でも路傍で仕事をしてゐる職人などは通行の婦人を無遠慮に批評します。そして其の批評は大抵猥褻な批評です。こう云ふ社會道德が良風俗に影響することは餘りに明かです。

性慾の濫用を誘導するやうな猥褻な言辭を弄しても其れに對して羞恥が平氣でゐるのみならず、其れに對して何等の制裁を加へません。ですから其の惡い社會道德は益々猥しくなるとも決して減じはしません。

で、こう云ふ社會狀態の中に生活してゐたのですから婦人は實に危險千萬です。此の危險は今始まつたことではないかも知れません、けれども男子と同じく不健全な社會的影響の感化を受けていくらか良心を麻痺させてゐるやうな事はないかどうか？婦人は憐んでも／＼餘りがあります。けれども一體、凌辱される婦人の方でも迂濶な點があつたのではないか？。自分が女性であると云ふことを念頭に置いて充分注意が行き屆いてゐるならば誘惑に乘せられるやうなことは無くて濟んだやうにと思はれるのです。避ければ避けられる災禍を避けなかつたと云ふことは被害者の方にも幾分の落度があると見なければならないやうにも思へます。つまり、どうでもこうでも貞操の堅固を守らなければならないと云ふ觀念と用意とが足りなかつたと云ふことは無かつたかと思はれる點もあるのです。

且つ又、男女平等論が唱へられるやうになつて以來、女子は自分の身體を保護されることを潔しとしないと云ふ傾きがあります。けれども理論はどうであつても、現在に於て男子よりは遙かに劣つた體力を持つた女子が、其の身體の保護を受けなければならないのは當然であつて、其れは一個人の人間として決して恥辱ではありません。と云つて、もし女子は男子の保護を要するから、男子よりは劣等なものだと云ふ人があれば私は其の人に問ひます『そんなら男子は猛獸よりも體力が劣つてゐるから、猛獸よりも劣等なものであるか』と。（未完）

毛織物 手入と保存法

防寒用具として重寶がられた地厚の外套や洋服類、其他コートや襟巻類等もそろ／＼休暇を行李や簞笥の中で過ごす季節が近づいて來ましたからその織ひ方に就いて一般的の注意を申ますと、これは敢て毛織物に限りませんが殊に毛織物は外出の度毎に手まめに一々ブラシで叮嚀に塵を拂つておく事です。此毛織物の目の中に砂埃が入つた位毛織物の壽命を縮めるものはありません、つまり五年位のものなら三ヶ年より使用出來なくなつてしまふのです。次に

洋服類は 洗濯しないものゝ際に思つてゐる人がありますがそれは大きな間違ひで、毎年春の衣替の際にはクリーニングに出すのが一番よろしい。試しに汚れた毛織物を取出して見ますと汚れた部分だけに

無數の蟲 が食込んで所々に穴さへあけてゐます。そのため高價な衣類もたつた一年で代無しにする樣な事が往々あるものです。之れは平素除埃を怠る人の注意を要する事でせう。中には自分の撰や禮服には可成り細心な注意を拂つても主人の洋服にはおかまひない方がありますが、男子は餘り外に出て働くのですから主婦たる人は何時も整然とした服裝を是非共心掛けたいものです。前にも申した樣に

春藏ふ時 には一度洗濯屋の手に掛けた方が理想的ですが若し家庭に於て手入れを濟まさうとする場合にはまづ品物を充分に日光に曬しそれを棒で輕く叩いて十分砂埃を拂ひ次に湯を沸して蒸ます次に水で燒麻もよく拭ひ、今一度日光によく乾かしますかくて藏ふ時にナフタリンを白紙に包んで間に入れて置くことです。

朝鮮に來りて

高島平三郎

白妙の衣まとひて悠々とちまたを歩むこま人のむれ
洛の岸の柳も芽ぐみこまの溪野も春めきにけり
丈にあまる荷を背負ひつゝ悠然と町の中ゆくこまの男の子等
物は皆頭に乘せてもろ手をばふりつゝ歩むこまのをみな等
赤土のはたらに禿げし山々に植えし松の木皮りもあへず
あれ果てしこまの荒野もすめらぎの恵の露に色ましにけり
まれに見る里の立木の梢にはかさゝぎの巢のかゝらぬもなし
赤き衣青き衣きてこま乙女流れに臨みて布あらひをり
こまの子が荒野の中をさまよひてつみ草するもあはれなりけり
見るかぎり果てしも知らぬ灰色の荒野の中を汽車走り行く

丸山氏に宿りて

久にして相見ることの嬉しさに先き立つものは涙なりけり
今日初めて來たり宿りし家なれど吾家の如く心安かり
諸人のたゝふる君の名を聞きて吾が事の如嬉しかりけり
すこやかにおひ立つ三人の子等見ればう孫の如く愛しかりけり
いつ來ても春風の吹く心地する君の家こそたのしかりけれ
日に見えぬ神の味にくさ／＼の物皆旨しこゝの朝夕
靜かなるこの部屋ぬちにむし衾重ねて眠ることの嬉しさ
かさゝぎの鳴く音に夢はさめたれどなほ床ぬちに默思ひ居り

七曜の徳

（下）　槐南生

▲木曜＝此日は專ら一意を意味する『根をしめて風に從ふ柳哉』で枝や葉は風のまに／＼靡いて居るけれども根はきちんとしめて決して離さない而して其根からは千年萬年の生命を保持すべき養分を吸收して居るからこそ、春が來れば花を開き秋が來れば實を結ぶ而も外界の爲めに自己を左右することなく超然として空中に聳へて居る其專心の德は常に聲望の聲に安きを得ざる吾人の宜しく學ぶべき所である。されば此日は決して他に心を移はすことなく專念一意自己の職分に忠實を盡すべきである

▲金曜＝此日は智識を意味する金は金屬中の王者である燦然として人の眼を射る光輝を放つばかりか能く貨として世界を濶歩する通用も錆けずとこしなへに滅せざるは金の德である吾人の智識もそれである宜しく金を學んで智識を磨き錆ず腐らざる智識を得べきである古人が智識を鍊金に喩へたのは此意味である智識といつても純眞でないやくざな智識は却て其身を害し人を賊するものであるされば此の日は賢智を得べく天下の公道を學ぶべきである陽明曰く『學は天下の公學、道は天下の公道である孔子得て私すべからず』と吾人須らく此徳を學ぶべし

▲土曜＝此日は至誠を意味する大地は萬物を載せて生育す凡そ生とし活けるものは總て此大地から發生するのである此生々育々の德は大地至誠の現れである陽明曰く『至誠動ち神なり』と『心だに誠の道にかなひなば祈らずとても神や守らん』と詠じた菅公の眼も睨ちこれを言ふたのである菅公は陽明に先んずること六七百年であるが賢の學者の言ふ所は期せずして一致する吾人此日は大地の歎々として萬物を生育するの至誠を學んで身を立て徳を樹つるの大業を成就すべきである

七曜の徳する大意を叙すること右の如し吾人は是非共これを一週の日課に記錄して修養に努めなければならない

傳書鳩

…投稿歡迎…◇紙上の匿名は差支なきも別に住所氏名を明記する事◇中傷や誰者不明の投稿は採らず◇字數は明瞭に十五字詰五十行以內

『東への道』感想

紅粟生

◇京城にも相當眼醒めたキネマファンがポツ／＼目につく樣になつて來た。有難い事だ。然るに依然として恐れないのは映畫である。◇近來各館に上映される數作品には殆んど嫌りに捲かれて仕舞ふ。何んとかして咽喉の鳴る樣な小氣味のいゝ映畫が一本でもいゝ入ないものかと少々自棄つたく思つて居た矢先である。問題のウエータンリーストが選尋きながら公開されると聞いて、先づ飛こんだ、處が飛こんだ迄はいゝが見てうんざりした。プアーな頭から絞り出した感想を一寸述べて見る。◇この映畫は二三度複寫されたものに違いない。調色の拙劣。殊にフヒルムの現像の如き迚も話にならん惡味い。監督所々にジー氏の腕は振れて居るが徹して『ダレ氣味である。而し詩を讀む樣な靜かな田園生活の描寫。……流氷上の大冒險、これらは氏が重用場面として特に力を注いだものである事は認められる。◇強いて慾を言へばセットか貧弱である。衣裳も不味い。タイトルにも何んとか技巧が有つて欲しいと思つた。俳優。リ、アンギシュ嬢迎もいゝ適役だジー氏の手法を飲込んでの自然的なアンクションは大寫に於ける表情法の素晴しさ共に推賞する。こゝで監督がソフトファーカスを挿入して一層の藝術味を見せたるは拔目がない。◇他俳の演出は割合に平凡たゞギシュ嬢の相手役バーテルメス氏が更に引締めた藝を見せる。映畫價値、ジー氏作品としてはしベル以下（附記自分はジー氏の手腕を見るに充分な作品はイントランス。散りにし花であると思ふ）

切支丹娘

大木雄三

（六）

妙な人が萩野を訪ねてまゐりました。その人は頭から黑い布をすつぽりかむつてゐるので男だか女だかもわからないのでありました、たゞ大へん聲が優しいから女だらうと萩野は思ひました。

『あなたは萩野さんですね』とその人が言ひました。

『えゝあなたはどなた？』と萩野がきゝました。

『私は神樣のお使ひです、あなたがお一人になつてお困りだらうと思つて食物を持つて來て上げたのです。』

さう言つて不思議な人は風呂敷包みの中からたくさん食物を出しました。

『また私はまゐります、忘れないやうに神樣を信心していらつしやい。』

不思議な人はあまり物を言ひません、それだけ言つたかと見るまにとつとつと風のやうにどこかへ行つてしまひました、萩野はまるで夢のやうに思ひました。

『どこから來たのかしら向ふといふ人かしら』と小屋の外へ出て見てもわかりません、そこで萩野はやつぱり切支丹の神樣のお使ひにちがひないと思ひました。

萩野は箱の中の像を出して心からおがむのでありました、

『有難い神樣、めぐみ深い神樣あはれな私をおすくひになつて下さいますやう…。』

と祈りさうして日を送つてゐたのであります。

それからも黑い布をかぶつた不思議な人はときどき食物を持つて來てくれましたから、萩野はすこしも餓えない目にあふことはありませんでした。

ところがある朝萩野がキリストの像を出して一生懸命にお祈りしてゐるところへどか／＼と這入つて來た者があります、それはいつかお父さんの利右衛門を縛りに來たあの意地のわるい役人たちでありました。役人はすぐにキリストの像に目をつけました、萩野はいそいで像の中へ隱さうとしましたけれどもうだめでした。

『こんなところへ隱してあつたのだな、だから利右衛門の奴が持つてゐない筈だ』と言つていきなり萩野の手からもぎとつてしまひました。

『小娘だと思つて油斷できない上役の者に申上げて『こんどはきつい罰にしてやらなければなるまい、さあ立て。』

役人は萩野を叱りつけながら町の役所へつれてまゐりました、そして前と同じやうに白洲へつれて行かれましたが、萩野はすこしもおそれた顏をいたしません、上役の人も前と同じ人でありました、この役人は大へん情深い方でしたからぜひ萩野を助けたいと思ひました。

『萩野お前は切支丹ではあるまいな、たゞお父さんの眞似をしたのだらう』

役人はわざとかうきゝました。

『いゝえ』と萩野は答へました、私はお父さんの眞似をしたのではありません、切支丹の神樣は私を救つて下さいます私は神樣におすがりしてゐるのでございます。』（つゞく）

家庭覺帳

中華の作り方

材料、砂糖五十匁メリケン粉五十匁、玉子三個、醱粉少々

先づ玉子を黄味と白味に分け別々によく立てゝから一緒にし、砂糖を入れて充分に掻る。粉と水を加へたら手で輕く切る樣にしてまぜ合せるが皮になるのである中文にフライパンをかけ胡麻油をひいて今のを大匙で一杯づゝ入れ匙の背で、丸く格好よく作る。餡は少し長丸く捻んで置き、皮の充分に燒けないうちに入れて一方を被せる。狐色に燒けた……して一寸形を直す。

お寺と教會

▲妙心寺別院（長沙洞）一日午前十時より讀經唱行

▲京城組合基督教會（南米倉町）一日午前九時卅分日曜學校、午前十時卅分禮拜説教シドニー・ギユリキ博士、午後八時イースター禮拜『復活の信仰』長谷川牧師（來會歡迎）

▲若草町日本基督教會　日曜學校午前九時半、禮拜説教午前十時半『新生の教訓』（井口牧師）聖書講義午後八時神學講座每土曜日午後七時半

▲日本基督教會（西洞）一日午前十時復活の主午後七時半神の恩寵（[illegible]）

公設市場小賣値（卅一日）

品名	單位	價格
切イカ佃煮	百匁	七〇〇
チリメン煎子佃煮	同	七〇〇
蛤佃煮	同	七八〇
松浦漬	同	六〇〇
櫻海老佃煮	同	七〇〇
ムキ海老佃煮	同	七五〇
カツオ田麩	同	七〇〇
丸鶉豆砂糖煮	同	一六〇
白鶉豆砂糖煮	同	一八〇
ビール	一本	四二〇

走馬燈

◇『地上』から一足飛びに文壇の寵兒と成金になつた島田清二郎さんは、有馬、[illegible]行から歸ると、尾崎咢堂氏の尻馬に乘つて京城に事務所を設けて個人雜誌を發行するとの事、自分も、宣傳に、見當のつかぬ大變な名を並べてあるので、受取つた先生方も眼をパチクリ。

◇信州秋山の信越水電工事場に居る飯炊女は食つて日給二圓の外に衣や股引を洗濯してやると、一圓や二圓はポンと湧き出る。それに一ヶ月十圓二十圓になる副業があるので、女成金が續出するさうだ。

◇宇都宮塙田町に、一貫六百匁の猫が飼はれてゐる。右の眼は金色、左は銀、毛色は白黑茶の三毛で尾が一寸長いさうだが、此の噂を聞いて百五十圓で讓り受けようとした者があるが、飼主が手放さぬので二百圓、三百圓と猫の相場はこの頃の株式相場のやうに騰つてゐる。

贊化病院　京城明治町一丁目　電話二四〇番
醫學博士　古城憲治
內科　小兒科　入院隨意　施療す每日五名を限る

資本金　千五百萬圓
積立金繰越金　貳百五萬圓
株式會社十八銀行京城支店　京城府黄金町二丁目　電話本局六〇一・八番
同　新龍山支店　京城府漢江通り十三番地　電話龍山五五〇番
同　龍山出張所　京城府元町三丁目　電話龍山一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

ミツワ石鹸（みつわせつけん）

小林靴店
堅牢な實用靴より上等靴に到る迄
材料精撰　技術巧妙
京城明治町　小林靴店　電話本局三九五番　振替京城一七六番
地方は形ローダ進呈　市内は店員參上

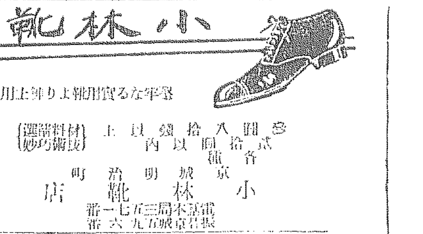
資本金　貳千萬圓
本店　大阪高麗橋
頭取　安田善五郎
副頭取　小川爲次郎
株式會社百三十銀行京城支店
支店長　影山省二
電話長木局五八番・一九四番　振替貯金京城一一三番
朝鮮滿洲等各地並に內地各方面に取引先有之銀行一般の業務御便利に取扱申候

▲徳用經濟なる燃料としては能率高き本溪湖、中、小塊炭を御試用願上候
◉本溪湖、中、小塊炭分析成績發表!!
揮發分一七、一三　固定炭素七一、五八　灰分一一、二〇　硫黄〇、〇八　發熱量七、一五二カロリー
（特にペーチカ、ストーブ用としては本品に限る）
販賣店　大連大宮組、奉天大昌煤局、福記煤局、長春大昌煤局　其他滿鐵各地特約販賣店にて取扱申候
ギルド型ラヂエターは價格の低廉、品質の優秀已に定評あり續々御用命を乞ふ
營業品目　煤鐵　石炭、銑鐵、コークス、暖房材料　暖房釜並に鐵作品、耐火煉瓦等
商辦本溪湖煤鐵有限公司

胃腸病　健胃
山田正路丸（ヤマタセイロガン）
大連東昌洋行
肺強
日露戰爭ニ征露丸ノ名ニ依リ知ラレタル胃腸病ノ特効藥ナリ消化力殺菌力强大ナレバ無病ノ人モ常ニ之ヲ服セバ胃腸ヲ健全ニシ流行傳染病ヲ豫防ス
移入元　京城木村大藥房　釜山大理南海堂　仁川北島藥房
山田資誠堂鑑製

清代のほまれ　白味噌
釀造元　日本醬油株式會社

金剛館



四月一日より五日まで
春衣大賣出し
紅紫爛漫の變らぬ春の吉例に華やかなる艶彩！新しき新柄新樣とりぐ～豐富に取揃へ全店を擧げて純三中井式を發揮し一大活躍する決心で御座います値段の吟味は品質の優良と共に弊店獨得のもので最善の努力で御座います是非御來店御批評の程奉希上ます
特價品提供　小紋錦紗　西陣御召　純毛セール名仙　片側帶　半襟　モスリン友禪　瓦斯絣　木綿絣　其の他
京城本町　株式會社三中井呉服店
電話本局　三七番　二六番　五九番

此處が落付く處か
財界は金詰り＝朝鮮は充實
中村殖銀理事談

今度の内地の決算期で一寸意外に思つたのは各銀行が一様に金を持つて居ない事であつた。自分は金融硬塞も銀行の手繰りの結果に過ぎないと思つて居たが實際について調べて見ると全く無いのである。之れは例の戰後に於ける總ての事業が起らなかつた爲め經濟力の低減と借入が共に減少し從つて兌換券の發行高も減少した結果であらう。一月あたりに中止れば金融が順を出してから内地の節約氣分なども影をひそめて了つたと云ふ人もあるが實際は決してさうでない一部の人々を除いては依然として節約生活にも緊縮した氣持を失はない、彼の中間景氣なども今は何處へやら了んで人氣は極めて落付いて居る。之れが又あたり前だ。然し之れ以上の不景氣が來るかと云ふに自分はさうも考へない。先づ當分此まゝで行くのであらう。今迄述つて居る事業はいづれも健實なもので先づ今後破綻するやうなものはあるまい。東拓の外債はどう使ふか知らぬが舊總債の方へ廻すのではないか。之れがどふ云ふ影響があるかと云ふ事は先づ借債借換へに向けるものがどれ程あるか、それが分らねば何とも云はれぬ或は同社では別に内債を發行して舊債の借換えに當るだらうと云ふ人もあるが今日どこを探したところで内地にそんな金があるものでない。東拓外債は利廻りが七分三厘にあたるので安いようではあるが外債を募る以上其位の利で讓るのは當然であらう。朝鮮の財界が内地より惡いと云ふ聲を聽くが自分の見たところでは決して惡いと思はぬ寧ろ朝鮮財界の方が充實したところがある。各銀行の貸出より預金が多いのも健實な證據である。それから自分が滿洲銀行の頭取になると云ふ事は新聞で始めて知つた譯で少からず驚かされた。之に就て自分は未だ何の交渉も受けた事もない。唯滿洲の人達は朝鮮出の人を嫌ふと云ふ話もあるが之は必ずしもさうであるまい。要するに人に依るであらう

糖界需給 【下】
本邦の需給

三月以降の本年度供給力	二、三五〇〇〇〇
他に一九二二、二三年ノビート糖	一九四
一九二二、二三年ビート中十二月迄の出來高	
ポートリコ糖	二九三
比律賓糖	四五〇
ルイジアナ糖	二〇〇
布哇	二一〇
布哇ノモノ	三〇〇
米國ニ於ケル在荷	一一〇
玖馬次年期十二月中給供力	四、五九九〇
米國内消費豫想	五、二五〇〇
三月一日迄ノ積出荷出	五、二七五〇
内原糖溶解シタルモノ	六、四六七
今後輸入サルベキ數量	四、六二八

ランス商會調査に係る昨年八月末より本年九月一日に至る世界砂糖需給状況次の如し

	一九二二 三年見積	供給見積	
歐洲及アメリカ	三、三六〇	三、五二二	
アジア、アフリカ濠洲	三、四八〇	三、三五一	
世界合計	六、八四〇	六、八七三	

（一九二三年九月一日在荷を控除す）

	消費見積	不足額
歐洲及アメリカ	一三、三六九	一、一九八
アジア、アフリカ濠洲	四、八六二	四四四
世界合計	一八、二三一	一、六四二

（註）一九二三年九月一日の在荷が例年同様と假定すれば上記の如く世界の砂糖は約二〇萬噸の供給不足となる、然し是れが大なる疑問の生ずる處で若し本年八月卅一日迄に世界的に需要家が各自相當の手持ちをすると云ふことになれば此の二〇萬噸の不足が或は五十萬となり、或は百萬噸ともなるかも知れぬ、從つて相場は無論年中高値を維持するものならん

（一）生産豫想に比し供給豫想の増加したる理由の東洋方面よりの供給を加算したるによる

（二）供給豫想の減少したるは一口に減べたる理由による

（三）生産豫想に比し供給豫想の増加したるは一九二二年九月一日の在荷が例年よりも多かりし爲めなり

日本に於ける糖物と瓜哇赤双の状況は內地に於ける瓜哇赤双の需要は約七萬噸にして昨年度輸入の實際を引くに瓜哇赤ザラ糖の需要は約七萬噸に減じた噸で、本年度需要に對する一方マニラ糖は北支那方面の需要多大なるに加へて分蜜糖に於て輸出極めて僅少である、斯の如き現状にては日本の糖需要は必然的に瓜哇赤双、板糖、耕地糖等に依らざるべからず、就中分蜜糖によつて補はんとする一方的に供給減乏を來す傾あるべく、此の事は外相場は意外の高値を出現するものなるべし

昨年の內地相場（納税前）

瓜哇赤双	琉球一等	二十一圓五十錢
同	赤双	二十一圓
同	粉糖	十九圓八十錢
同	赤双	二十圓三十錢
分蜜		二十四圓八十錢

玖馬及米國の需給統計を示せば次の通りである

（三月一日ザアニユーリオンズ）

玖馬糖産額豫想　三、七五〇千噸（玖馬農務省は三、五〇〇、〇〇〇と豫定）

同糖持越		一〇
合計		三、七六〇
此の中島内消費		一五〇
十二月中積出高		四〇〇
差引一九二三年輸出能力		三、五七〇
内一月ヨリ三月ノ米國ヘ積出高		八七〇
外ニ米國以外ニ賣約高		二〇〇

大阪財界近信
支那勞銀低廉
勞働界近狀

歐洲戰亂勃發後海外の經濟界は各國共多事多端となつたが支那も亦其の例に洩れず爭議各所に頻出し從々險惡の形勢を帶び來つたが其中最もなるものを列擧すると彼の香港に於ける支那海員ストライキ及び有力の組織を擁護として上海を中心として有力なる勞働團體の組織を見るに至り一新紀元を劃せるの觀がある即ち上海に於ける支那鐵道局勞働者ストライキ四百名目

紡績女工ストライキ三千名、上海支那紡績工場勞働者十八萬約九百名、湖北各縣の鐵工場女工約一萬八二十四ケ所、上海兒童工場、飛鳥紡織公司、上海造兵工場、其他各工場、煙草公司、英美煙草公司等の印度支那人等の外鐵工、木材、バターフイールド、スワイヤー等の外國資本の事業に於ける勞働者ストライキ同盟罷業等であり併小なるものを列擧すれば枚擧に遑なき程で遂に昨年四月上海に於ける大資本家と勞働者との調停會議を開催し勞働者の目的を以て勞働者の組織を見るに至り勞資の協調に努めて漸く險惡ならんとする程である勞働問題の緩和を圖らんとして居る程である如くの勞働問題が錯雜險惡なら

んとする一方支那勞働者は能率低く從つて安くない繊維の勞銀は極めて低い一日の半分乃至三分の一に過ぎないで勞銀は極めて低廉で大阪市のと對比すると左の如く

	大阪 大正十一年十二月	支那 一九二二年十二月
紡績女工	一、二二	〇、三三
同男工	一、九〇	〇、四六
機械工	一、五八	〇、七一
石炭工	一、九四	〇、四六
製菓男工	一、一四	〇、一五
製紙男工	一、六二	〇、四四
同女工	一、二〇	〇、四八
製油男工	一、二〇	〇、四八
印刷男工	一、〇八	〇、六〇

朝鮮火災協定加入

懸案となつて居た朝鮮火災保險會社の協定加入問題は去る十九日付を以て愈々正式に聯合會加入を承認されて其間題で悩んで居た

雜記帳

▲京城の内地で開業となつた宅保險と火災保險の協定は宅保險として火災保險の協定には、各火災保險會社からの減價を加へて邁進に始末を見たがこの結末を見たが、何時この時以來所が付くか付かぬ内に早くも朝鮮保險界には新しい業が生じて來た▲それは朝鮮火災が協定を無視しつゝある内地の各火災會社の支店の出張所に抵抗する事が出來ず結局協定に服從するに至つたのであるから今では八分の協定率かへられぬので今では八分の協定率などと騒ぎするものは殆どなく何れも七分とか六分とか殊だしきは五分でもそれで行かなければ引上がるとの態度で私共は四分か三分になるが如く競爭して割引しようと云ふ氣配が見える▲それで行かなければ此の上どうなる事かと業者の觀念ですと某當業者の觀念な話

鮮魚（高見越）

昨日來本兩を唱へ强氣を示した所へ日本が不況に落ちたものが本日は漸一段硬化し需要者も此廉光を見るも商況には漸く相場も此處に漸く觀測される値段は左の如くである

鯛一七十五圓小鯛四十圓もえび二百圓小えび百圓いせえび八十圓かじき七十圓●十二圓●四十圓めばる二十五圓ぼら十六圓あなご十八圓ひらめ四十五圓たこ十二圓いか七十圓柱貝三十五圓赤貝十圓ちめ四十五圓

京阪金利昂騰

たから自然朝鮮に於ては今後料率も他金部火災保險京城地方會と步調を一にして進む形となる譯である

三十日に於ける京阪金利は左記の如く前日に比し更に一厘乃至二厘五毛方の昂騰を示せり

	東京	大阪
コール	二九、五	二八、〇
無條件	二九、五	二八、〇
翌日物	三〇、〇	―
月越	―	二六、〇
六十日物	二四、五	二三、〇〇
普通割引歩合	二五、〇	二五、〇〇

金組手形交換高

都市金融組合聯合會の三十一日現在手形交換枚數は十枚金額五百三十七圓なるが前日に比し枚數一枚金額百七十餘圓の增加を示した

海東銀行業態

海東銀行は昨年來引續き聯合組合に加入以來漸次改善されて十一月末の期末總決算は約二千圓の利益を見たるが目下預金約六十萬圓に達し逐次增加しつゝあり今期は年五分の配當可能なりと

商品市況

化粧品（新保合）

需要期なるに拘らず閑散振も後一日に迫りたる爲めに更に賣行振はず市場筋より一般化粧品店に至る迄閑散なるものであるが撤廢後は活況を呈するならんと豫測されて居る

綿糸（漸り安）

材料小安なる三品市場保合變化など現物界は新らしく相場安を移し落付模樣のあるのにて弗々ながら引合もある未だ寸を待たず行先一寸豫測を許さゞるかの如く本日常地相場は左の如し

綿布三エ一二百六十四圓九十錢二十五口五十七圓大エ一二百三十五圓金剛二百十八圓山三二百三十五圓金剛二百十八圓金巾十三圓綿布猩々（十三手）十三圓六十錢芯犬（十三手）十三圓六十錢北極星十二圓六十錢西鶴金巾十三圓八十錢金蝶十三圓四十錢西鶴金巾十三圓（十六手）二百六十五圓双女二百三十六圓晒木棉竹一圓十四錢

株式 【卅一日】
現株中値出來値

銘柄		前場	後場
京取	寄・引	[illegible]	[illegible]
仁取	寄・引	[illegible]	[illegible]
同新	寄・引	[illegible]	[illegible]
鮮銀	寄・引	[illegible]	[illegible]
同新	寄・引	[illegible]	[illegible]
殖銀	寄・引	[illegible]	[illegible]
同新	寄・引	[illegible]	[illegible]
東拓	寄・引	[illegible]	[illegible]
同新	寄・引	[illegible]	[illegible]
朝紡	寄・引	[illegible]	[illegible]
京電	寄・引	[illegible]	[illegible]
朝郵	寄・引	[illegible]	[illegible]
中鐵	寄・引	[illegible]	[illegible]
滿鐵	寄・引	[illegible]	[illegible]
同新	寄・引	[illegible]	[illegible]
京信	寄・引	[illegible]	[illegible]
朝信	寄・引	[illegible]	[illegible]

乙の部

銘柄		前場	後場
安取	寄・引	[illegible]	[illegible]
釜信	寄・引	[illegible]	[illegible]
大新	寄・引	[illegible]	[illegible]

短期取引

銘柄		寄付	大引
京取	前・後	[illegible]	[illegible]
仁取	前・後	[illegible]	[illegible]
同新	前・後	[illegible]	[illegible]
大新	前・後	[illegible]	[illegible]
朝紡	前・後	[illegible]	[illegible]
安取	前・後	[illegible]	[illegible]

大阪株式

銘柄	三十一日前場寄付	同大引	二十九日後場寄付	同大引
大株	一二三、五〇	一二三、五〇	二三一、〇〇	
同新	九七、一〇	九七、一〇		
郵船	三七、九〇	三七、九〇		
東紡	一二九、六〇			
鐘紡	二七七、九〇			
同新	二九八、八〇			

安東株式

銘柄	三十一日後場寄付	大引
同新	二九九、八〇	二九八、二〇
鐘紡	二七七、九〇	二七六、五〇
同新	一二九、六〇	一二九、二〇
東紡	二七四、〇〇	二七三、二〇
銘柄	九一、八〇	九一、二〇
大新	二七、三〇	二七、九〇
鐘新		
天取		

鎭平銀

	寄付	大引
三十一日後場 安取先	二五、二〇	二五、二〇
當	二五、四〇	二五、四〇
二十九日前場 安取先	二五、六〇	二五、六〇
當	二五、九〇	二五、九〇
三十一日後場 當限	一三三四	一三三六
先限	一三三二	一三三一
三十日前場 當限	一三三九	一三三八
先限	一三三八	一三三九

▲前場（漸落）

京取の金融問題に限界が付いたとの噂もあるが大新前場寄九十二圓六十錢大引九十一圓八十錢と低落の報を入れて場面へ從々人氣引立たず京取は五十五圓を撥し鐘紡七十錢と保合、大阪六十錢高に寄り九十錢より六圓九十錢と拔れも再び五十錢高に寄付き八十錢と上げ七十錢六十錢と後場九十四圓八十錢と小刻みに下げて結局十錢安に終れ大引寄方は市川、洪柱、金秀、中西、池田等にして出來高十三百枚、市川、有田、中村、坂田、賀力、方圭、用中、池田等にして出來高三十三百枚、中村、坂田等にして出來高十三百枚

前場歩み　▲京取五五、六〇、六〇五、九〇、八〇、七〇、六〇、四〇、五四、八〇、▲仁取新四五、三〇、五〇、四〇、二〇、三〇▲大新九一、一〇、九一、七〇、安取二五、七〇、五〇、四〇、三〇

▲前場（保合）

大新後場寄り九十一圓八十錢と保合の報を入れしも相變らず人氣引立たず京取五十四圓七十錢と前場大引より十錢安に寄り八十錢と盛げしも再び六十錢安にて結局三十錢安に大引新田の買、仁取新は四十四圓九十錢と二十錢安に大引新田の買、中村、坂田、池田外マバラ買にて出來高三百七十、仁取新は四十四圓九十錢より五十錢安にて出來高百五十枚、十錢と二十錢安にて出來高五百枚、安取は二十五圓四十錢と十錢安に寄り三十錢と同値にて大引田中、新田等の買外マバラの買にて出來高百八十、坂田中外マバラの買にて出來高百八十、坂田中外マバラの買にて出來高百八十、諸株を通じマバラ筋の買物相當潜み居れりと

後場歩み　▲京取五四、七〇、六〇、五〇、四〇、三〇、▲仁取新四四、九〇、六〇▲安取二五、四〇、三〇、▲大新九一、九〇、八〇、二〇、一〇

弱氣の觀測

短期代引の激減と共に多少品勝を期待されたる京取も三十一日前場では五十四圓八十錢と云ふ不味の相場を見せ十五圓六十錢より一氣に滾落りの態度なる弱氣の目標たる五十圓臺割れ迄を見ると云ふ如き觀測する向きもあるもマリ紐いたと觀測する向きもある五十圓臺割れが近い撤廢を見ると同時に必ずや一定の撤廢を見ると同時に必ずや一と暴落を見るだらうと云ふのだがさう云ふ如く現象の理想は果して實現するか何うか無論分らない、併し强氣も少し買ひ進むと直ぐ叩かれる虞れがある故から此の際手を束ねて傍觀の態、何

斯う云ふ見方もある

◇昨年末大底を突いた相場は、一月以來米國經濟界の立直り、佛國のルール占領等の事情による一般經濟界の好轉に刺戟され、頓に活況を帶び一部には又も中間景氣の出現を云爲せられた程であるが一方我國の經濟事情を見ると、綿業に對する不安は漸次濃厚となり、又金融業者も中間景氣の出現に對して、非常に警戒的態度に出たので、折角の海外の好材料も利き目薄く、三月一日を境として反落の趨勢に轉し爾來漸落を重ねて、二ケ月間に上げた丈の市は已に下押した形である、併し今後何れだけ下落するかと云ふ事は一寸分らぬが◇大阪方面は一にも二にも綿業悲觀株式は萎縮して伸びないが東京方面は之等の弱材料は已に底が見へたものとして材料には頗着なく◇定置本位で優良株撰擇買の時代に入つて居るから、綿業悲觀ばかり言つても居られまい、又一方大株は早晩短期取引の改善が行はれる筈であり、これが實現を見れば、取引の增加に伴ふ前場の股盛と共に、大株の業績は良化する道理だから之を強材料に數へ入れておくことが出來る。◇要するに、今日の株價は買過ぎた値頃であると云つてよいか賣過ぎた値頃でもあると云ふのでもよいが是れは一般の判斷に任せるが此の値頃を買ふにも妙味があり賣りにも妙味があり手合せに何れにも賣方針を擇ぶと云ふ好機であるから之を一貫するに如くはないと云ふ者もある。

綿糸布需給關係

▲某所調査に係る綿糸布輸出入の過去年度の原棉輸入高は八億七千八百六十二萬五千四百六十萬四千七百八十萬四千一百萬噸、價格二億三十五萬五千一百八十九萬七千六百九十三萬百九十五萬、百七十一萬八千四百二十萬九千三百二十八萬六千萬千七百二十八錢▲前して支那から輸入する分量は六千七百八十四萬八百九十一噸である

京取營業細則改正

京取會社は近く京信との合併認可さるべく茲に信託業務を併營する結果從來の營業細則にては不都合なるを以て改正す可く草案中である

鐵道株の手合せ

南鮮、京南、金剛、四鐵道は三十一日後場から上場されたが金剛は南鮮の賣、田中賣、北村、市川、賣にて百枚、三手合せがあり何れも地方筋のものらしい、四鐵道は遂に値が付かなかつた

綿糸前途悲觀

前日來崩落に移つた米棉は正しく天井打の氣味らしいが此分で行くと近く二十四五仙位の處まで低落せないとも限らないが各紡績會社の手持棉は前年月まで充分ある以上多數を有せることが一の誇りとして悲觀されたのが今後は却つて悲觀されて了つた各紡績會社の手持棉は前月まで充分ある以上多數を有せる事が一の材料化する。前にして原棉と棉糸との從來の大勢からで原棉から綿糸を寄せて來たのみならず、原棉から綿糸の賣急ぎから綿糸の低落を招致するから各社は努めて自由輸入を止めて減錘を續けて居たが今後は決議を續けて居た、が今後は綿業組合の統制に到底持ち堪へる事は出來ない原棉相場持合で以て糸價の安定を得ない以上は安定を得ない期くて原棉相場は相場の安定を得ないに至る事は必然である株は夫に夜が勢止間題を如何にするかは更に紡績株丈けは前途暗澹として淘汰を要する時代がくるだらう

頭金累進率改正

東京市場では短期取引は同一銘柄に付同一仲買人の借住玉二千株以上に達した場合には金主數に對し頭金を增徴する慣行であつた處卅一日後場より左記の通り超過累進制に改正された

記

二千株以上二千五百株迄超過分に付	
頭金に	五割增
二千五百株以上三千株迄	同
	十割增
三千株以上三千五百株迄	同
	十五割增
三千五百株以上四千株迄	同
	三十割增
四千株以上は臨機之を定む	

但し必要ありと認めたる場合は本規定に據らざるものとす

追而本規定は週間取引にも之を準用候事

仁川期米
米況 【卅一日】
前場新甫待

昨日の地高の剥り伸悩み二十六圓二錢と頭重く打止めしも今朝大阪四鐵の小弛みに二十六圓丁度と下寄せしが即日待ちの買ひに四錢と反し場の附三十一圓四十八錢の高移りに中出來さりしも先限は小口の賣氣を引戻して二十六圓〇九錢七丁高に寄付きたし

▲第二節　當中出來ず大阪四節四十四錢の小弛みに二十六圓丁度と下寄せしが即日待ちの買ひに四錢と戻し小口買方の雌氣投げに六圓丁度と押して引

▲第三節　中出來ず大阪六節五十八錢の高移りに先十四錢と同値に出來ず▲第四節　中出來ず先十錢と強みに先十六錢と縮り七錢方の安商いに二十八錢と弛み丸込みで買ひに二十八錢と伸悩みに引

▲第五節　中出來ず大阪跡五十四錢二錢と反撥しが賣せば二十八錢と縮れ行

▲第六節　中出來ず先十二錢に始めの持合ひに▲第六節　中出來ず先十二錢と小口の戻賣りに小綿みして十七錢と小口の戻賣りに小綿みして

大引せり

五限の仕入關係

前期五月限は盛今前場限りで納會〇後六萬四千石の大取組を擁し申限に引繼がれたが是れに對する仕入關係を見ると買方は依然⑦の二萬七千四百石强の二萬の八百石見當が未だ一萬〇百石⑧の一萬八千七百石等がまだ仕入られたかたる此の納まりたるは近頃珍しき事であるからは新甫限の内に不明瞭に就ては一大激戰が開かれるであらう

新甫內氣配

新甫六月限の內氣配に就ては一大激戰が開かれるであらう如何によるより意見を異にせるも探算時代の相場として無論上調神會には相當な相場として前月强氣が務に乘じて意外の上昇を買進みて失敗に終つて居るから無暗に大鞘はつくまいとの意見もあり先づ六十丁位の上鞘見當を建て居る向が多いらしい

尚大甫持合乎

二十五圓臺は値頃觀から買物が殘へず大阪が強となると期節関係の賣物が續んで來ると云ふ風であるから結局相場は此の邊に小高下を總返す外はないと云ふ事になつて來るが然し歡派としては假令高くなる相場にしても今日の如く正米の賣行が惡くては質ふ譯に行かないのみか漸次暖氣が加はつてしまへく雨が續く傾になると西からも東からも激賣米が流出し始めるまで正米崩れが來るであらうとの其處で正米崩れが來るであらうといふ氣が離れないし亦硬派として賣から云ふ事になつて買いに步の悪い事は判り切つて居るが政府買上げが後に控へて居ると思ふたれば相場が慍れない其處にかの理由が存むで讓らない中で居るれぬと云ふてる丈れ地方に出された米は全部で百日迄內地に移出された米は全部で百六十七萬石に上つて居るから今後は變る上は疑問だとの說も拘らない以上は定期高の低めで三等合格二十五圓四十錢の買いと云ふ丈けで果して農家の手下に殘つて公平なる正米が殘つて居るか否か夫れに見ると此の際に大甫持合いと見るのが至當のやうに思はれると

西の谷間出動か

阪地は過日の綿糸綿紡落當時玉問しの

米界餘聞

▲双方上申の米價も遂に四百丁に縮めたりと好材料を今前場が持つと見る也の事は一切内容の安全な風で居る、だから不安で百丁以上に開けても新規引は數度に出で讓りの買方は新聞の傳へるところ二百丁に縮んだ時に利喰ひの買ひを賣ふて居る、それでも新しく來た時に大きくなつたのだが百丁に止まつて取つてはつたが、一部の買方は

各地の受渡高

昨三十日限り納會を告げた內地各市場の三限受渡石數並に値段左の如し

東京	一萬一千石	三十圓二十五錢
兵庫	一萬五千八百石	二十九圓十八錢
名古屋	三千二百石	二十九圓八十錢
柔濱	五千二百石	二十九圓十九錢
金岡	四千八百石	二十八圓二十八錢

賣買差引綫

	賣方		買方
④	三五〇〇	⑦	七五〇〇
⑤	七〇〇〇	⑧	七一〇〇〇
⑥	六〇〇〇	⑨	九〇〇〇
乾	二〇〇〇〇	金季	四〇〇〇
常	一〇〇〇〇	閔	六〇〇〇
山	一〇〇〇〇	丸中	二五〇〇〇
九久	一〇〇〇〇	丸夕	一〇〇〇〇
丸張	二〇〇〇〇	発	一三〇〇〇
丸水	二〇〇〇〇		二九〇〇〇
金益	一〇〇〇〇		

○前場公定値

	三十一日前場	三十一日後場
當寄	二六、〇九	
中寄	二六、一七	
先寄	二六、三三	
二節	二六、〇二	
三節	二六、〇九	
四節	二六、一九	
五節	二六、一六	
六節	二六、一八五	

取組高（當中先）先限 三千九百石 六萬千百石

新甫高 出來高 一萬七千百石 一三三二六五〇〇石

（後場公定値）

京城穀物

正米現物

前日強調み後の地方保合なりし正米は定期高と各地の正米高移りに今朝は再び逆戻りの姿にて二十錢高の三等合格二十五圓十錢內外三等二十四圓八十錢見當を唱へ一段に強含みなり

延

前場四月中限二五、〇〇△四、後場四月來限二五、四〇〇△五、出來高千石、月中限二六、〇〇四△五五△五、月來限二五、六〇、五五△五、五月來限二五、〇〇、一四

（米界餘聞續）然月末高を忘れずしてピンと來る取りつく島のなくなつた相場が依殊に政府の買上げも濟んで當方の物が溜んで終ひには拔き刺しなら▲と云ふて弱氣も其を好い事にし買方の仕掛けに關係する取組處に於て賣方の不可能かも知れぬ、一方賣方は今の狀態で投げを以つて仕舞はれる出來ない時は例の如く▲弱氣が大きく云ふても無理をして買ひ付けると云ふ關係で所は一寸苦しい所もあるが相當、當業者も亦相場よりも少し違ひて居る

仁川正米

延　四月末限二十六圓十錢五月中限二十六圓三十二錢より二十八錢出來高七千石

三日二十四圓七八十錢見當の唱へなる取引の手堅き移りに當用口の買氣を刺戟せられ丸中三等二十五圓摑み四等二十四圓七八十錢見當の唱へなるが產地よりの賣物潤に廻りたる取引出來ず百二百の小口商內弗々あるみにて穀は同樣七錢二厘黃海道在來米二十二圓八十錢大豆龍山物十八圓十錢長端十八圓三十錢白川十七圓九十錢見當である

釜山正米

定期高と品薄の爲め人氣引締り二十三錢高の玄見都二十五圓九十錢內二十五圓六十錢處にて三千俵出來大豆引續き手合ひ皆無の姿なるが相場としては十六圓六十錢見當を唱へられて居る

群山正米

現物二十五圓十錢四月中限二十四六十八錢四月末限四圓九十錢より八十五錢五月中限二十五圓十五錢より十八錢出來高三萬四千四百石大豆十六圓三十錢

大邱正米

五月中限二十六圓十錢より十五錢

東京期米

三十日前場先限

	三十一日前場	三十一日後場
先寄	三二、二六	
二節	三一、六	
三節	三一、八	
四節	三一、九	
五節	三一、四	

大阪期米

	三十一日前場	三十一日後場
當寄	………	
中寄	三〇、八〇	
先寄	三〇、八二	
止め		
二節	三一、四八	
三節	三〇、四七	
四節	三〇、四五	
五節	三〇、五〇	
六節	三〇、五八	
七節	三〇、五九	
八節	三〇、五七	
九節	三〇、五二	
十節	三〇、六〇	

兵庫期米

	三十一日前場	三十一日後場
寄付	三〇、六〇	
止め	三〇、五八	

下関期米

	三十一日前場	三十一日後場
當限	寄付 止め	寄付 止め
中限	― ―	― ―
先限	元、五五 元、元	元、元六 ―

桑名期米

	三十一日前場	後場
寄付	三〇、六三	
止め	三〇、七三	

各地期米

○三十日後場止め

東京	三二、四九	大阪	三一、四一
兵庫	三〇、四六	下関	二九、七〇
桑名	三〇、六三	名古屋	三〇、四一
熊本	二八、八四	金澤	二九、七〇

大阪三品

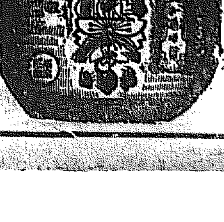
休會

物賣買之御用達及
旬米豆取引所仲買人
廣澤正次郎
仁川濱町三丁目
電話長七〇番・六五番・一六〇

Ⓐ丸英
開店第一回の
棚さらへ大賣出し
四月一日ヨリ五日マデ　五日間
店内全部棚さらへ大賣出し相催し候間是非共御來駕相待ち申上候

本場名仙　八圓より
純毛本セル　八圓半より
西陣帶皮　八圓より
古濱小紋　廿五圓より
西陣御召　廿圓より
文化御召　八圓より
錦紗モス　著尺七圓より
モス友染　卅五錢より
其他見切品ツリ切

Ⓐ
京城本町三丁目若草町大通
丸英呉服店
電話本局二二六六番

サクラ
櫻正宗


サクラ
櫻魂
釀造元　山邑酒造株式會社　兵庫縣魚崎
發賣元　山邑酒造株式會社京城支店
京城明治町二丁目

京日案内

（此欄活字十六字詰五行一回壹圓二十錢割増料金は別に各々六銭）

株券
金融至急自九時至五時 日歩安都照會次第御返事明治町一ノ五九

賣却
自動車二人乘二臺部品一切價格四百圓印刷機械一臺價格八百圓右御希望者は左記へ御照會 京城東大門外同基里 時兆月報社

入用
内地人十四五歳位希望者は本人來談 京城本町一丁目 株式會社大澤商會京城支店

毛皮
なめし並に仕立 鳥獸類剥製毛皮買入羽毛買入皮鳥毛類買取 京城本町二 殿元商行 電話二〇六五番

法律
事件の相談依頼取立仲介其他人事百般公證文案起稿 京城府南大門通二丁目 朝鮮新聞販賣部階上 仁俠館

金融
官吏教師會社員の方に軍人恩給月賦低利貸 京城本町四ノ一〇 大和屋質店

讓店
場所本町一丁目 三越前横 更科分店 本局一四八二番へ

古本
高價買入 御報次第参上 是非御試驗を乞ふ 京城本町二丁目 電話本局九七〇番 一誠堂

筆耕
至急募集 但能筆者 京城西小門町九十二番地 朝鮮人參販賣所

空間
黄金町二丁目 萬屋 二階六疊四疊 家賃十五圓 場所本町四丁目通り 市内の中央と親切丁寧下宿料の勉強を以て特長と致して居ます

貸家
二階六疊四疊下疊板敷 場所本町四丁目通り 御入用の方は電本三九一〇番へ

家具
椅子卓子各種テーブル 洋家具 其他 京城大門外同基里 小供なき方に貸たし

牛乳
配達入用但し三十歳以下の内地人に限る 仁川松林里 希望者は至急來談あれ 電話七六七番 牧場

獵犬
英國セツタ種牡 生後三ケ月 其他 小倉市古船場 安部萬見商店

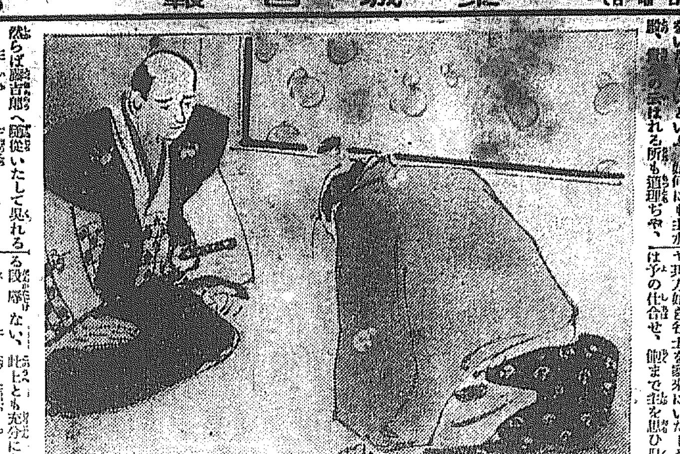
通俗太閤記

第七十四回

松林伯知講演　加藤由太郎速記

主水は頭を下げて藤吉郎の言ふことを聞いて居たが　主『木下氏、誠に恐れ入つた、拙者宜しくお館へ申上げ下さらば、速かに御當家へ力を添へることにいたします。尤も我等御當家へ御奉公仕申さん、假令一合なりとも御扶持が頂戴いたし……此公へ御奉公いたした上は、お館へ御免を願はず藤吉郎へ奉公をいたしたいと……』主『如何にも』藤『何と申す、藤吉郎へ奉公いたしたいとな』主『然れば濃州一の器量人と云はれた竹中半兵衛重治も、器量より云へば貴殿には遠く及ぶまい、主水も貴公を以て主君と仰ぎ、苦樂を俱にいたしたい』藤『アヽ馴いな、藤吉郎は生涯斯くの如き者で居るものでない、後には天下に名を掲げる、共に出世をいたしたいといふ、如何にも主水殿、貴殿の云はれる所も道理ぢや、

然らば藤吉郎へ隨從いたして見れるか』主『如何にも御奉公いたします』藤『然らば館御前へ罷出で藤吉郎好きなに申上げやう』其儀で藤吉郎家來にいたすことに約束をいたし、早速信長公御前へ主水を再び召さるゝことになり　藤『恐れながら主水儀は心から藤吉郎へ奉公いたしたき由何卒御許し下し置かれますやう』信『ウム、如何にも藤吉郎、其方の働を致其方へ得させるぞ、主水も心を改めて藤吉へ臣身せよ』主『ヘヽッ、恐入り奉ります、四年以前より藤吉郎の働きとお心附き遊ばしながら、五十人の組頭、且つは指揮役まで仰付けられ、今日までお捨て置き下し置かれたる廻き、木下氏より承まはり實に恐れ入るより外はございません、斯くばかりの名君を存じらといたしましたる私の愚さ、猿が水に寫る月を取らんとするが如く、以來は木下氏の手に付き、お館に犬馬の勞を厭はず御奉公を仕まつります』信『必ずともに其方精折をいたして與れよ』主『ハヽッ、委細畏まり奉る』上島主水は御請を申上げ、藤吉郎についで御前を退つた、信長公藤吉郎を再びお召しになり、信『藤吉』藤『ハッ』信『今日は主水が事識願いたして結構ぢやな』藤『左様でございます、誠にお目出度う存じます』信『併し主水が、濃州の軍略と云ふことをば知つて居たのは天晴ぢやな』藤『是は恐れ入りました』信『夫れに彼は今日の軍議の中に、予が分らんことがある、長鐙の試合の時に、敵國の軍略と其方が云つたから予が目付かつて居たやうに彼れが申した、先以前から敵國の軍略と云ふことが早速に召捕れと申した、然るに四が兎れは何う云ふものぢや』藤『恐れながら上の御威光を知らせるため、斯くの如く彼れに申して置きました』信『オウ、左様であつたか、然ればこそ彼れは申したのぢやな、イヤ其方如き名士を家來にいたしたるは予の仕合せ、觸まで主を思ひ呉れる段厚ない、此上とも充分に盡して見れよ、此の度の功名に就いて千貫の加増を申付ける』恰悧な人は何處へ廻つても損はない、主水と云ふ英雄を家來にいたして、尙其上千貫の御褒美を頂いた、又主水が藤吉郎の家來になつたのは此人も幸い、後に撒州に於て八萬石、大澤志摩守と晴となつた、關ケ原の戰ひの時、石田へ合戦をして家を失つたが、一時は豊臣取立ての大名の部に加はつたのである、其後信長公藤吉郎をお召出し　信『藤吉郎』藤『ハヽッ』信『其方呼出したのは餘の儀でない、那の濃其方に預け見れと斯樣申した山口觀子の儀は如何に相成つたか』藤『ハヽッ、今日のお召しは大方其事と存じ罷り出でました、山口殿の良策、御覽を願ひたう存じます』懐中へ手を入れて取出したのは眼鏡包み、押開いて中から出しました數十の書物其中より色紙短冊を數枚夫れへ並べました。



迎日灣鰊漁業　木下の總動定

に鰊漁業は非常の繁昌を見るを例として二分の一の漁獲になれば就業者は……し一ヶ年間の水揚高は豐漁の年に於て非常の苦境にありしが其上本年二月……等に依る損害八十三萬此の價格六萬五千圓合計十三萬八千圓の巨額に達め地方の金融は逼迫を告げ現在に於……能を蒙り盛んに販賣を急ぎたる……

部司令官百武中將は豫定の通り三十日午後二時高倉參謀長、栗林副官長……中に演習地及び牧の島演習用地を視察しホテルにて午餐會を催し午後……

萬壽台に記念植樹

【平壤】四月三日神武天皇祭日を卜し……に來り……能にて三……

……和會大邱支部の主催……七時より朝鮮銀行……

伊勝吉三郎、原秀頼、任顯潑、……田長賀、李……、河……、吉田英三郎、吉田由己、吉山文一郎……

披露川柳大會

朝鮮川柳會主催

朝鮮川柳會主催の横額及會旗披露川柳大會は來る四月十五日正午より南山町美術倶樂部に於て開くべく左の規定に依つて會員の出席を勸誘してゐる

◇宿題『鶴』三句吐四月六日締切　殿守閣建寺大左衛門氏外三十名共選▲用紙はがき▲投句所京城觀水洞五九泉浪郎宛▲賞品一等反物以下五等迄

◇席題　五選又へ代表選▲賞品各選一等反物賞反以下三等迄各賞最高へ銀盃銀銅牌數個

◇會費　金五拾錢茶菓を呈す

曆

四月三日　舊曆二月十八日

△四緑　△暗劍戊亥　△火曜　△丙午　△先勝　△平　△室宿

▼四緑△　大事を企てまじき日自重して常の事に從ふて利押と北が吉

▼五黄△　勞して益少き日他人の世話事は失敗に終る北と艮と西が吉

▼六白△　肉身の間柄にも爭ひを生じ易い擇日が安全南と艮と西か吉

▼七赤△　外に出ると動もすれば損する日屋內は利南と東と西が吉

▼八白△　足下の見えぬ事がある約束事は見合するが宜い東と西が吉

▼九紫△　日頃の願ひ事は大抵成就する日大に進んで屋內と巳が吉

▼一白△　病氣に充ち瑞氣に遠る日すべて大吉人來る西と內が吉

▼二黒△　邪道に踏み入り易く油斷のならぬ日大取引見合せ北と南が吉

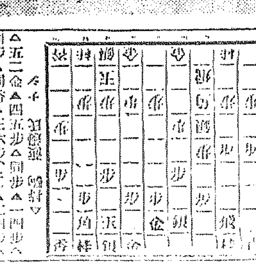
▼三碧△　泉續づく日目上の引立を受けて出世の端緒を掴み北が吉

將棋新手合（二）

於東京日本橋區方町倶樂部　講評木七段

平香交（△三段渡邊東一　東京）　香落番　▲二段萩原淳　東京

（圖は前號指了迄の局面）



▲持駒　萩原氏　ナシ

△五二金▲四五歩△同歩▲四四歩△同歩△同香△三六歩△二四歩△同角△一香ナル△三七歩ナル△同銀△三六歩（ホ）△四八銀△四六銀△三八歩（以下次號）

講評木七段講評

△（ニ）三六歩の處銀に三四銀と引く變化もあります

△（ホ）三六歩打は面白からず此處三八歩と打つ方含みありて面白し

物理療法

エッザカーレント何々やラヂオレーヤの種類に有らず

京城日報社代理部に於て一般に施術す　電本六〇九　構內廿四

適應症

▲X線療法……るいれき、癩腫、おでき、腫れ物、肉腫、關節炎、骨膜炎、助膜炎、腹膜炎、神經痛、水虫、にきび、頑固な皮膚病等

▲『KS式ヂアテルミー』『ヂアテルミー』其他の療法……神經痛、リウマチス、喘息、腦神經衰弱、生殖器神經衰弱、胃腸病、食傷、腎臟病、淋病、關節炎、膀胱加答兒、子宮及附屬器疾患、其他婦人病に効有るもの多し

▲冷灼及エッフルビウム療法等……いぼ、あざ、ほくろ、そばかすの除去、禿頭病の手術頭病な皮膚病等

賀川農學講義錄

月刊雜誌農業の發刊

今回東京市芝區琴平町二番『農業社』より發刊せられたる『實業農學講義錄』は執筆者に帝大關係の碩學を網羅して、最新の教授法により通信教授をなすものにして、殊に月刊雜誌『農業』を發行して、講義錄と共に趣味と實益との兩方面より讀者を誘導する由にて特に月々配布する農業通信普通のポスターと趣きを異にし、同社獨特の新機軸にして斯界の好評を博しつゝあり、因に內容見本は同社に請求せらる可しと

天佑を逸する勿れ　淋病患者

リン病にて痛み劇しく放尿際泣くほど辛く血、膿出で晝夜何回となく尿意を催すも出で難りて尿水出でず夜間安眠も出來ぬ程苦しみ惱む人もトリートを服せば一日にて即効顯はれ痛み止まり三四日も服用せば膿も淡く尿水も快よく通じ如何なる慢性のリン病と雖も數日を出ずして快治すべし又慢性症にて痛み少く膿も淡く三五年も治らず時候の變換期毎に再發し種々の醫藥を服用するも根治せざる人はトリートを服用せらるべし然る時は粘膜深く侵襲せる病菌と雖も之を撲滅し數年の宿患も忽ち一掃する眞に天佑的神藥なり

リン病新藥　トリート

トリートの三大特長

リン病に對する完全なる藥劑たるや必ず左の三要件を具備せざるべからず

一、殺菌力旺盛にして尿道粘膜消炎の効力を兼有せるもの

一、尿の排泄に際し腎臟に障害を來さゞるもの

一、服藥後胃腸に害なく且其他の副作用なきもの

然るに古來治淋劑として採用せられたる藥劑又は近世續々として發見せらるゝ新藥と雖も之を具備したるもの殆ど稀なり獨り醫學發行のトリートは藥學上最新の發見に係る諸要件を完備したる模範的淋藥なり

故に不幸リン病に罹りたる人は疑はず速かに……トリートを服用し早く病苦を除し給へ

定價　三日分金壹圓　七日分金貳圓　十五日分金四圓

特製　壹日分　五日分金三圓　十日分金五圓

大阪市堂島元銀橋

本舗　高橋盛大堂本店

◎其他各地到る處の藥店に販賣す

立寄らば大樹の蔭　眼病ならばロート目藥

ロートの特色

ロート目藥は我國眼科醫界の權威たる東京眼科病院長井上豊太郎博士の處方である

ロート目藥は高貴藥の配合によりシマズ、イタマズして而も顯著なる効能がある

ロート目藥には消毒した布と新案の點眼器を添へてあるから使用に便利で且絶對安全である

本舗　東京市日本橋區本銀町三丁目　大阪市東區南久寶寺町二丁目　山田安民藥房

販賣店　全國到る處の藥店に請賣す

定價　壹圓　五拾錢　參拾錢　貳拾錢

朝鮮郵船定期

朝鮮郵船株式會社　電話本局二三一二

釜山代理店　元山代理店吉田回漕店

[illegible]

大阪商船出帆

仁川出帆　大阪行（釜山木浦經由）　甲南丸　福州丸　大眞丸　第三世界丸　南浦門司神戸大阪行　光島丸　[illegible]

元山出帆　浦鹽行　新高丸　釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　[illegible]

大連出帆　上海福州廣東行（但し○印は青島寄港）　[illegible]

內地各港出帆主要航路

●歐洲行毎月一回　●南米行一年十一回　●北米行毎月一回　●孟買行毎月二回　●南洋行毎月一回

△印一等客　◇印船客御用

大阪商船株式會社仁川支店　電話一〇九五

京城　內國通運會社支店　電話七〇番

仁川　京城通り旅館　電話一六番

仁川港町　[illegible]

三菱商事　仁川出入

御崎丸　尾道神戸大阪　月　日

勝浦丸　尾ノ道阪神行　月　日

三菱商事株式會社船舶部

仁川代理店　浦崎商店回漕部

仁川本町四丁目　電話長五〇番　貳一〇八番

釜山（比田勝　嚴原　勝本）博多間

定期航路開始

隔日正午出帆

汽船蛟龍丸

鋼鐵貨客一級船　總噸數一千七噸　速力一時間十一浬

玄洋汽船釜山支店　釜山驛前　電話六六一番　同一三一九番